

お客さま向け送り状発行システム

ゆうパックプリントR

6. フィルタ設定説明書

『ゆうパックプリントR』は、日本郵便株式会社がお客さまに無料で提供する、ゆうパックや郵便商品の送り状をパソコンで印刷するためのソフトウェアです。

ゆうパックプリントRを以降『ゆうプリR』と表記します。

■ 改版履歴

No	更新日	更新内容
1	2016. 4. 25	初版
2	2016. 6. 16	・「3-10 出力用のフィルタを登録する方法」のフォーマット種別に「DENFD確定」を追加（3-73頁）
3	2016. 6. 24	・「3-10 出力用のフィルタを登録する方法」のフォーマット種別の画像変更（3-73頁）
4	2016. 8. 30	・「3-1 取り込み用フィルタを登録する方法」のフォーマット種別に「郵便・ゆうパック標準取込」を追加（3-3頁） ・追加に伴い頁番号変更（3-4頁～3-93頁）
5	2017. 1. 25	・「3-10 出力用のフィルタを登録する方法」のフォーマット種別に「新DENFD予約」、「新DENFD確定」を追加（3-74頁）
6	2017. 2. 10	・ゆうプリRスタートメニューの画面差し替え（2-1頁、2-15頁、2-23頁～2-24頁、3-1頁、3-72頁、3-91頁、3-93頁）
7	2017. 9. 19	・「3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法」 固定値に空白を指定した場合の説明を追記（3-12頁） ・「3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）」お客様指定配送種類の入力形式の説明を追記（3-37頁） お客様指定配送種類による変換設定例に「お客様指定配送種類」が未設定の場合の例を追記（3-39頁） お客様コードによる配送種類の変換設定に「お客様コード」を未設定でも変換可能である旨の説明を追記（3-44頁、3-46頁）
8	2017. 11. 21	・「2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法」 カンマ区切り以外のデータを選択した場合のデータ表示について追記（2-4頁） ・「3-4 住所情報の取り込みに関する設定方法」 自動分割を設定した場合のデータの分割位置について追記（3-31頁）
9	2018. 3. 1	・発送予定データ編集（ゆうパック）の画面の差し替え（3-27頁） ・取込補助の画面の差し替え（3-52頁）
10	2018. 5. 29	・「3-10 出力用のフィルタを登録する方法」のフォーマット種別の画面の差し替え（3-74頁） フォーマット種別に「楽天ペイ発送完了報告」を追加（3-74頁）
11	2018. 9. 1	・ゆうプリRスタートメニューの画面差し替え（2-1頁、2-15頁、2-23頁、2-24頁、3-1頁、3-72頁、3-91頁、3-93頁）
12	2019. 2. 26	・「2-2 住所情報の取り込みに関する設定方法」注意事項の内容差し替え（2-11頁） ・「3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）」記載内容の追加（3-41頁）
13	2019. 5. 31	・「3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）」記載内容の差し替え（3-37頁）
14	2019. 10. 1	・「3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法」 フォーマット種別記載内容の差し替え、追加（3-3頁） ・「3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法」 単純明細データの例に「消費税率区分」を追加（3-6頁）
15	2020. 10. 1	・画像差し替え（2-7頁、3-88頁）
16	2023. 3. 22	・固定値設定の際の※印の文言修正（2-6頁、2-21頁、3-10頁） ・「3-2 固定明細データのフィルタ設定」の冒頭の説明文に「消費税率区分」を追加（3-22頁） ・「取込み時の変換設定」画面の差し替え（3-36頁、3-45頁） ・仕様変更による「3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法（条件設定）」の「4. 個数・重量でのコード変換設定」の項目、並びに、頁削除（3-41頁～3-43頁） ・削除に伴い頁番号変更（3-44頁～3-93頁）
17	2023. 9. 25	・バイト数に対しての全角と半角の入力文字数を追加（2-9頁、2-10頁、3-8頁、3-13頁、3-19頁、3-28頁、3-29頁、3-31頁、3-37頁、3-76頁、3-77頁、3-83頁、3-86頁）
18	2024. 3. 21	・Excelファイルの取り込みの注意事項を追記（2-1頁）

目次

1	フィルタ機能のご利用について	1-1 ~1-3
---	----------------	-------------

2 フィルタの作成方法(簡易編集)

2-1	取り込み用のフィルタを登録する方法	2-1 ~2-8
2-2	住所情報の取り込みに関する設定方法	2-9 ~2-11
2-3	取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法	2-12 ~2-13
2-4	顧客データ取り込み時の顧客種別について	2-14
2-5	出力用のフィルタを登録する方法	2-15 ~2-22
2-6	登録したフィルタを変更・削除する方法	2-23 ~2-24

3 フィルタの作成方法(詳細編集)

3-1	取り込み用のフィルタを登録する方法	3-1 ~3-21
3-2	固定明細データのフィルタ設定	3-22 ~3-24
3-3	不定明細データのフィルタ設定	3-25 ~3-27
3-4	住所情報の取り込みに関する設定方法	3-28 ~3-31
3-5	取り込みファイルの特定項目をキーにまとめる方法(ブレイク設定)	3-32
3-6	取り込みファイルの項目を結合して取り込む方法(結合設定)	3-33 ~3-35
3-7	取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)	3-36 ~3-49
3-8	マスタ参照を行ったデータ取り込み方法	3-50 ~3-66
3-9	顧客データ取り込み時の顧客種別について	3-67 ~3-68
3-10	出力用のフィルタを登録する方法	3-69 ~3-87
3-11	登録したフィルタを変更・削除する方法	3-88 ~3-90

4	お問い合わせ番号付データを取り込みする設定	4-1
---	-----------------------	-----

5	フィルタをコピーして使用する	5-1
---	----------------	-----

6	作成したフィルタを他のゆうプリRで使用する方法	6-1 ~6-3
---	-------------------------	-------------

1. フィルタ機能をご利用いただくうえでの注意事項

- (1) フィルタ機能には、簡易編集と詳細編集の2種類のフィルタがあります。
操作・機能面、設定可能な項目数が異なりますので、取り込みするデータ構成や操作面により編集方法を選択してください。
- (2) フィルタ設定画面には、様々な項目が表示されておりますが、全ての項目について取り込む設定を行う必要はありません。
送り状の発行に必要なお届け先情報やご依頼主情報だけでも取り込みは可能です。
- (3) ゆうプリRの各項目には取り込み可能な文字数が決まっております。
取り込みするデータの文字数が規定値よりも多い場合、正常に取り込み出来ない場合があります。
- (4) ゆうプリRの項目に<送り状発行年月日>という項目がありますが、この項目に設定しますと
発送履歴データとして取り込まれ、送り状の印刷が行えません。
通常は、<送り状発行年月日>に取り込みする設定は行わないでください。

2. 作成できるフィルタの種類

作成ができるフィルタは、2種類ございます。

- (1) 簡易編集 CSVのデータ、もしくは、Excelのデータを取り込む設定が出来ます。
操作方法が比較的簡単で、<ゆうパック>や<ゆうメール>などの1種類のデータを取り込む場合に適しております。
<ゆうパック>と<ゆうメール>などの商品が混在したデータを取り込む場合、
商品等を判定できる情報を、取り込むファイルに設定しておく必要があります。

例) 郵便種別

	A	B	C
1	氏名	住所	郵便種別
2	郵便太郎	東京都台東区	0
3	ゆうびん花子	東京都板橋区	1

<ゆうパック>と<ゆうメール>など、複数の郵便商品の情報を取り込む際には、取り込むデータ上で別紙〔8. 入出カウンターフェース仕様書〕に記載されている情報を入力する必要があります。
左記の例では、<郵便種別>は'0'と入力していると<ゆうパック>と判断され、'1'と入力していると<ゆうメール>と判断されます。

- (2) 詳細編集 簡易編集では設定できなかった複雑な取り込みにも対応ができるフィルタです。
CSVデータやExcelデータの他に、タブ区切りのデータや固定長テキストデータにも対応できる設定ができます。
また、楽天やyahoo、Amazonのデータも取り込みが簡単にできるように、専用のフォーマットをご用意しております。
<ゆうパック>と<ゆうメール>などの商品が混在したデータを取り込む場合、
商品等を判定できる情報を、取り込むファイルに設定しておく必要があります。
この'商品等を判定できる情報'は決められた文字はございません。
取り込むCSVデータやExcelデータに入っている情報から設定する事が出来ます。

例) 郵便種別

	A	B	C
1	氏名	住所	郵便種別
2	郵便太郎	東京都台東区	A
3	ゆうびん花子	東京都板橋区	B

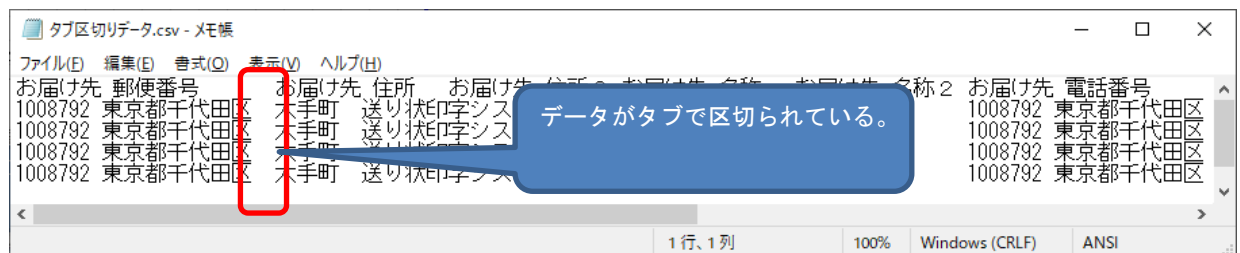
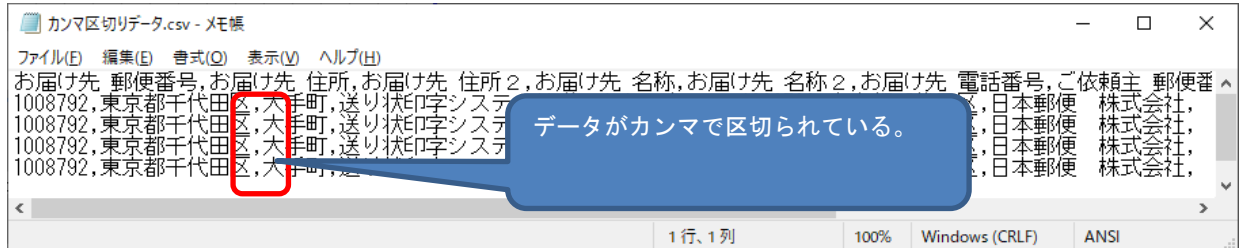
<ゆうパック>と<ゆうメール>など、複数の郵便商品の情報を取り込む際には、それぞれの情報が書かれている<列>があれば、決められた文字でなくても取り込むことは可能です。別途、条件設定が必要ですが、'A' = ゆうパック、'B' = ゆうメールとフィルタ上で条件設定する事により、左記の例でも取り込むことが出来ます。

3. 取り込み出来るファイルの種類

ゆうプリRでは、以下の形式のファイルを取り込みすることが出来ます。

① CSVファイル（カンマやタブなどで区切られたデータ）

以下のようなデータ形式の場合は、CSVファイルとして取り込みが可能です。



※ 全てのレコードでカンマ、タブの数が同じである必要があります。
区切り文字は、他に<セミコロン>とお客さま指定の区切り文字を指定できます。
データの途中で改行されている場合、エラーとなって取り込みが出来ません。

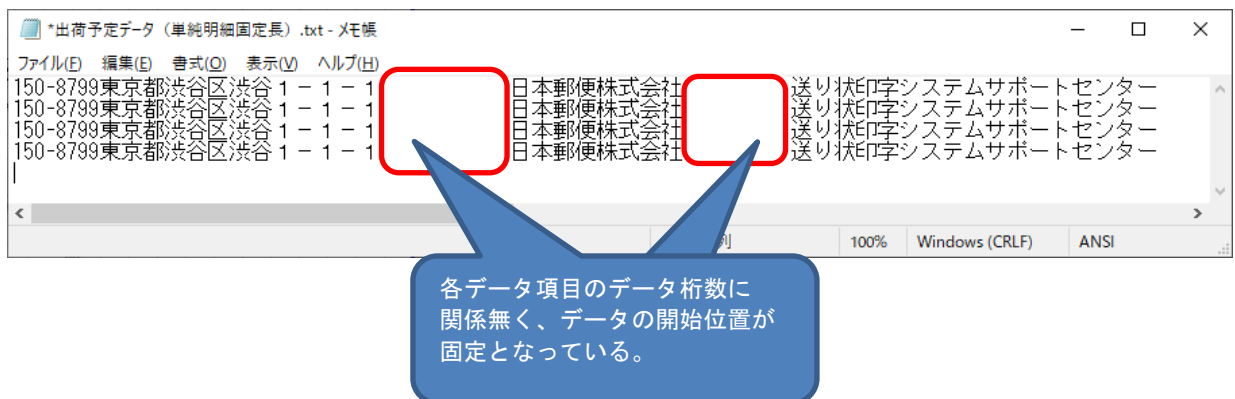
② Microsoft office Excelで作成されたファイル（Microsoft office Excel 2003以降）

P	Q	R	S	T	U	V
お届け先電話番号	品名CD	商品名	個数	品代金	消費税	サイズ
0570-064-389	kzn2658	アクセサリ	3			60
0570-064-389	kzn2659	腕時計	2			60
0570-064-389	wym02687	パソコンディスプレイ	1			120

※ セルの中でデータが改行されている場合、エラーとなって取り込みが出来ません。

③ 固定長で作成されたファイル

固定長で作成されたファイルは、詳細編集のフィルタで取り込み出来ます。



4. 取り込みするデータの値に関する注意事項

- (1) <全角/半角>や<記号の可否>等、文字種別に関する制限について
文字の場合、全角半角等の制限はありません。例の記述の場合、どちらも取り込みできます。

例) <お届け先 名称>の場合

ゆうぷりR 太郎・・・取り込めます。

ゆうぷりR 太郎・・・取り込めます。

但し、日付項目は存在する日付となっている必要があります。

例) <発送予定日>の場合

20130430・・・取り込めます。

20130431・・・存在しない日付の為取込チェックでエラーになります。

- (2) 電話番号、郵便番号について

電話番号、郵便番号は基本は数字ですが、下記の文字は許します。

電話番号・・・ハイフン、小カッコ ⇒ - ()

郵便番号・・・ハイフン ⇒ -

※ 全角のハイフンが含まれている場合、取り込み時にエラーとなります。

2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

ゆうプリRにCSVファイルやExcelファイルでデータを取り込みする場合は、予め取り込み用のフィルタを登録する必要があります。本項では、簡易編集でのフィルタ設定方法をご案内します。

※ ただし、簡易編集でExcelファイルを取り込みする場合には、一番左のシートのみが対象となります。

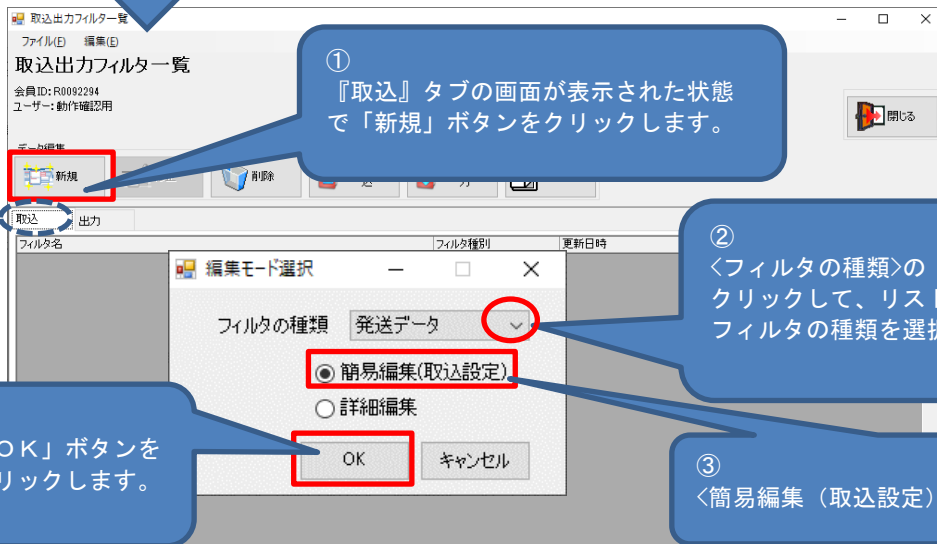
1. 取り込み用フィルタの登録方法

(1) 登録画面を開きます

【ゆうプリRスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。



本手順では、発送データを取り込みする
場合を例に説明を行っております。



① 『取込』タブの画面が表示された状態で「新規」ボタンをクリックします。

② <フィルタの種類>の「▼」ボタンをクリックして、リストから作成するフィルタの種類を選択します。

③ <簡易編集 (取込設定)>を選択します。

④ 「OK」ボタンをクリックします。

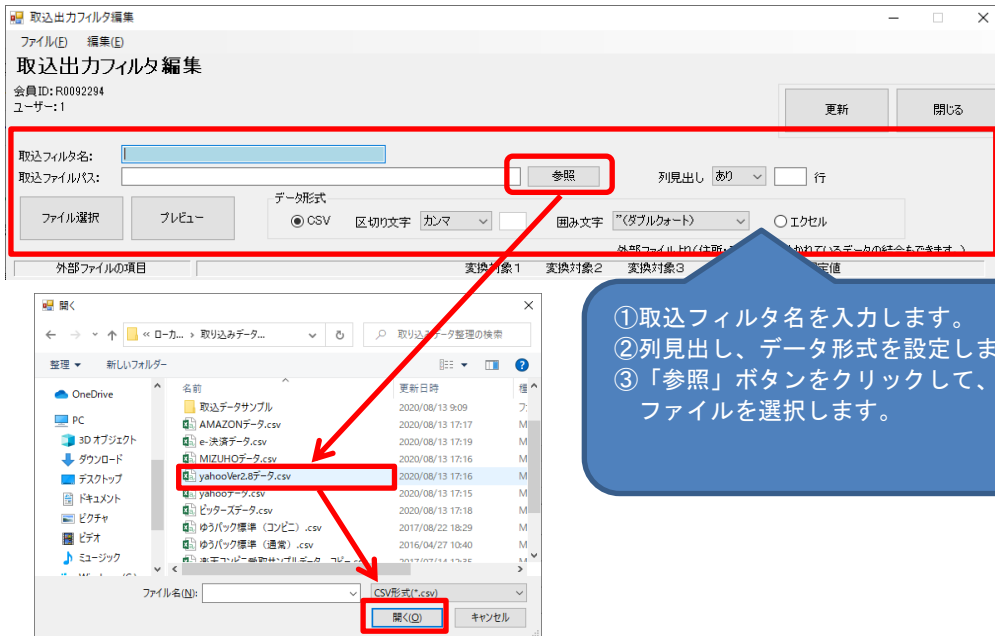
Point

- フィルタの種類について
登録出来るフィルタは、<発送データ>、<顧客データ>、<顧客商品データ>、<記事マスタ>です。
ご利用の用途を間違えないようご注意ください。
- 補足説明
 - ・ CSVファイルの場合、改行文字はCrLf固定です。
 - ・ 重量の単位は、g (グラム) 固定です。
 - ・ 文字コードはShift-JIS固定です。
 - ・ データ種別は単純明細固定です。

2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

(2) 取り込みするファイルに関する設定

『取込出力フィルタ編集』画面が開きますので、取り込みするファイルに関する設定を行います。

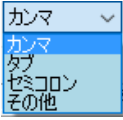
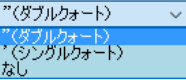
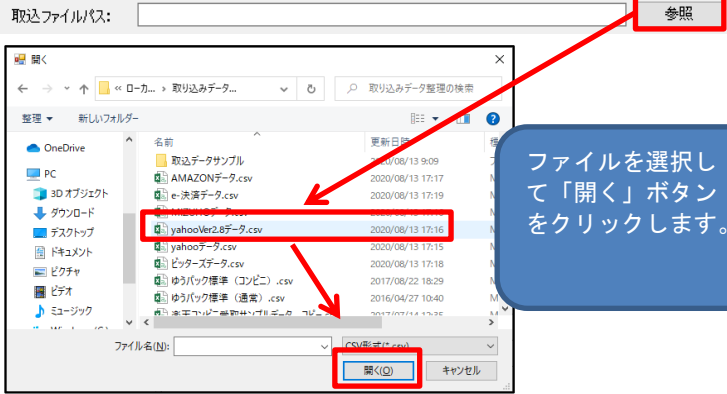


- ①取込フィルタ名を入力します。
- ②列見出し、データ形式を設定します。
- ③「参照」ボタンをクリックして、取り込みするファイルを選択します。

■ 設定項目説明

取込フィルタ名 必須入力項目	<p>フィルタに任意の名前を付けます。</p> <p>入力形式 : 全角の場合、最大 50文字 半角の場合、最大 100文字 (全半角混在可能)</p> <p>入力方法 : 直接入力</p> <p>初期状態 : 未入力 (表示なし)</p> <p>※ フィルタ名は、後から変更することができません。 登録後に変更が必要な場合は、「コピー作成」ボタンをご利用ください。</p>
列見出し 必須選択項目	<p>取り込みするデータの列見出しの「あり」、「なし」を選択します。</p> <p>入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして「あり」または「なし」を選択します。</p> <p>※ ファイルの1行目にデータの見出しがある場合、「あり」を選択します。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、あり (列見出しあり) となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>
行 列見出しを「あり」にした場合は、必須入力項目	<p>列見出しを「あり」にした場合、見出しの行数を指定します。</p> <p>入力形式 : 半角数字 (最大3桁)</p> <p>入力方法 : 直接入力</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力 (表示なし) となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>
データ形式 必須選択項目	<p>取り込みするファイルの形式を選択します。</p> <p>入力形式 : チェックボックスによる選択</p> <p>CSV : CSV (カンマ区切り) やタブ区切りされたデータの取込設定時に選択します。</p> <p>Excel : Excelデータの取込設定時に選択します。 Microsoft Excel 2003以降が必要です。 ※ 拡張子<xls><xlsx>共に利用可能。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、CSVとなります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>

2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

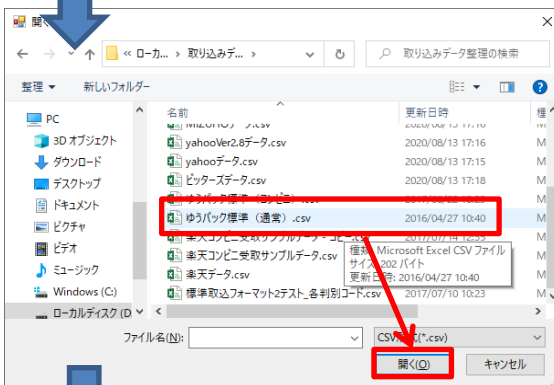
<p>区切り文字 <データ形式>で' CSV' を選択の場合、必須選択項目</p> 	<p>取り込みファイル内のデータの区切り文字を指定します。 入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして区切り文字を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="571 416 1348 674"> <tr> <td>カンマ</td> <td>データ項目がカンマで区切られたデータの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>タブ</td> <td>データ項目がタブで区切られたデータの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>セミコロン</td> <td>データ項目がセミコロンで区切られたデータの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>データ項目が上述の選択肢以外の文字で区切られた場合に選択します。</td> </tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、カンマとなります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	カンマ	データ項目がカンマで区切られたデータの場合に選択します。	タブ	データ項目がタブで区切られたデータの場合に選択します。	セミコロン	データ項目がセミコロンで区切られたデータの場合に選択します。	その他	データ項目が上述の選択肢以外の文字で区切られた場合に選択します。
カンマ	データ項目がカンマで区切られたデータの場合に選択します。								
タブ	データ項目がタブで区切られたデータの場合に選択します。								
セミコロン	データ項目がセミコロンで区切られたデータの場合に選択します。								
その他	データ項目が上述の選択肢以外の文字で区切られた場合に選択します。								
<p>区切り文字 (値) <区切り文字>で' その他' を選択の場合、入力必須項目</p>	<p>取り込みファイル内のデータの区切り文字を入力します。 入力形式 : 半角英数字 1桁 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、未入力 (表示なし) となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>								
<p>囲み文字 <データ形式>で' CSV' を選択の場合必須</p> 	<p>取り込みファイル内のデータの囲み文字を選択します。 入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして囲み文字を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="571 972 1348 1066"> <tr> <td>ダブルクォート</td> <td>「”」で囲む場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>シングルクォート</td> <td>「'」で囲む場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>囲み文字を使用しない場合に選択します。</td> </tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、'ダブルクォート' となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	ダブルクォート	「”」で囲む場合に選択します。	シングルクォート	「'」で囲む場合に選択します。	なし	囲み文字を使用しない場合に選択します。		
ダブルクォート	「”」で囲む場合に選択します。								
シングルクォート	「'」で囲む場合に選択します。								
なし	囲み文字を使用しない場合に選択します。								
<p>取込ファイルパス</p>	<p>ファイル取り込み時に初期表示させるファイルの保存場所を指定します。 ※ 取り込みする際にも都度変更は可能です。 入力形式 : 「参照」ボタンをクリックして選択します。 初期状態 : 新規の場合、未入力 (表示なし) となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>  <p>ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。</p>								
<p>ファイル選択</p>	<p>取り込みするファイルの項目を<外部ファイルの項目>に表示します。</p>								
<p>プレビュー</p>	<p>取り込みするデータをフィルタ編集した値で見ることができます。 編集途中の確認に使用します。</p>								

2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

(3) 取り込みファイルの項目とゆうプリRの項目との紐付

取り込みするファイルの各項目をゆうプリRのどの項目に取り込みするか設定を行います。

① 「ファイル選択」 ボタンをクリックします。



② 取り込みするファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。

取り込みファイルの1行目の見出しが表示されます。

取り込みファイルの項目をゆうプリR側のどの項目に取り込みするか設定を行います。

カンマ区切りのデータのみ全カラムを表示します。
カンマ区切り以外のデータ (タブ区切り等) は1カラム目のみ表示します。
タブ区切り等のデータを使用される場合は、データのカラム位置を確認し
変換対象に設定を行ってください。

Point

2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

- ③ 取り込みファイルの項目を紐付します。
下記の①～②の何れかの方法で取り込みする項目を紐付します。

紐付方法① 取り込みファイルの項目をゆうプリRの変換対象欄にドラッグ&ドロップします。

取込出力フィルタ編集

ファイル(E) 編集(E)

取込出力フィルタ編集

会員ID: R0092294
ユーザー: 1

取込フィルタ名: 出荷データ用

取込ファイルパス: D:\取り込みデータ整理\取込データサンプル\出荷予定データファイル.csv 参照 列見出し あり 1 行

データ形式
● CSV 区切り文字 カンマ

変換対象1

お客様側管理番号: [] 列目

発送予定日: [] 列目 [] 列目 [] 列目

発送予定時間区分: [] 列目

出荷期限日: [] 列目

到着期限日: [] 列目

郵便種別: [] 列目

保冷種別: [] 列目

元/着払/代引: [] 列目

書留/セキュリティ種別: [] 列目

配達時間帯指定郵便種別: [] 列目

固定値

取り込みファイルの項目

ゆうプリRの項目

例として
取り込みファイルの4カラム目にある<お客様側管理番号>をゆうプリRの<お客様側管理番号>へ取り込みする場合、<変換対象1>欄に取り込みファイルの<お客様側管理番号>をドラッグアンドドロップします。

ドラッグアンドドロップ

紐付方法② 取り込みファイルの項目番号をゆうプリRの変換対象欄に直接入力する。

外部ファイルの項目

変換対象1 変換対象2 変換対象3 変換対象4 固定値

お客様側管理番号 4 列目

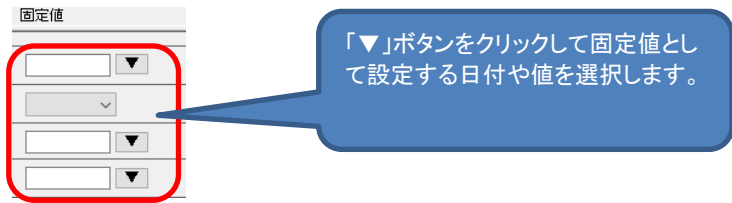
発送予定日: [] 列目 [] 列目 [] 列目

外部ファイルの項目

例として
取り込みファイルの4カラム目にある<お客様側管理番号>をゆうプリRの<お客様側管理番号>へ取り込みする場合、<変換対象1>欄に取り込みファイルの4カラム目である'4'を直接入力します。

2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

外部ファイルの項目	取り込みするファイルを選択すると、〈外部ファイル項目〉にファイルの項目が表示されます。
変換対象 1	取り込みする項目がファイルのどの列目が指定します。 入力方法 : 直接入力 または 外部ファイルの項目からドラッグアンドドロップ 初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
変換対象 2	取り込みする項目がファイルのどの列目が指定します。 入力方法 : 直接入力 または 外部ファイルの項目からドラッグアンドドロップ 初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。 以下のような項目で指定が行えます。 お届け先 郵便番号: <input type="text"/> 列目 <input type="text"/> 列目 例として、取り込みファイルのお届け先郵便番号が2つのコラムに分かれている場合、最初の3桁を〈変換対象1〉、最後の4桁を〈変換対象2〉へ設定します。
変換対象 3	取り込みする項目がファイルのどの列目が指定します。 入力方法 : 直接入力 または 外部ファイルの項目からドラッグアンドドロップ 初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。 以下のような項目で指定が行えます。 お届け先 電話番号: <input type="text"/> 列目 <input type="text"/> 列目 <input type="text"/> 列目 例として、取り込みファイルのお届け先電話番号が、市外局番、市内局番、加入者番号の3コラムに分かれている場合、市外局番を〈変換対象1〉、市内局番を〈変換対象2〉、加入者番号を〈変換対象3〉へ設定します。
変換対象 4	現在、未使用の項目です。
固定値	取り込みデータの値ではなく、固定値で設定する場合に指定します。 変換対象の列位置が指定されていてかつ固定値に規定値をした項目は指定した規定値で出力されます。  ※ 〈変換対象1〉に取り込み設定があり、固定値にも設定した場合エラーが発生する可能性があります。 取り込みデータか固定値かの、どちらかでのみ設定を行ってください。

2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

(4) 顧客コード、商品コードの設定について

顧客データや商品データを取り込みする場合、予めデータに顧客コード、商品コードを設定いただき、そのコードをゆうプリR側へ取り込みすることで、ゆうパック等のデータ入力時に顧客コード、商品コードで登録した情報を画面に呼び出すことが出来ます。
発送情報入力画面から入力する場合、お届け先や商品の入力が便利になります。

■ 顧客コードを取り込みする場合

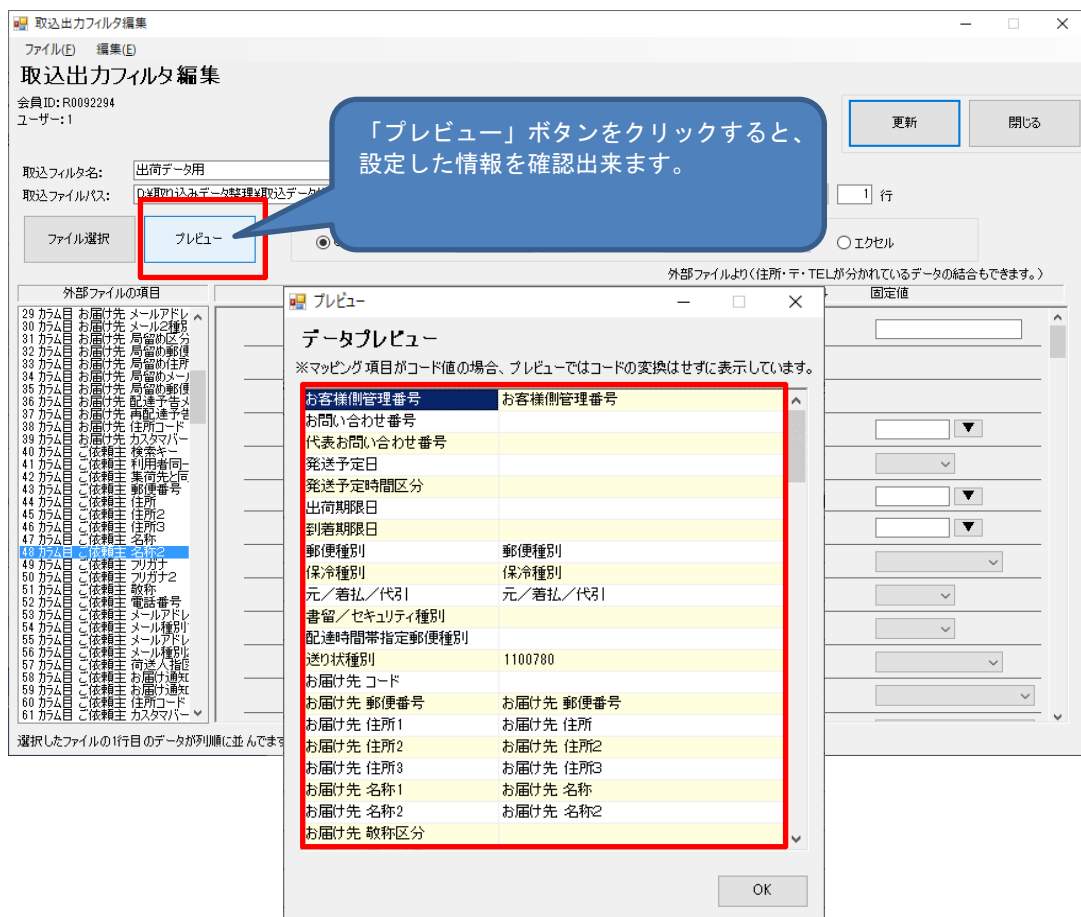
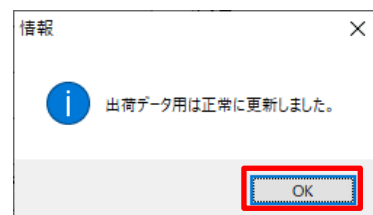
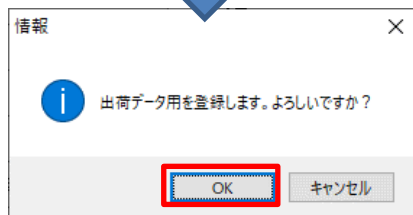
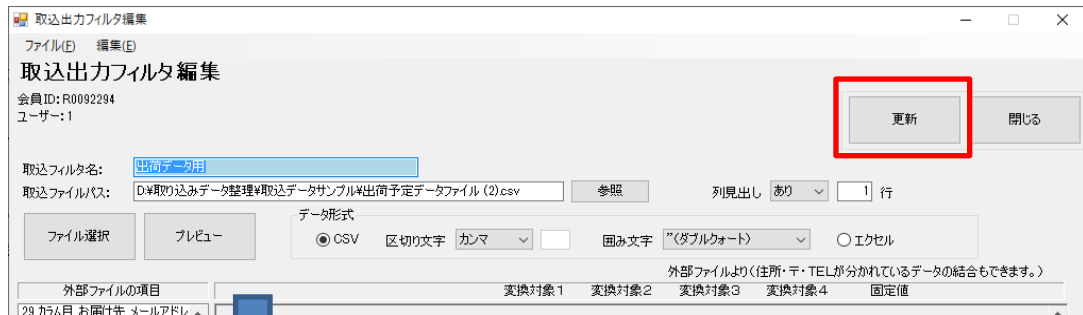
■ 商品コードを取り込みする場合

※ 発送予定データ編集画面で、顧客データ、商品データを参照する方法については、別紙〔5. 操作説明書 ①送り状データを登録する〕を参照ください。

2-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

(5) 作成したフィルタ設定の登録

取り込みする項目の紐付が完了しましたら、「更新」ボタンをクリックして保存します。



2-2 住所情報の取り込みに関する設定方法

出荷データや顧客データをファイルから取り込みする際、取り込みデータには顧客の住所情報がありますが、ファイル内にどのように定義されているかは、ファイルを作成するシステム等により様々なケースがあります。ゆうプリRの住所情報は、〈住所1〉、〈住所2〉、〈住所3〉の3項目に分かれており、それぞれ全角25文字もしくは半角50文字(全半角混在可)まで取り込みすることが出来ます(文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合)。取り込みするファイルの住所情報がゆうプリRと同様に3項目でしたら紐付も簡単ですが、項目数が異なる場合、どのように設定を行えばよいか、本項で説明をいたします。

1. 取り込みファイルの1カラムのみに住所情報がある場合

取り込みファイルの1カラムのみに住所情報がある場合、〈住所1〉のみに紐付しますと桁数超過により正常に取り込みが出来ない場合があります。この場合、フィルタで以下のように設定します。

■ ファイルの定義例

Q	R
1 お届け先	お届け先 住所
2 1008792	東京都千代田区大手町2-3-1 日本郵便 株式会社 XXXXビルディング XF 送り状印字システムサポートセンター

ひとつのセル内に住所情報が全て設定されている。

■ フィルタの設定例

外部ファイルの項目	変換対象1
12 カラム目 送り状種別	
13 カラム目 お届け先 コード	お届け先 郵便番号: 14 列目
14 カラム目 お届け先 郵便番号	
15 カラム目 お届け先 住所	お届け先 住所1: 15 列目
16 カラム目 お届け先 住所	
17 カラム目 お届け先 住所	
18 カラム目 お届け先 名称	
19 カラム目 お届け先 名称2	
20 カラム目 お届け先 敬称区分	お届け先 住所2: 15 列目
21 カラム目 お届け先 電話番号	
22 カラム目 お届け先 メールアドレス	
23 カラム目 お届け先 局留め区分	
24 カラム目 お届け先 局留め郵便	
25 カラム目 お届け先 局留めメー	
26 カラム目 お届け先 局留め郵便	お届け先 住所3: 15 列目

取り込みファイルの15カラム目にある〈お届け先住所〉をゆうプリR側の〈住所1〉、〈住所2〉、〈住所3〉に紐付します。ゆうプリR側の〈住所1〉、〈住所2〉、〈住所3〉には同じカラム位置を指定します。顧客データに取り込みする場合も同様です。

■ 取込結果例

お届け先

お届け先コード 顧客データ参照

電話番号

郵便番号 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所

取り込み時に自動的に〈住所1〉～〈住所3〉に分割して取り込みます。

Point

システムで自動的に分割位置を決定しておりますため、必ずしも見た目の良い場所で分割されるわけではありません。必要に応じて取り込み後に修正してください。ご依頼主の住所やお届け先名称、ご依頼主名称についても同様な設定方法で自動分割した取り込みが可能です。顧客データに取り込みする場合も同様に設定できます。

2-2 住所情報の取り込みに関する設定方法

2. 取り込みファイルの2カラムに住所情報がある場合

取り込みファイルの2カラムに住所情報がある場合、前頁1の方法と併せて<住所1>~<住所3>に紐付することで自動的に分割して取り込みすることが出来ます。

また、取り込みファイルの住所情報が2カラムとも全角25文字もしくは半角50文字(全半角混在可)以内のデータでしたら、取り込みファイルの住所をゆうプリRの<住所1>、<住所2>にそれぞれ紐付することでも取り込み可能です。なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。

■ ファイルの定義例

Q	R	S
1 お届け先	お届け先 住所	お届け先 住所2
2 1008792	東京都千代田区大手町2-3-1	日本郵便 株式会社 XXXXXビルディング XF 送り状印字システムサポートセンター

2つのセルに住所情報が全て設定されている。

■ フィルタの設定例

外部ファイルの項目	変換対象1	変換対象2
12カラム目 送り状種別		
13カラム目 お届け先コード	お届け先 郵便番号: 14	列目
14カラム目 お届け先郵便番号		
15カラム目 お届け先住所	お届け先 住所1: 15	列目
16カラム目 お届け先住所2	お届け先 住所2: 16	列目
17カラム目 お届け先住所3	お届け先 住所3: 16	列目
18カラム目 お届け先名称		
19カラム目 お届け先名称2		
20カラム目 お届け先郵便区分		
21カラム目 お届け先電話番号		
22カラム目 お届け先メールアドレス		
23カラム目 お届け先局留め区分		
24カラム目 お届け先局留め郵便		
25カラム目 お届け先局留めメール		
26カラム目 お届け先局留め郵便		

取り込みファイルの15カラム目にある<お届け先住所>をゆうプリR側の<住所1>に紐付します。取り込みファイルの16カラム目にある<お届け先住所2>をゆうプリR側の<住所2>、<住所3>に紐付します。ゆうプリR側の<住所2>、<住所3>には同じカラム位置を指定します。

■ 取込結果例

☐ お届け先

お届け先コード 顧客データ参照

電話番号

郵便番号 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所

東京都千代田区大手町2-3-1
日本郵便 株式会社 XXXXXビルディング XF
送り状印字システムサポートセンター

<住所1>には、取り込みファイルの15カラム目を取り込まれ、<住所2>、<住所3>には、取り込みファイルの16カラム目の情報が自動分割されて取り込まれます。

Point

ゆうプリR側の<住所1>、<住所2>に同じカラム位置を指定し、<住所3>のみ単独での紐付をすることも可能です。この場合も、<住所1>、<住所2>は自動分割になります。システムで自動的に分割位置を決定しておりますため、必ずしも見た目の良い場所で分割されるわけではありません。必要に応じて取り込み後に修正してください。ご依頼主の住所やお届け先名称、ご依頼主名称についても同様な設定方法で自動分割した取り込みが可能です。顧客データに取り込みする場合も同様に設定できます。

2-2 住所情報の取り込みに関する設定方法

3. 取り込みファイルの住所情報が4カラム以上に分かれている場合

取り込みファイルの住所情報が4カラム以上の項目で分かれている場合、簡易編集のフィルタでは設定することができません。この場合、以下のどちらかの対応を行ってください。

■ 対応方法 1

詳細編集のフィルタ設定機能をご利用いただく。

操作方法は、簡易編集に比べて複雑さはありますが、4カラム以上の住所項目の取り込みが可能で、ゆうプリR側の<住所1>～<住所3>項目に自動分割で取り込みすることも出来ます。

詳細編集機能については、本マニュアル〔③フィルタの作成方法(詳細編集)〕を参照ください。

■ 対応方法 2

簡易編集で取り込みをされる場合、取り込みするファイルの住所情報を3カラム以下に修正してください。

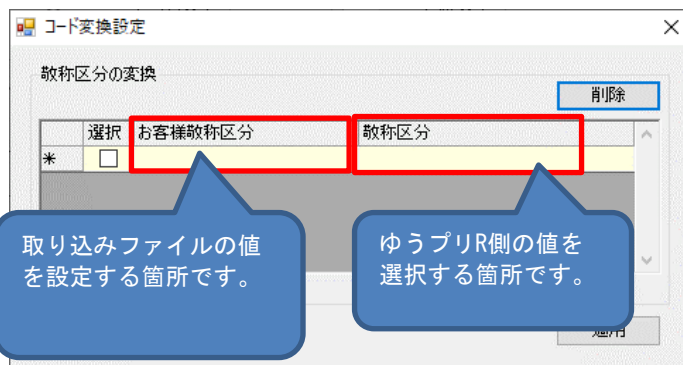
住所が3カラム以内であれば、本手順の操作にて取り込みが行えます。

2-3 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法

簡易編集のフィルタ設定では、以下の項目については、取り込みファイルの値からゆうプリRの値へ変換して取り込みすることが出来ます。

- ・ お届け先 敬称区分
- ・ 商品サイズ/厚さ区分
- ・ ご依頼主 敬称
- ・ 配達時間帯区分
- ・ 集荷先 敬称 (現状、ご利用いただけません)

■ 変換設定画面の構成



① 敬称の変換取込

取り込みファイルの値から敬称を設定する場合は、以下のように変換設定を行います。

■ 設定例

この例では、取り込みファイルの<お届け先敬称区分>の値が'1'の場合、ゆうプリRの敬称に'様'を設定し、'2'の場合は、'御中'を設定する内容になります。

取り込みファイル例

2-3 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法

② 商品サイズ/厚さ区分

取り込みファイルの値から商品サイズを設定する場合は、以下のように変換設定を行います。

■ 設定例

商品サイズ/厚さ区分: 列目

商品サイズ区分の変換

選択	お客様商品サイズ区分	商品サイズ区分
<input checked="" type="checkbox"/>	小	60サイズ
<input checked="" type="checkbox"/>	中	100サイズ
<input checked="" type="checkbox"/>	大	160サイズ

取り込みファイル例

BQ
商品サイズ区分
小
中
大

この例では、取り込みファイルの<商品サイズ区分>の値'小'、'中'、'大'をゆうパックのサイズに変換する内容になります。

③ 配達時間帯区分

取り込みファイルの値から配達時間帯を設定する場合は、以下のように変換設定を行います。

■ 設定例

配達時間帯区分: 列目

配達時間帯区分の変換

選択	お客様配達時間帯区分	配達時間帯区分
<input checked="" type="checkbox"/>	AM	午前中
<input checked="" type="checkbox"/>	PM1	14~16時
<input checked="" type="checkbox"/>	PM2	16~18時

取り込みファイル例

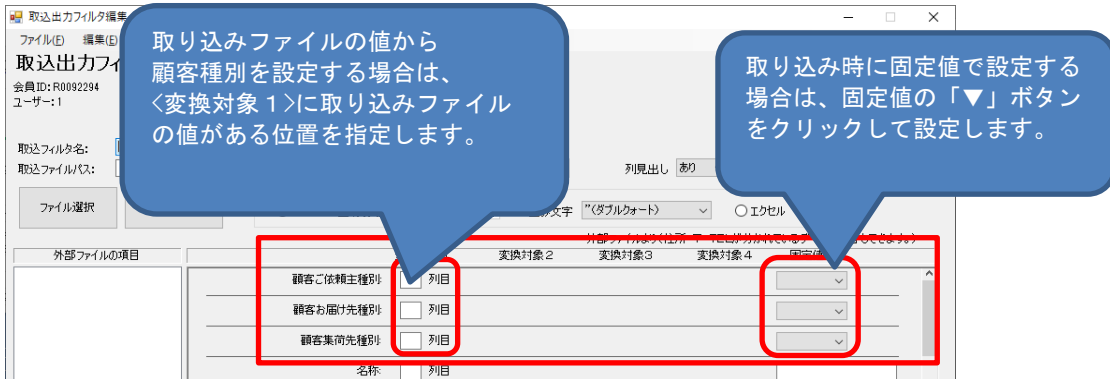
BZ
配達時間帯区分
AM
PM1
PM2

この例では、取り込みファイルの<配達時間帯区分>の値'AM'、'PM1'、'PM2'をゆうパックの配達時間帯に変換する内容になります。

2-4 顧客データ取り込み時の顧客種別について

CSVファイルやExcelファイルから顧客データへ取り込みする場合、顧客の種別を決定する必要があります。顧客種別を設定していなくてもエラーとならずに取り込み出来ませんが、データ取り込み後、顧客データとして参照することができません。データ取り込み時に設定するか、取り込み後に1件毎設定する作業が必要です。

■ 顧客データを取り込みするフィルタ設定画面



■ 顧客種別について

顧客ご依頼主種別 顧客データをご依頼主データとして使用する場合に設定します。
 顧客お届け先種別 顧客データをお届け先データとして使用する場合に設定します。
 顧客集荷先種別 顧客データを集荷先データとして使用する場合に設定します。

■ 固定値の設定について

利用しない '利用しない' を選択した場合、設定した顧客種別ではデータを使用することが出来ません。
 利用する '利用する' を選択した場合、設定した顧客種別でデータを使用することが出来ます。
 ※ 3つの種別について、全て'利用する' に設定することも可能です。

■ <顧客お届け先種別>を使用する場合の利用例



Point

- 取り込む顧客データが全てお届け先用となる場合は、<顧客お届け先種別>の固定値に「▼」ボタンをクリックして'利用する'を選択します。
 取り込む顧客データが全てご依頼主用となる場合は、<顧客ご依頼主種別>の固定値に「▼」ボタンをクリックして'利用する'を選択します。
- 固定値ではなく、取り込みするファイルから顧客種別を決定する場合、フィルタ設定画面の<列目>に取り込みファイルの値がある位置を指定し、ファイルには以下の値を設定する必要があります。
 <「0」（利用しない）、「1」（利用する）> いずれかの半角数字を設定する。
- <顧客集荷先種別>を'利用する'として取り込んだ顧客データの使用方法については、別紙〔5. 操作説明書 ⑫集荷の申し込みをする〕を参照ください。

2-5 出力用のフィルタを登録する方法

ゆうプリRで送り状を発行したデータや顧客データに登録した顧客情報をCSVファイルやExcelファイルで出力することが出来ます。出力する場合は、予め出力用のフィルタを登録する必要があります。

本項では、簡易編集でのフィルタ設定方法をご案内します。

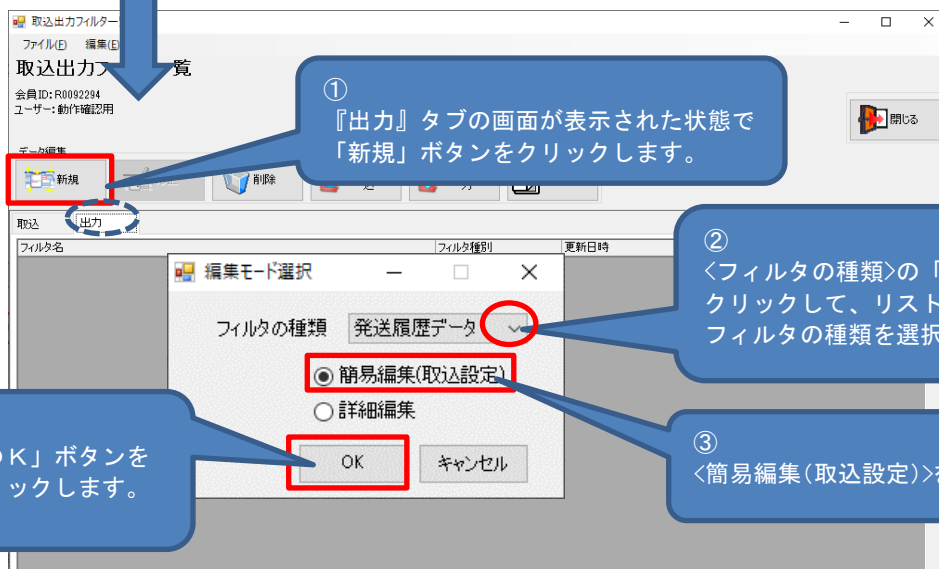
1. 出力用フィルタの登録方法

(1) 登録画面を開きます

【ゆうプリRスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。



本手順では、発送データを入力する場合に例に説明を行っております。



① 『出力』タブの画面が表示された状態で「新規」ボタンをクリックします。

② <フィルタの種類>の「▼」ボタンをクリックして、リストから作成するフィルタの種類を選択します。

③ <簡易編集(取込設定)>を選択します。

④ 「OK」ボタンをクリックします。

Point

■ フィルタの種類について

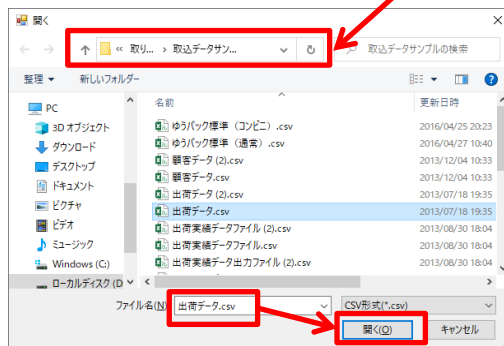
登録出来るフィルタは、<発送データ>、<発送履歴データ>、<顧客データ>、<顧客商品データ>、<記事マスタ>です。ご利用の用途を間違えないようご注意ください。

また、<発送データ>は送り状印刷前のデータを入力するフィルタです。送り状印刷後のデータを入力する場合は、<発送履歴データ>を選択してください。

2-5 出力用のフィルタを登録する方法

(2) 出力するファイルに関する設定

『取込出力フィルタ編集』画面が開きますので、出力するファイルに関する設定を行います。



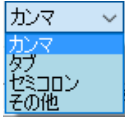
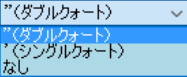
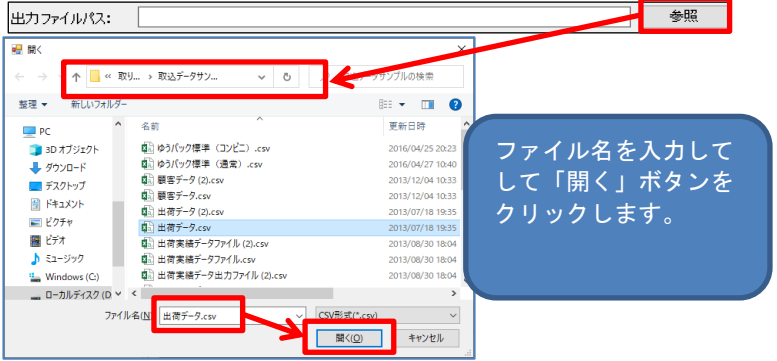
- ① 出力フィルタ名を入力します。
- ② 列見出し、明細分出力、データ形式を設定します。
- ③ 「参照」ボタンをクリックして、出力するファイルの場所及びファイル名を指定します。

■ 設定項目説明

出力フィルタ名 必須入力項目	登録するフィルタの名前を入力します。 入力形式 : 全角の場合、最大 50文字 半角の場合、最大 100文字 (全半角混在可能) 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 未入力 (表示なし) ※ フィルタ名は、後から変更することができません。 登録後に変更が必要な場合は、「コピー作成」ボタンをご利用ください。
列見出し	出力するデータの列見出しの「あり」、「なし」を選択します。 入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして「あり」または「なし」を選択します。 ※ ファイルの1行目にデータの見出しを付ける場合、「あり」を選択します。 初期状態 : 新規の場合、あり (列見出しあり) となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
行	列見出しを「あり」にした場合、自動的に「1」を設定します。 入力方法 : 「▼」ボタンをクリックして「あり」または「なし」を選択します。 初期状態 : 「1」を表示します。
明細数分出力	商品の明細出力を「する」、「しない」を選択します。 入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして「する」または「しない」を選択します。 する : 全明細分出力されます しない : 1明細分出力されます。 初期状態 : 新規の場合、「しない」となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。

2-5 出力用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

<p>データ形式 必須選択項目</p>	<p>出力するファイルの形式を選択します。</p> <p>入力形式 : チェックボックスによる選択</p> <p>CSV : CSV (カンマ区切り)やタブ区切りされたデータを出力する時に選択します。</p> <p>Excel : Excelデータの出力時に選択します。 ※ 拡張子<xls><xlsx>共に利用可能。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、CSVとなります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>								
<p>区切り文字 <データ形式>で'CSV'を選択の場合、必須選択項目</p> 	<p>出力ファイル内のデータの区切り文字を指定します。</p> <p>入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして区切り文字を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="571 707 1350 969"> <tr> <td>カンマ</td> <td>データ項目がカンマで区切られたデータの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>タブ</td> <td>データ項目がタブで区切られたデータの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>セミコロン</td> <td>データ項目がセミコロンで区切られたデータの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>データ項目が上述の選択肢以外の文字で区切られた場合に選択します。</td> </tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、カンマとなります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	カンマ	データ項目がカンマで区切られたデータの場合に選択します。	タブ	データ項目がタブで区切られたデータの場合に選択します。	セミコロン	データ項目がセミコロンで区切られたデータの場合に選択します。	その他	データ項目が上述の選択肢以外の文字で区切られた場合に選択します。
カンマ	データ項目がカンマで区切られたデータの場合に選択します。								
タブ	データ項目がタブで区切られたデータの場合に選択します。								
セミコロン	データ項目がセミコロンで区切られたデータの場合に選択します。								
その他	データ項目が上述の選択肢以外の文字で区切られた場合に選択します。								
<p>区切り文字 (値) <区切り文字>で'その他'を選択の場合、入力必須項目</p>	<p>出力ファイル内のデータの区切り文字を入力します。</p> <p>入力形式 : 半角英数字 1文字</p> <p>入力方法 : 直接入力</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力 (表示なし) となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>								
<p>囲み文字 <データ形式>で'CSV'を選択の場合必須</p> 	<p>出力ファイル内のデータの囲み文字を選択します。</p> <p>入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして囲み文字を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="571 1263 1350 1361"> <tr> <td>ダブルクォート</td> <td>「"」で囲む場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>シングルクォート</td> <td>「'」で囲む場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>囲み文字を使用しない場合に選択します。</td> </tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、'ダブルクォート' となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	ダブルクォート	「"」で囲む場合に選択します。	シングルクォート	「'」で囲む場合に選択します。	なし	囲み文字を使用しない場合に選択します。		
ダブルクォート	「"」で囲む場合に選択します。								
シングルクォート	「'」で囲む場合に選択します。								
なし	囲み文字を使用しない場合に選択します。								
<p>出力ファイルパス</p>	<p>出力するファイルを保存する場所を指定します。</p> <p>※ 出力する際にも都度変更は可能です。</p> <p>入力形式 : 「参照」ボタンをクリックして保存先を選択します。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力 (表示なし) となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>  <p>※ 指定したファイルが存在しない場合は、出力時に作成します。</p> <p>※ Excelファイルで出力する場合、ファイルの拡張子を指定しない場合、<xls>になります。<xlsx>で出力する場合は、ファイル名の後に拡張子を付加してください。</p>								

2-5 出力用のフィルタを登録する方法

ファイル選択	出力するファイルの項目を<外部ファイルの項目>に表示します。
プレビュー	出力するデータをフィルタ編集した値で見ることができます。 編集途中の確認に使用します。

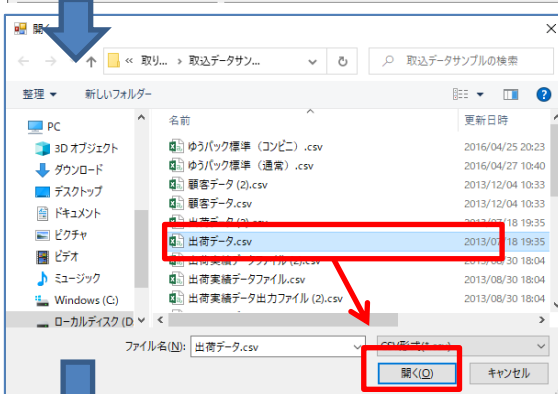
(3) 出力ファイルの項目とゆうプリRの項目との紐付

出力するファイルの各項目をゆうプリRのどの項目に取り込みするか設定を行います。

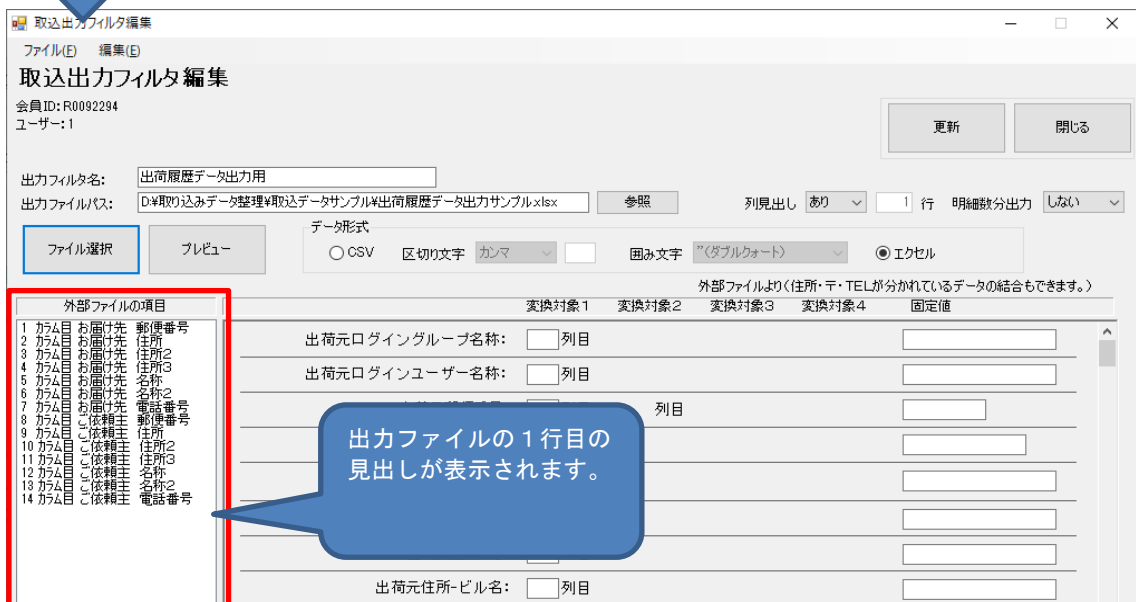
① 「ファイル選択」 ボタンをクリックします。



② 出力するファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。



Point ファイルを選択しなくても紐付は可能です。
予め出力用のファイルがある場合に選択します。



2-5 出力用のフィルタを登録する方法

- ③ 出力ファイルの項目を紐付します。
下記の①～③の何れかの方法で出力する項目を紐付します。

紐付方法① 出力ファイルの項目をゆうプリRの変換対象欄にドラッグアンドドロップします。

取得出力フィルタ編集

ファイル名: 編集

取得出力フィルタ編集

会員ID: R0092294
ユーザー: 1

出力フィルタ名: 出荷履歴データ出力用

出力ファイルパス: D:\取得済みデータ整理\取得済みデータサンプル\取得履歴データ出力サンプル.xlsx 参照 列見出し あり 1 行 明細数出力 しない

データ形式: CSV 区切り文字 カンマ 囲み文字 (ダブルクォート) エクセル

外部ファイルより(住所・TEL)が分かれているデータの結合もできます。

外部ファイルの項目	変換対象1	変換対象2	変換対象3	変換対象4	固定値
1 カラム目 お届け先 郵便番号	お届け先 郵便番号: <input type="text" value="1 列目"/>				
2 カラム目 お届け先 住所	お届け先 住所1: <input type="text"/>				
3 カラム目 お届け先 住所2	お届け先 住所2: <input type="text"/>				
4 カラム目 お届け先 住所3	お届け先 住所3: <input type="text"/>				
5 カラム目 お届け先 名称	お届け先 名称1: <input type="text"/>				
6 カラム目 お届け先 名称2	お届け先 名称2: <input type="text"/>				
7 カラム目 依頼主 郵便番号	お届け先 敬称区分: <input type="text"/>				
8 カラム目 依頼主 住所	お届け先 電話番号: <input type="text"/>				
9 カラム目 依頼主 住所2	お届け先 メールアドレス1: <input type="text"/>				
10 カラム目 依頼主 住所3					
11 カラム目 依頼主 名称					
12 カラム目 依頼主 名称2					
13 カラム目 依頼主 名称1					
14 カラム目 依頼主 電話番号					

選択したファイルの1行目のデータが列順に並んでいます。

例として
ゆうプリRの〈お届け先郵便番号〉を出力ファイルの1カラム目〈お届け先郵便番号〉へ出力する場合、〈変換対象1〉欄に出力ファイルの〈お届け先郵便番号〉をドラッグアンドドロップします。

1 カラム目 お届け先 郵便番号

2 カラム目 お届け先 住所

3 カラム目 お届け先 住所2

4 カラム目 お届け先 住所3

5 カラム目 お届け先 名称

6 カラム目 お届け先 名称2

7 カラム目 お届け先 電話番号

お届け先 郵便番号: 1 列目

お届け先 住所1:

ドラッグアンドドロップ

紐付方法② 出力ファイルの項目番号をゆうプリRの項目の変換対象欄に直接入力する。

1 カラム目 お届け先 郵便番号

2 カラム目 お届け先 住所

3 カラム目 お届け先 住所2

4 カラム目 お届け先 住所3

5 カラム目 お届け先 名称

6 カラム目 お届け先 名称2

7 カラム目 お届け先 電話番号

お届け先 郵便番号: 1 列目

お届け先 住所1:

外部ファイルの項目

1 カラム目 お届け先 郵便番号

2 カラム目 お届け先 住所

3 カラム目 お届け先 住所2

4 カラム目 お届け先 住所3

5 カラム目 お届け先 名称

6 カラム目 お届け先 名称2

7 カラム目 依頼主 郵便番号

8 カラム目 依頼主 住所

9 カラム目 依頼主 住所2

10 カラム目 依頼主 住所3

11 カラム目 依頼主 名称

12 カラム目 依頼主 名称2

例として
ゆうプリRの〈お届け先郵便番号〉を出力ファイルの1カラム目にある〈お届け先郵便番号〉へ出力する場合、〈変換対象1〉欄に出力ファイルの1カラム目である'1'を直接入力します。

2-5 出力用のフィルタを登録する方法

紐付方法③ ゆうプリRの項目について出力順番を指定する

※ この場合、予めファイルを選択する必要はありません。ゆうプリR側の項目で必要な項目について出力する順番を指定してください。

取得出力フィルタ編集

会員ID: R0092294
ユーザー: 1

出力フィルタ名: 出荷履歴データ出力用

出力ファイルパス: D:\取引込みデータ整理\取得データサンプル\出荷履歴データ出力サンプル.xlsx

データ形式: CSV 区切り文字 カンマ 囲み文字 *(ダブルクォート) エスケル

列見出し: あり | 1行 | 明細数分出力 | しない

外部ファイルの項目	変換対象1	変換対象2	変換対象3	変換対象4	固定値
1 カラム お届け先 郵便番号	お届け先 郵便番号: 1 列目				
2 カラム お届け先 住所		お届け先 住所1: 2 列目			
3 カラム お届け先 住所2			お届け先 住所2: 3 列目		
4 カラム お届け先 住所3				お届け先 住所3: 4 列目	
5 カラム お届け先 名称1				お届け先 名称1: 5 列目	
6 カラム お届け先 名称2				お届け先 名称2: 列目	
7 カラム お届け先 電話番号				お届け先 電話番号: 列目	
8 カラム 依頼主 郵便番号				依頼主 郵便番号: 列目	
9 カラム 依頼主 住所				依頼主 住所: 列目	
10 カラム 依頼主 住所2				依頼主 住所2: 列目	
11 カラム 依頼主 住所3				依頼主 住所3: 列目	
12 カラム 依頼主 名称1				依頼主 名称1: 列目	
13 カラム 依頼主 名称2				依頼主 名称2: 列目	
14 カラム 依頼主 電話番号				依頼主 電話番号: 列目	

■ 出力する順番について

上記例の場合、ファイルの左から以下の順で出力されます。

<お届け先郵便番号><お届け先住所1>~<お届け先住所3><お届け先名称1><お届け先名称2>

■ 出力ファイルの見出し項目名について

フィルタ設定で<列見出し>を'あり'に指定した場合、ファイルの1行目に項目名が出力されますが、ゆうプリR側の項目で出力されるため項目名を変更することは出来ません。

Point

出力する順番は、空白カラムがある場合、削除して出力します。

例えば、ファイルに1カラム目と3カラム目に出力し、2カラム目を飛ばして出力することができません。この場合、1カラム目と2カラム目に出力します。

出力設定

お届け先 郵便番号:	1 列目
お届け先 住所1:	3 列目

出力結果


A	B
お届け先 郵便番号	お届け先 住所
1410031	東京都品川区西五反田

出力例)

ゆうプリRの出力設定で<お届け先郵便番号>を1カラム目、<お届け先住所1>を3カラム目に出力する設定としても、出力されたファイルには、1カラム目に<お届け先郵便番号>、2カラム目に<お届け先住所1>を出力します。空白カラムを含めることができません。

2-5 出力用のフィルタを登録する方法

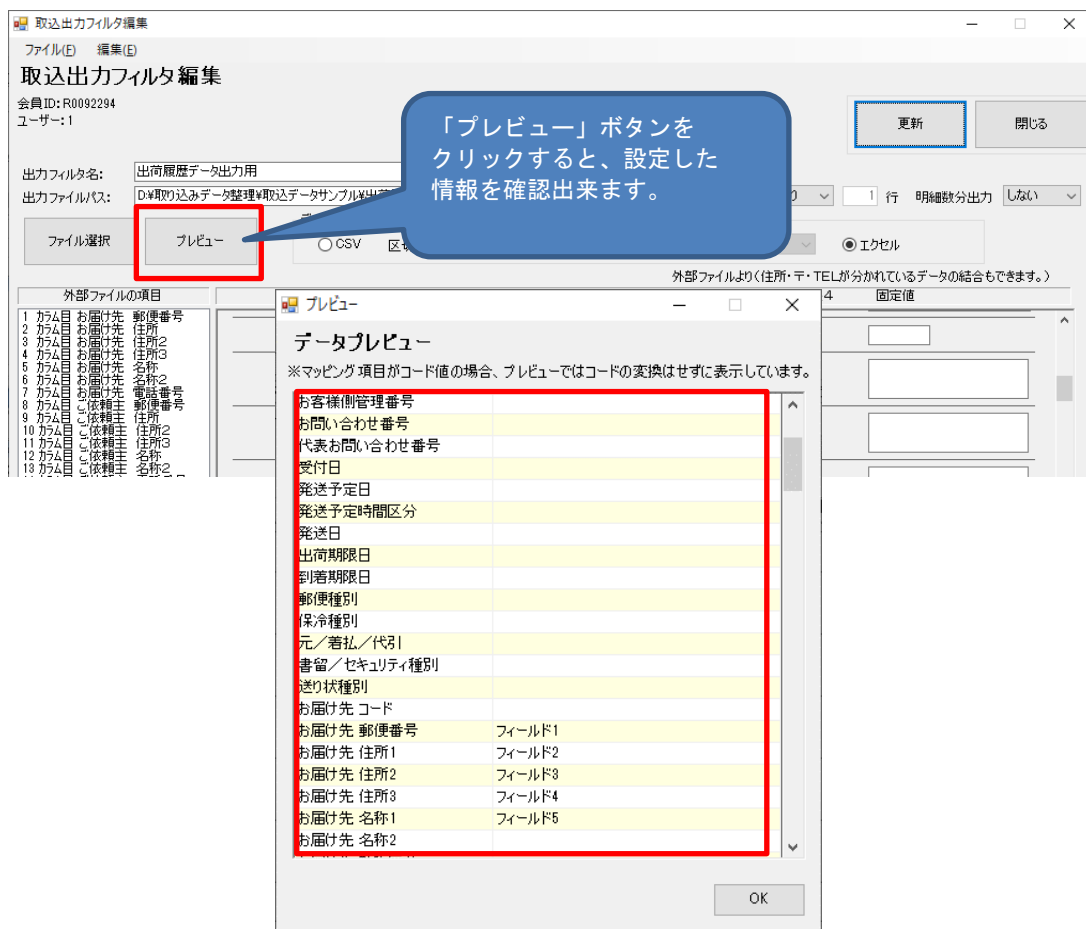
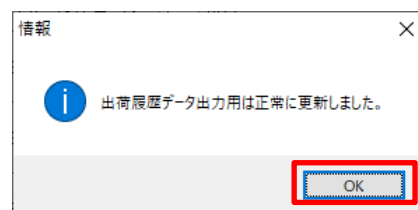
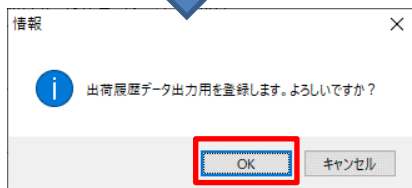
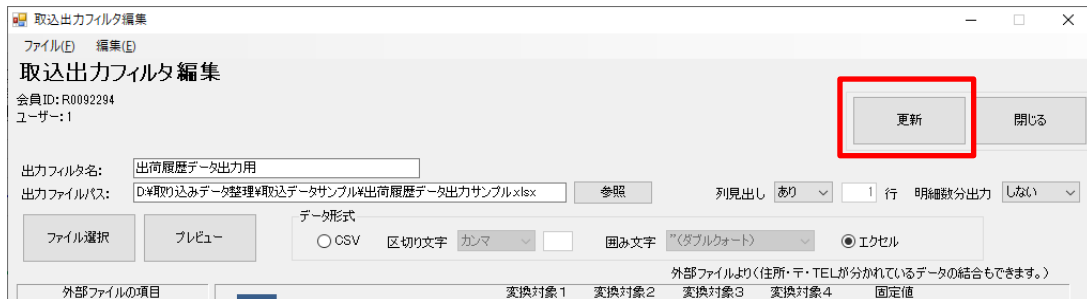
■ 設定項目説明

外部ファイルの項目	出力するファイルを選択すると、<外部ファイル項目>にファイルの項目が表示されます。
変換対象 1	<p>ゆうブリRの項目が出力ファイルのどの位置か指定します。</p> <p>入力方法 : 直接入力 または 外部ファイルの項目からドラッグアンドドロップ</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>
変換対象 2	<p>ゆうブリRの項目が出力ファイルのどの位置か指定します。</p> <p>入力方法 : 直接入力 または 外部ファイルの項目からドラッグアンドドロップ</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p> <p>以下の項目で指定が行えます。</p> <p>振替口座: <input type="text"/> 列目 <input type="text"/> 列目 <input type="text"/> 列目 指定した場合、各列に 同じ値が出力されます。</p> <p>総合口座: <input type="text"/> 列目 <input type="text"/> 列目 <input type="text"/> 列目</p>
変換対象 3	<p>ゆうブリRの項目が出力ファイルのどの位置か指定します。</p> <p>入力方法 : 直接入力 または 外部ファイルの項目からドラッグアンドドロップ</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p> <p>以下のような項目で指定が行えます。</p> <p>振替口座: <input type="text"/> 列目 <input type="text"/> 列目 <input type="text"/> 列目 指定した場合、各列に 同じ値が出力されます。</p> <p>総合口座: <input type="text"/> 列目 <input type="text"/> 列目 <input type="text"/> 列目</p>
変換対象 4	現在、未使用の項目です。
固定値	<p>変換対象の列位置が指定されていて、かつ固定値が指定されている項目は指定した固定値の情報が出力されます。</p> <p>■ 指定した列位置の項目に固定値の情報を出力させる方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 変換対象の列位置が指定されている ・ 固定値が設定されている <div style="text-align: center;">  </div> <p>※ 固定値のみ設定を行われても出力されません。 ※ 変換対象の列位置を指定した項目のデータと固定値が同時に設定されている場合、固定値が優先して出力されます。 例として、登録データの敬称は'様'で登録されていて、固定値で'御中'を指定した場合、出力したファイルには'御中'のコード値を出力します。</p>

2-5 出力用のフィルタを登録する方法

(4) 作成したフィルタ設定の登録

出力する項目の紐付が完了しましたら、「更新」ボタンをクリックして保存します。



2-6 登録したフィルタを変更・削除する方法

1. 登録したフィルタの修正方法

登録したフィルタを修正する場合は、以下の操作で行ってください。

(1) 取込出力フィルター一覧画面を開きます。

【ゆうプリRスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。

① 取込用、出力用を確認し、修正するフィルタを選択します。

② 「修正」ボタンをクリックする。

③ 紐付設定等の修正が完了後「更新」ボタンをクリックして設定を保存します。

取込出力フィルター一覧

取込出力フィルター編集

更新

選択したファイルの1行目のデータが列順に並んでいます。

2-6 登録したフィルタを変更・削除する方法

2. 登録したフィルタの削除方法

登録したフィルタを削除する場合は、以下の操作で行ってください。
 ※ 削除を行うと復元は出来ませんのでご注意ください。

(1) 取込出力フィルタ一覧画面を開きます。

【ゆうプリRスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。

① 取込用、出力用を確認し、削除するフィルタを選択します。

② 「削除」ボタンをクリックします。

「はい」ボタンをクリックします。

登録したフィルタは画面から削除されます。

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

ゆうプリRにCSVファイルやExcelファイルでデータを取り込みする場合は、予め取り込み用のフィルタを登録する必要があります。本項では、詳細編集でのフィルタ設定方法をご案内します。

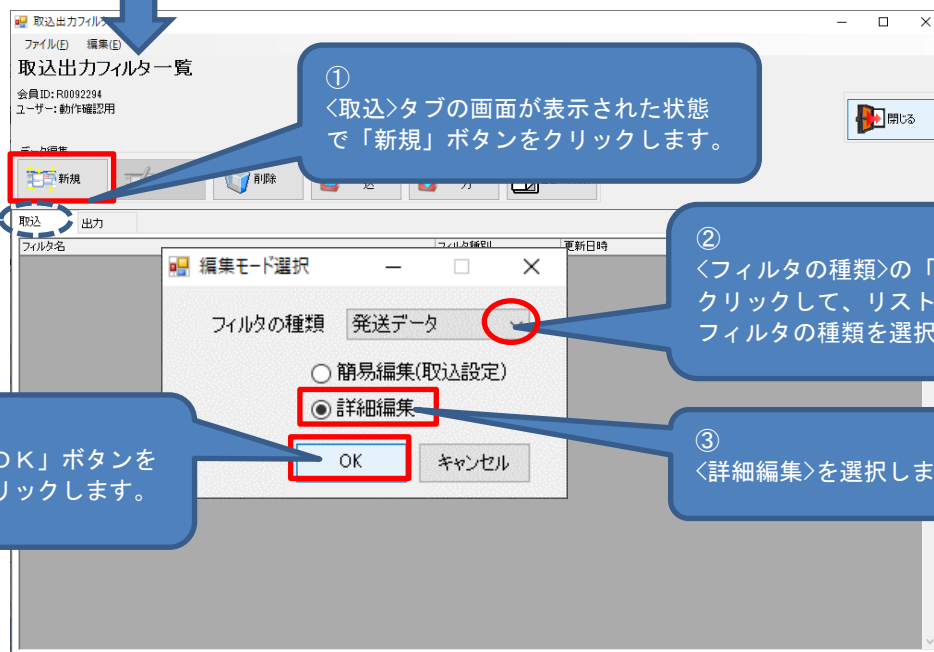
1. 取り込み用フィルタの登録方法

(1) 登録画面を開きます

【ゆうプリRスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。



本手順では、発送データを取り込みする場合を例に説明を行っております。



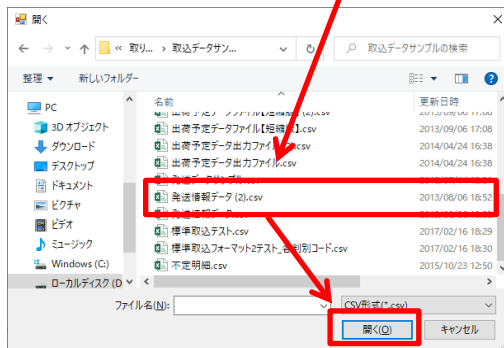
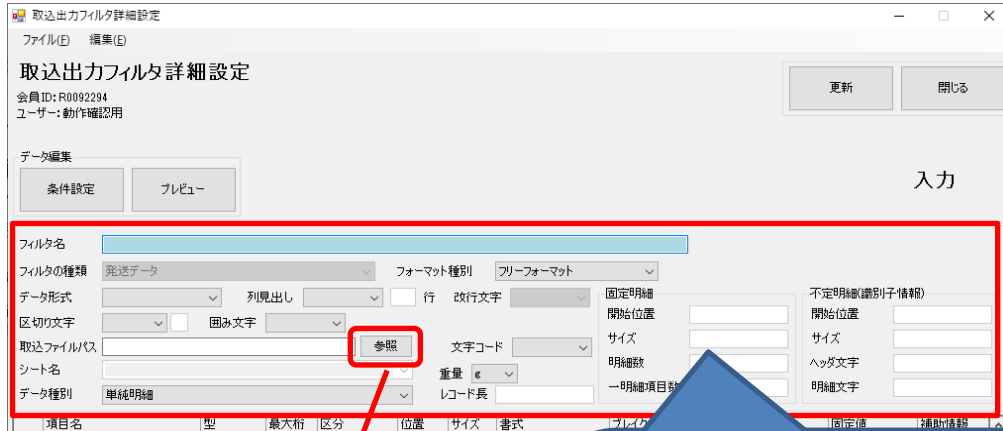
Point

- フィルタの種類について
登録出来るフィルタは、<発送データ>、<顧客データ>、<顧客商品データ>、<記事マスタ>です。
ご利用の用途を間違えないようご注意ください。

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

(2) 取り込みするファイルに関する設定

『取込出力フィルタ詳細設定』画面が開きますので、取り込みするファイルに関する設定を行います。



- ① フィルタ名を入力します。
- ② フォーマット種別を選択します。
- ③ 列見出し、データ形式を設定します。
CSVファイルの場合、区切り文字、囲み文字を選択します。
- ④ 固定長テキストの場合、改行文字、レコード長を選択します。
- ⑤ 文字コードを選択します。
- ⑥ 重量を選択します。
- ⑦ Excelファイルの場合、シート名を選択します。
- ⑧ 「参照」ボタンをクリックして、取り込みするファイルを選択します。
- ⑨ データ種別を選択します。

■ 設定項目説明

取込フィルタ名 必須入力項目	<p>フィルタに任意の名前を付けます。</p> <p>入力形式 : 全角の場合、最大 50文字 半角の場合、最大 100文字 (全半角混在可能)</p> <p>入力方法 : 直接入力</p> <p>初期状態 : 未入力 (表示なし)</p> <p>※ フィルタ名は、後から変更することができません。 登録後に変更が必要な場合は、「コピー作成」ボタンをご利用ください。</p>
フィルタの種類	<p>編集モード選択画面で選択したフィルタの種類を表示します。</p> <p>フィルタの種類は変更が出来ませんので、再度、編集モード選択画面から選択を行ってください。</p>

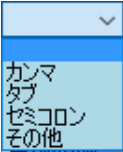
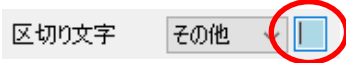
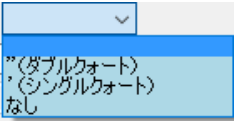
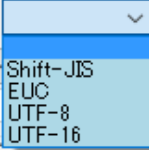
3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

<p>フォーマット種別 必須選択項目</p> <p>フリーフォーマット フリーフォーマット 楽天 e-決済 YAHOO AMAZON みずほファクター YAHOO Ver2.8 ビッダーズ 標準フォーマットv1 標準フォーマットv2 標準フォーマットv3</p>	<p>取り込みデータに合わせて自由に取り込みの設定が行えるフリーフォーマットと楽天やYahooデータ等を取り込みするための専用のフォーマットがあります。 取り込みするデータに合わせてフォーマット種別を選択してください。</p> <p>入力方法 : 「▼」ボタンをクリックしてフォーマットを選択します。</p> <table border="1" data-bbox="571 611 1390 1162"> <tr> <td>フリーフォーマット</td> <td>自由に取込設定を行う時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>楽天</td> <td>楽天データの取込設定時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>e-決済</td> <td>e-決済データの取込設定時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>YAHOO</td> <td>Yahooデータの取込設定時に選択します。 (ストアマネージャーのフォーマット)</td> </tr> <tr> <td>AMAZON</td> <td>Amazonデータの取込設定時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>みずほファクター</td> <td>みずほファクターデータの取込設定時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>YAHOO Ver2.8</td> <td>Yahooデータの取込設定時に選択します。 (ストアクリエイターProのフォーマット)</td> </tr> <tr> <td>ビッダーズ</td> <td>ビッダーズデータの取込設定時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>標準フォーマットv1</td> <td>標準フォーマットv1の取込設定時に選択します。 ※ 取り込みファイルのレイアウトは固定です。</td> </tr> <tr> <td>標準フォーマットv2</td> <td>標準フォーマットv2の取込設定時に選択します。 ※ 取り込みファイルのレイアウトは固定です。</td> </tr> <tr> <td>標準フォーマットv3</td> <td>標準フォーマットv3の取込設定時に選択します。 ※ 取り込みファイルのレイアウトは固定です。</td> </tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、フリーフォーマットとなります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p> <p>※ 楽天やYahoo等の注文データ取り込みに関しましては、別紙〔7. 楽天、アマゾン等の各社注文データ取込操作〕を参照ください。</p>	フリーフォーマット	自由に取込設定を行う時に選択します。	楽天	楽天データの取込設定時に選択します。	e-決済	e-決済データの取込設定時に選択します。	YAHOO	Yahooデータの取込設定時に選択します。 (ストアマネージャーのフォーマット)	AMAZON	Amazonデータの取込設定時に選択します。	みずほファクター	みずほファクターデータの取込設定時に選択します。	YAHOO Ver2.8	Yahooデータの取込設定時に選択します。 (ストアクリエイターProのフォーマット)	ビッダーズ	ビッダーズデータの取込設定時に選択します。	標準フォーマットv1	標準フォーマットv1の取込設定時に選択します。 ※ 取り込みファイルのレイアウトは固定です。	標準フォーマットv2	標準フォーマットv2の取込設定時に選択します。 ※ 取り込みファイルのレイアウトは固定です。	標準フォーマットv3	標準フォーマットv3の取込設定時に選択します。 ※ 取り込みファイルのレイアウトは固定です。
フリーフォーマット	自由に取込設定を行う時に選択します。																						
楽天	楽天データの取込設定時に選択します。																						
e-決済	e-決済データの取込設定時に選択します。																						
YAHOO	Yahooデータの取込設定時に選択します。 (ストアマネージャーのフォーマット)																						
AMAZON	Amazonデータの取込設定時に選択します。																						
みずほファクター	みずほファクターデータの取込設定時に選択します。																						
YAHOO Ver2.8	Yahooデータの取込設定時に選択します。 (ストアクリエイターProのフォーマット)																						
ビッダーズ	ビッダーズデータの取込設定時に選択します。																						
標準フォーマットv1	標準フォーマットv1の取込設定時に選択します。 ※ 取り込みファイルのレイアウトは固定です。																						
標準フォーマットv2	標準フォーマットv2の取込設定時に選択します。 ※ 取り込みファイルのレイアウトは固定です。																						
標準フォーマットv3	標準フォーマットv3の取込設定時に選択します。 ※ 取り込みファイルのレイアウトは固定です。																						
<p>データ形式 必須選択項目</p> <p>カンマ、タブなどの区切り文字 Excel 固定長テキスト</p>	<p>取り込みするファイルの形式を選択します。</p> <p>入力形式 : 「▼」ボタンをクリックしてデータ形式を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="571 1424 1390 1653"> <tr> <td>カンマ、タブなどの区切り文字</td> <td>CSV (カンマ区切り)やTAB区切りされたデータの取り込み設定時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>Excel</td> <td>Excelデータの取り込み設定時に選択します。 Microsoft Excel 2003以降が必要です。 ※ 拡張子<xls><xlsx>共に利用可能。</td> </tr> <tr> <td>固定長テキスト</td> <td>固定長テキストデータの取り込み設定時に選択します。</td> </tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力 (表示なし) となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	カンマ、タブなどの区切り文字	CSV (カンマ区切り)やTAB区切りされたデータの取り込み設定時に選択します。	Excel	Excelデータの取り込み設定時に選択します。 Microsoft Excel 2003以降が必要です。 ※ 拡張子<xls><xlsx>共に利用可能。	固定長テキスト	固定長テキストデータの取り込み設定時に選択します。																
カンマ、タブなどの区切り文字	CSV (カンマ区切り)やTAB区切りされたデータの取り込み設定時に選択します。																						
Excel	Excelデータの取り込み設定時に選択します。 Microsoft Excel 2003以降が必要です。 ※ 拡張子<xls><xlsx>共に利用可能。																						
固定長テキスト	固定長テキストデータの取り込み設定時に選択します。																						
<p>列見出し データ形式で固定長テキスト以外を選択した場合、必須選択項目</p>	<p>取り込みするデータの列見出しの'あり'、'なし'を選択します。</p> <p>入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして'あり'または'なし'を選択します。 ※ ファイルの1行目にデータの見出しがある場合、'あり'を選択します。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力 (表示なし) となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>																						

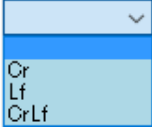
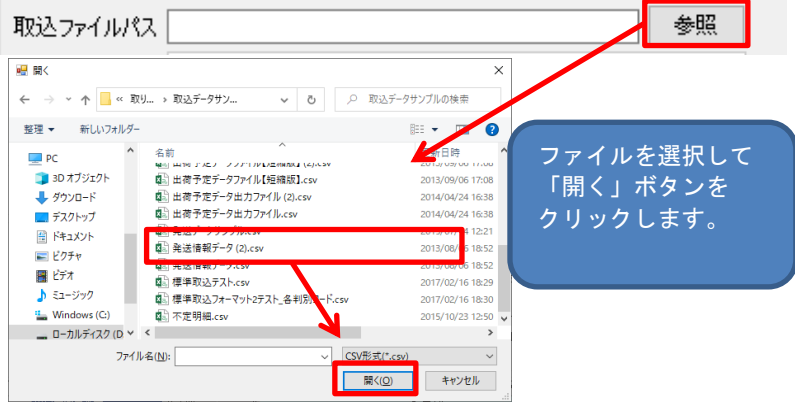
3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

<p>行</p> <p>列見出しを'あり'にした場合は、必須入力項目</p>	<p>列見出しを'あり'にした場合、見出しの行数を指定します。</p> <p>入力形式 : 半角数字 (最大3桁)</p> <p>入力方法 : 直接入力</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力 (表示なし) となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>								
<p>区切り文字</p> <p>データ形式で<カンマ、タブなどの区切り文字>を選択の場合、必須選択項目</p> 	<p>取り込みファイル内のデータの区切り文字を指定します。</p> <p>入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして区切り文字を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="571 611 1386 871"> <tbody> <tr> <td>カンマ</td> <td>データ項目がカンマで区切られたデータの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>タブ</td> <td>データ項目がタブで区切られたデータの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>セミコロン</td> <td>データ項目がセミコロンで区切られたデータの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>データ項目が上述の選択肢以外の文字で区切られた場合に選択します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力 (表示なし) となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	カンマ	データ項目がカンマで区切られたデータの場合に選択します。	タブ	データ項目がタブで区切られたデータの場合に選択します。	セミコロン	データ項目がセミコロンで区切られたデータの場合に選択します。	その他	データ項目が上述の選択肢以外の文字で区切られた場合に選択します。
カンマ	データ項目がカンマで区切られたデータの場合に選択します。								
タブ	データ項目がタブで区切られたデータの場合に選択します。								
セミコロン	データ項目がセミコロンで区切られたデータの場合に選択します。								
その他	データ項目が上述の選択肢以外の文字で区切られた場合に選択します。								
<p>区切り文字 (値)</p> <p><区切り文字>で'その他'を選択の場合、入力必須項目</p>	<p>取り込みファイル内のデータの区切り文字を入力します。</p> <p>入力形式 : 半角英数字 1桁</p> <p>入力方法 : 直接入力</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力 (表示なし) となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>  <p>↑ この部分にファイルの区切り文字を入力します。</p>								
<p>囲み文字</p> <p>データ形式で'カンマ、タブなどの区切り文字'を選択の場合、必須選択項目</p> 	<p>取り込みファイル内のデータの囲み文字を選択します。</p> <p>入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして囲み文字を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="571 1294 1386 1391"> <tbody> <tr> <td>ダブルクォート</td> <td>「"」で囲む場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>シングルクォート</td> <td>「'」で囲む場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>囲み文字を使用しない場合に選択します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力 (表示なし) となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	ダブルクォート	「"」で囲む場合に選択します。	シングルクォート	「'」で囲む場合に選択します。	なし	囲み文字を使用しない場合に選択します。		
ダブルクォート	「"」で囲む場合に選択します。								
シングルクォート	「'」で囲む場合に選択します。								
なし	囲み文字を使用しない場合に選択します。								
<p>文字コード</p> 	<p>取り込みするデータの文字コードを選択します。</p> <p>入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして文字コードを選択します。</p> <table border="1" data-bbox="571 1585 1386 1720"> <tbody> <tr> <td>Shift-JIS</td> <td>Shift-JISを指定する場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>EUC</td> <td>EUCを指定する場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>UTF-8</td> <td>UTF-8を指定する場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>UTF-16</td> <td>UTF-16を指定する場合に選択します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ データ形式が<Excel>の場合、どれを選択しても<Shift-JIS>で取り込みます。それ以外は、文字化けとなるため作成元を確認してください。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力 (表示なし) となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	Shift-JIS	Shift-JISを指定する場合に選択します。	EUC	EUCを指定する場合に選択します。	UTF-8	UTF-8を指定する場合に選択します。	UTF-16	UTF-16を指定する場合に選択します。
Shift-JIS	Shift-JISを指定する場合に選択します。								
EUC	EUCを指定する場合に選択します。								
UTF-8	UTF-8を指定する場合に選択します。								
UTF-16	UTF-16を指定する場合に選択します。								

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

<p>改行文字</p> <p>データ形式で<固定長テキスト>を選択の場合、必須選択項目</p> 	<p>取り込みするデータの改行文字を選択します。</p> <p>入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして改行文字を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="571 443 1390 546"> <tbody> <tr> <td>Cr</td> <td>Crでの改行の場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>Lf</td> <td>Lfでの改行の場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>CrLf</td> <td>CrLfでの改行の場合に選択します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ファイルの作成元にご確認ください。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	Cr	Crでの改行の場合に選択します。	Lf	Lfでの改行の場合に選択します。	CrLf	CrLfでの改行の場合に選択します。
Cr	Crでの改行の場合に選択します。						
Lf	Lfでの改行の場合に選択します。						
CrLf	CrLfでの改行の場合に選択します。						
<p>レコード長</p> <p>データ形式で<固定長テキスト>を選択の場合、必須入力項目</p>	<p>取り込みするデータのレコード長を入力します。</p> <p>入力形式 : 半角数字 最大 4桁</p> <p>入力方法 : 直接入力</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>						
<p>取込ファイルパス</p>	<p>ファイル取り込み時に初期表示させるファイルの保存場所を指定します。</p> <p>※ 取り込みする際にも都度変更は可能です。</p> <p>入力形式 : 「参照」ボタンをクリックして選択します。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p> 						
<p>シート名</p> <p>データ形式で<Excel>を選択した場合、必須選択項目</p>	<p>取り込みファイルのデータが存在するExcelシート名を入力します。</p> <p>入力形式 : 「▼」ボタンをクリックしてシート名を選択します。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>						
<p>重量</p>	<p>取り込みするデータの重量の単位を選択します。</p> <p>「条件設定」ボタンをクリックした際に表示される、<重量>の単位を選択することができます。</p> <p>※ ゆうプリRの項目は、<重量合計（g）>に取り込まれた値を参照します。</p> <p>入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして重量の単位を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="571 1720 1390 1787"> <tbody> <tr> <td>g</td> <td>重量の単位がgの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>kg</td> <td>重量の単位がkgの場合に選択します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、'g' となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	g	重量の単位がgの場合に選択します。	kg	重量の単位がkgの場合に選択します。		
g	重量の単位がgの場合に選択します。						
kg	重量の単位がkgの場合に選択します。						

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

データ種別	取り込みするデータ種別を選択します。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">単純明細</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">単純明細</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">固定明細</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">不定明細</div> </div>	入力形式	: 「▼」ボタンをクリックしてデータ種別を選択します。
	単純明細	1レコード1明細タイプのデータの場合に選択します。 (1ヘッダ付明細/1レコード)
	固定明細	1レコードあたり複数の品名明細データの場合に選択します。 (1伝票・複数明細/1レコード)
	不定明細	レコード区分毎でのヘッダ/明細が分かれるデータの取り込みの場合に選択します。 (レコード区分によるヘッダ/明細識別)
初期状態	: 新規の場合、単純明細となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。	

(3) 取り込みファイルの項目とゆうプリRの項目との紐付

取り込みするファイルの各項目をゆうプリRのどの項目に取り込みするか設定を行います。本項目では、単純明細データを例に説明します。固定明細データ、不定明細データの設定は本マニュアル〔③3-2 固定明細データのフィルタ設定〕、〔③3-3 不定明細データのフィルタ設定〕を参照ください。

① 単純明細データの例

単純明細データとは、1件のデータに明細データが1件のみのデータをいいます。明細データは、ゆうプリRの以下のフィルタ項目になります。

〈商品番号〉、〈品名〉、〈個数〉、〈重量(g)〉、〈単価〉、〈消費税率区分〉、〈金額〉

1レコードに取り込みする品名が1つの場合、単純明細データとなります。

P	Q	R	S	T	U	V
お届け先電話番号	品名CD	商品名	個数	品代金	消費税	サイズ
03-1111-2222	kZn2658	アクセサリ	3			60
03-1111-2222	kZn2659	腕時計	2			60
03-1111-2222	wYMO2687	パソコンディスプレイ	1			BigSize

この例では、明細データに該当する〈品名CD〉、〈商品名〉、〈個数〉が1レコードに1件のみとなっています。このようなデータ構成が単純明細になります。明細データが複数ある場合は、固定明細あるいは不定明細になります。

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

② 取り込みするデータに関する設定

取り込みするファイルの各項目をゆうプリRのどの項目に取り込みするか設定を行います。

取込出力フィルタ詳細設定

会員ID: R0092294
ユーザー: 動作確認用

データ編集
条件設定 プレビュー

フィルタ名
フィルタの種類
データ形式
区切り文字
取込ファイルパス
シート名

項目名 型 最大桁 区分 位置 サイズ 書式 ブレイク 必須 重複 空白を除く 固定値 補助情報

項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ	書式	ブレイク	必須	重複	空白を除く	固定値	補助情報
出荷元会員番号	文字列	8				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
出荷元パソコンID	文字列	4				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
出荷元ログイングループID	文字列	30				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
出荷元ログインユーザーID	文字列	30				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
出荷元ログイングループ名称	文字列	70				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
出荷元ログインユーザー名称	文字列	70				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
出荷元郵便番号	文字列	8				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
出荷元電話番号	文字列	20				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
出荷元住所-JIS11	文字列	11				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
出荷元住所-番地	文字列	50				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
出荷元住所-号	文字列	50				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
出荷元住所-ビル名	文字列	50				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
テンプレート番号	数値型	9				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
お届け先グループコード	文字列	15				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

■ 設定項目説明

区分 データ種別で'不定明細'を選択した場合、必須選択項目	不定明細データの取り込み時のヘッダ/明細区分を設定します。 入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして区分を選択します。			
	<table border="1"> <tr> <td>明細</td> <td>明細部の取込項目の場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>ヘッダー</td> <td>ヘッダー部の取込項目の場合に選択します。</td> </tr> </table>	明細	明細部の取込項目の場合に選択します。	ヘッダー
明細	明細部の取込項目の場合に選択します。			
ヘッダー	ヘッダー部の取込項目の場合に選択します。			
	初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。			

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

位置	取り込みするファイルのデータ項目位置を指定します。																																																						
固定値設定以外は必須設定項目	入力形式 : 半角数字 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。																																																						
	【設定例】																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お届け先 郵便番号</td> <td>お届け先 住所</td> <td>お届け先 住所2</td> <td>お届け先 名称</td> </tr> <tr> <td>1410031</td> <td>東京都渋谷区渋谷1-1-1</td> <td>日本郵便株式会社 渋谷郵便局 1階</td> <td>送り状印字システムサポートセンター</td> </tr> <tr> <td>1410031</td> <td>東京都渋谷区渋谷1-1-1</td> <td>日本郵便株式会社 渋谷郵便局 1階</td> <td>送り状印字システムサポートセンター</td> </tr> <tr> <td>1410031</td> <td>東京都渋谷区渋谷1-1-1</td> <td>日本郵便株式会社 渋谷郵便局 1階</td> <td>送り状印字システムサポートセンター</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	お届け先 郵便番号	お届け先 住所	お届け先 住所2	お届け先 名称	1410031	東京都渋谷区渋谷1-1-1	日本郵便株式会社 渋谷郵便局 1階	送り状印字システムサポートセンター	1410031	東京都渋谷区渋谷1-1-1	日本郵便株式会社 渋谷郵便局 1階	送り状印字システムサポートセンター	1410031	東京都渋谷区渋谷1-1-1	日本郵便株式会社 渋谷郵便局 1階	送り状印字システムサポートセンター																																		
A	B	C	D																																																				
お届け先 郵便番号	お届け先 住所	お届け先 住所2	お届け先 名称																																																				
1410031	東京都渋谷区渋谷1-1-1	日本郵便株式会社 渋谷郵便局 1階	送り状印字システムサポートセンター																																																				
1410031	東京都渋谷区渋谷1-1-1	日本郵便株式会社 渋谷郵便局 1階	送り状印字システムサポートセンター																																																				
1410031	東京都渋谷区渋谷1-1-1	日本郵便株式会社 渋谷郵便局 1階	送り状印字システムサポートセンター																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>型</th> <th>最大桁</th> <th>区分</th> <th>位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お届け先 検索キー</td> <td>文字列</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>お届け先 郵便番号</td> <td>文字列</td> <td>8</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>お届け先 住所</td> <td>文字列</td> <td>50</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>お届け先 住所2</td> <td>文字列</td> <td>50</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>お届け先 住所3</td> <td>文字列</td> <td>50</td> <td></td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	型	最大桁	区分	位置	お届け先 検索キー	文字列	15			お届け先 郵便番号	文字列	8		1	お届け先 住所	文字列	50		2	お届け先 住所2	文字列	50		3	お届け先 住所3	文字列	50		4																								
項目名	型	最大桁	区分	位置																																																			
お届け先 検索キー	文字列	15																																																					
お届け先 郵便番号	文字列	8		1																																																			
お届け先 住所	文字列	50		2																																																			
お届け先 住所2	文字列	50		3																																																			
お届け先 住所3	文字列	50		4																																																			
	<p>A列～D列は左から順番に1～4番目の項目になります。〈お届け先郵便番号〉に取り込みする場合は、ゆうプリRの〈お届け先郵便番号〉の〈位置〉に'1'を入力します。同様に2～4番目の項目についても位置を入力します。</p>																																																						
サイズ	取り込みするデータ項目のサイズ（項目桁数）を指定します。																																																						
データ形式で'固定長テキスト'を選択した場合、必須入力項目	入力形式 : 半角英数字 最大 4桁 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。																																																						
	【設定例】																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>型</th> <th>最大桁</th> <th>区分</th> <th>位置</th> <th>サイズ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>送り状種別</td> <td>文字列</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>お届け先 検索キー</td> <td>文字列</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>お届け先 郵便番号</td> <td>文字列</td> <td>8</td> <td></td> <td>64</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>お届け先 住所</td> <td>文字列</td> <td>50</td> <td></td> <td>72</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>お届け先 住所2</td> <td>文字列</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>お届け先 住所3</td> <td>文字列</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>35</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>51</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ	送り状種別	文字列	20				お届け先 検索キー	文字列	15				お届け先 郵便番号	文字列	8		64	8	お届け先 住所	文字列	50		72	30	お届け先 住所2	文字列	50				お届け先 住所3	文字列	50								35	16					51	13
項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ																																																		
送り状種別	文字列	20																																																					
お届け先 検索キー	文字列	15																																																					
お届け先 郵便番号	文字列	8		64	8																																																		
お届け先 住所	文字列	50		72	30																																																		
お届け先 住所2	文字列	50																																																					
お届け先 住所3	文字列	50																																																					
				35	16																																																		
				51	13																																																		
	<p>この設定例の場合、〈お届け先郵便番号〉は、取り込みファイルの64バイト目から8バイトの長さで取り込む設定になります。〈お届け先住所〉は、72バイト目から30バイト取り込む設定です。</p>																																																						
	<p>※ 全角1文字は2バイト換算、半角1文字は1バイト換算です。 なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。</p>																																																						

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

<p>書式 データ型が日付型の項目の場合、必須選択項目</p> <p>設定なし</p> <p>設定なし</p> <p>小数1桁</p> <p>小数2桁</p> <p>小数3桁</p> <p>小数4桁</p> <p>前ゼロ埋め</p> <p>空白半角埋め</p> <p>空白全角埋め</p> <p>YYYYMMDD</p> <p>YYYY/MM/DD</p> <p>YYMMDD</p> <p>YY/MM/DD</p> <p>MMDD</p> <p>MM/DD</p> <p>YYYY年MM月DD日</p> <p>YY年MM月DD日</p> <p>MM月DD日</p>	<p>取り込みデータ内の書式から変換して取り込む必要がある場合に設定します。</p> <p>入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして書式を選択します。</p> <table border="1"> <tr> <td>設定なし</td> <td>特に設定がない場合を選択します。</td> </tr> <tr> <td>小数1桁</td> <td>取り込みでは使用していません。出力時に、設定した書式で出力します。</td> </tr> <tr> <td>小数2桁</td> <td>取り込みでは使用していません。出力時に、設定した書式で出力します。</td> </tr> <tr> <td>小数3桁</td> <td>取り込みでは使用していません。出力時に、設定した書式で出力します。</td> </tr> <tr> <td>小数4桁</td> <td>取り込みでは使用していません。出力時に、設定した書式で出力します。</td> </tr> <tr> <td>前ゼロ埋め</td> <td>値の前にゼロ埋めされているデータの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>空白半角埋め</td> <td>値の前に空白(半角)埋めされているデータの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>空白全角埋め</td> <td>値の前に空白(全角)埋めされているデータの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>YYYYMMDD</td> <td rowspan="10"> <p>日付の書式については、別紙〔8. 入出力インターフェース仕様書〕を参照ください。</p> <p>ゆうプリRで日付データを取り込みする場合、書式の設定は不要です。別紙〔8. 入出力インターフェース仕様書〕の記載の日付形式であれば取り込みが可能です。</p> </td> </tr> <tr> <td>YYYY/MM/DD</td> </tr> <tr> <td>YYMMDD</td> </tr> <tr> <td>YY/MM/DD</td> </tr> <tr> <td>MMDD</td> </tr> <tr> <td>MM/DD</td> </tr> <tr> <td>YYYY年MM月DD日</td> </tr> <tr> <td>YY年MM月DD日</td> </tr> <tr> <td>MM月DD日</td> </tr> <tr> <td>MMDD</td> </tr> <tr> <td>MM/DD</td> </tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、「設定なし」となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>書式</th> <th>取込データ例</th> <th>取込後イメージ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設定なし</td> <td>設定なし</td> <td>取込データそのまま</td> </tr> <tr> <td>前ゼロ埋め</td> <td>001000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>空白半角埋め</td> <td>"空白半角"1000</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>空白全角埋め</td> <td>"空白全角"1000</td> <td>1000</td> </tr> </tbody> </table>	設定なし	特に設定がない場合を選択します。	小数1桁	取り込みでは使用していません。出力時に、設定した書式で出力します。	小数2桁	取り込みでは使用していません。出力時に、設定した書式で出力します。	小数3桁	取り込みでは使用していません。出力時に、設定した書式で出力します。	小数4桁	取り込みでは使用していません。出力時に、設定した書式で出力します。	前ゼロ埋め	値の前にゼロ埋めされているデータの場合に選択します。	空白半角埋め	値の前に空白(半角)埋めされているデータの場合に選択します。	空白全角埋め	値の前に空白(全角)埋めされているデータの場合に選択します。	YYYYMMDD	<p>日付の書式については、別紙〔8. 入出力インターフェース仕様書〕を参照ください。</p> <p>ゆうプリRで日付データを取り込みする場合、書式の設定は不要です。別紙〔8. 入出力インターフェース仕様書〕の記載の日付形式であれば取り込みが可能です。</p>	YYYY/MM/DD	YYMMDD	YY/MM/DD	MMDD	MM/DD	YYYY年MM月DD日	YY年MM月DD日	MM月DD日	MMDD	MM/DD	書式	取込データ例	取込後イメージ	設定なし	設定なし	取込データそのまま	前ゼロ埋め	001000	1000	空白半角埋め	"空白半角"1000	1000	空白全角埋め	"空白全角"1000	1000
設定なし	特に設定がない場合を選択します。																																											
小数1桁	取り込みでは使用していません。出力時に、設定した書式で出力します。																																											
小数2桁	取り込みでは使用していません。出力時に、設定した書式で出力します。																																											
小数3桁	取り込みでは使用していません。出力時に、設定した書式で出力します。																																											
小数4桁	取り込みでは使用していません。出力時に、設定した書式で出力します。																																											
前ゼロ埋め	値の前にゼロ埋めされているデータの場合に選択します。																																											
空白半角埋め	値の前に空白(半角)埋めされているデータの場合に選択します。																																											
空白全角埋め	値の前に空白(全角)埋めされているデータの場合に選択します。																																											
YYYYMMDD	<p>日付の書式については、別紙〔8. 入出力インターフェース仕様書〕を参照ください。</p> <p>ゆうプリRで日付データを取り込みする場合、書式の設定は不要です。別紙〔8. 入出力インターフェース仕様書〕の記載の日付形式であれば取り込みが可能です。</p>																																											
YYYY/MM/DD																																												
YYMMDD																																												
YY/MM/DD																																												
MMDD																																												
MM/DD																																												
YYYY年MM月DD日																																												
YY年MM月DD日																																												
MM月DD日																																												
MMDD																																												
MM/DD																																												
書式	取込データ例	取込後イメージ																																										
設定なし	設定なし	取込データそのまま																																										
前ゼロ埋め	001000	1000																																										
空白半角埋め	"空白半角"1000	1000																																										
空白全角埋め	"空白全角"1000	1000																																										
<p>ブレイク</p>	<p>取り込みファイルの特定項目をキーにデータをまとめて取り込みします。</p> <p>入力形式 : チェックボックスにチェックを付けて選択します。 チェックなし ⇒ ブレイク指定しない チェックあり ⇒ ブレイク指定する</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(チェックなし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p> <p>※ ブレイク機能の詳細については、本マニュアル〔③3-5 取込ファイルの特定項目をキーにまとめる方法(ブレイク設定)〕を参照ください。</p>																																											

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

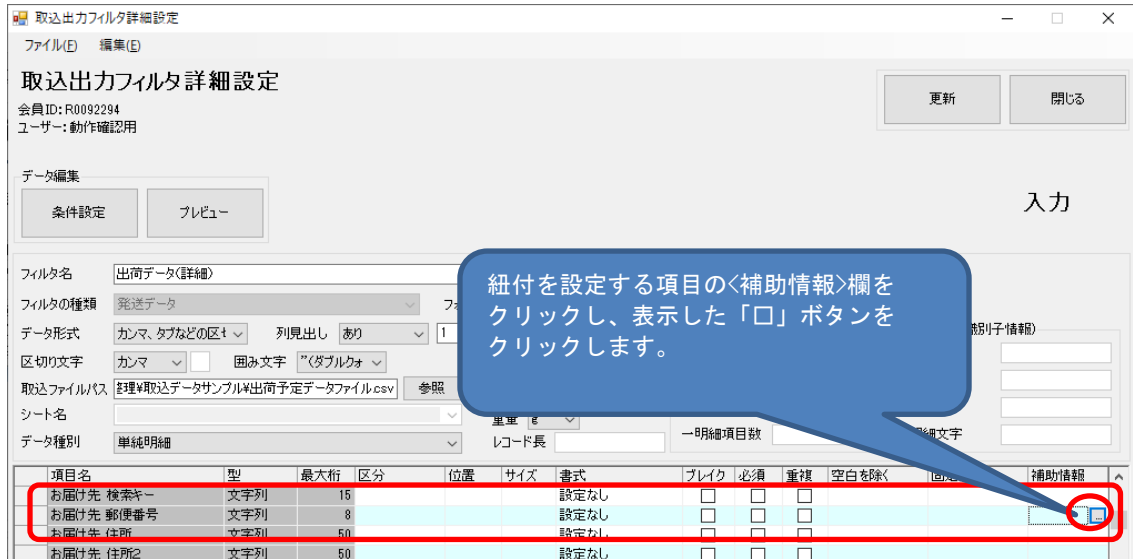
■ 設定項目説明

<p>必須</p>	<p>取り込みする項目を必須項目とします。</p> <p>入力形式 : チェックボックスにチェックを付けて選択します。 チェックなし ⇒ 必須にしない チェックあり ⇒ 必須にする</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(チェックなし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>																		
<p>重複</p>	<p>取り込みファイルの項目を重複チェックの対象とします。</p> <p>入力形式 : チェックボックスにチェックを付けて選択します。 チェックなし ⇒ 重複を許容する チェックあり ⇒ 重複をエラーとする</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(チェックなし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p> <p>※ 対象データは<取り込みファイル内>、<予定一覧>、<履歴一覧>です。</p>																		
<p>空白を除く</p> <div data-bbox="300 862 438 1258" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>空白を除く</p> <p>半角 左端</p> <p>半角 右端</p> <p>半角 両端</p> <p>全角 左端</p> <p>全角 右端</p> <p>全角 両端</p> <p>全半 左端</p> <p>全半 右端</p> <p>全半 両端</p> </div>	<p>取り込みする項目の空白部分を除いて取り込みします。</p> <p>※ データ取り込み時に、結合設定をせずに一つの項目のみを取り込む場合は、両端の空白を除いた形で取り込む為、設定は必要です。 結合設定を行う場合のみ必要に応じて設定してください。 結合設定の詳細は、本マニュアル〔③3-6 取込ファイルの項目を結合して取り込む方法〕を参照ください。</p> <p>例として'全角両端'を指定した場合 <□□名前1□□>と<□□名前2□□>を結合した場合 ⇒<名前1名前2>として取り込みします。</p> <p>入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして空白処理を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="571 1196 1350 1491"> <tr><td>半角 左端</td><td>項目左端の空白(半角)部分を除きます。</td></tr> <tr><td>半角 右端</td><td>項目右端の空白(半角)部分を除きます。</td></tr> <tr><td>半角 両端</td><td>項目両端の空白(半角)部分を除きます。</td></tr> <tr><td>全角 左端</td><td>項目左端の空白(全角)部分を除きます。</td></tr> <tr><td>全角 右端</td><td>項目右端の空白(全角)部分を除きます。</td></tr> <tr><td>全角 両端</td><td>項目両端の空白(全角)部分を除きます。</td></tr> <tr><td>全半 左端</td><td>項目左端の空白(全角・半角)部分を除きます。</td></tr> <tr><td>全半 右端</td><td>項目右端の空白(全角・半角)部分を除きます。</td></tr> <tr><td>全半 両端</td><td>項目両端の空白(全角・半角)部分を除きます。</td></tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	半角 左端	項目左端の空白(半角)部分を除きます。	半角 右端	項目右端の空白(半角)部分を除きます。	半角 両端	項目両端の空白(半角)部分を除きます。	全角 左端	項目左端の空白(全角)部分を除きます。	全角 右端	項目右端の空白(全角)部分を除きます。	全角 両端	項目両端の空白(全角)部分を除きます。	全半 左端	項目左端の空白(全角・半角)部分を除きます。	全半 右端	項目右端の空白(全角・半角)部分を除きます。	全半 両端	項目両端の空白(全角・半角)部分を除きます。
半角 左端	項目左端の空白(半角)部分を除きます。																		
半角 右端	項目右端の空白(半角)部分を除きます。																		
半角 両端	項目両端の空白(半角)部分を除きます。																		
全角 左端	項目左端の空白(全角)部分を除きます。																		
全角 右端	項目右端の空白(全角)部分を除きます。																		
全角 両端	項目両端の空白(全角)部分を除きます。																		
全半 左端	項目左端の空白(全角・半角)部分を除きます。																		
全半 右端	項目右端の空白(全角・半角)部分を除きます。																		
全半 両端	項目両端の空白(全角・半角)部分を除きます。																		
<p>固定値</p>	<p>取り込みデータの値ではなく、固定値を設定する場合に指定します。 取り込みする項目に固定値をセットします。</p> <p>入力形式 : 全半角混在可能</p> <p>入力方法 : 直接入力</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p> <p>※ 取り込みファイルの項目位置を設定してあり、かつ固定値を設定した場合、エラーが発生する可能性がありますので、重複した設定を行わないでください。 また、『取込補助』画面で固定値を設定した場合、修正や削除は『取込補助』画面で行ってください。 『取込補助』画面以外では反映されません。</p>																		

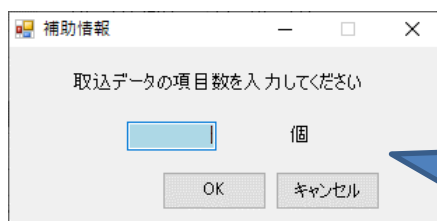
3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

- ③ 取り込みファイルの項目とゆうプリRの項目との紐付
下記の (a) または (b) の何れかの方法で取り込みする項目を紐付します。

紐付方法 (a) 取込補助画面を使用して取り込みファイルの項目とゆうプリRの項目を設定します。
取込補助画面では、データの取り込みに関する詳細な設定を行うことが出来ます。
取込補助画面は、以下の操作で起動出来ます。



■ データが認識されない場合の画面



こちらの画面が表示された場合は、取り込みファイルを正しく読み込みが出来ていないため、取り込みファイルの場所やシート名の選択等が正しいか設定を確認してください。

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 『取込補助』画面の構成

取込補助

取込データの編集

固定値

取込データから選択

取込データを切り出す 開始位置 バイト目から バイト

追加 削除

↓セットする値(下記順序で結合) ※複数項目を追加すると結合されたセット値になります

明細行設定項目

書式設定 設定なし ブレイク項目にする

空白を除く

必須チェックする 重複チェックする

取込先項目名選択

ヘッダ 明細

1. テンプレート	2. お届け先グループ	3. 処理番号	4. お客様側管理	5. 発送予定日	6. 発送予定時間	7. 発送日	8. 出荷期限日	9. 到着期限日	10. 郵便種別	11. 保冷種別
1			3444444444444444			2013/11/15	2013/11/15	2013/11/15	0	0

取込先項目名選択

- 出荷元ログイングループ名称
- 出荷元ログインユーザー名称
- 出荷元郵便番号
- 出荷元電話番号
- 出荷元住所-JIS11
- 出荷元住所-番地
- 出荷元住所-号
- 出荷元住所-ビル名
- テンプレート番号
- お届け先グループコード
- 処理番号
- お客様側管理番号
- 発送予定日
- 発送予定時間区分
- 発送日
- 出荷期限日
- 到着期限日
- 郵便種別
- 保冷種別
- 元/着払/代引
- 書留/セキュリティ/特定記録種別
- 配達時間帯指定郵便種別
- 送り状種別
- お届け先 検索キー
- お届け先 郵便番号

キャンセル 前へ 次へ 終了

■ 画面項目説明

① 固定値	<p><固定値>をセットする場合、チェックボックスにチェックを付け値を入力します。空白のみ、および先頭の空白は削除されます。</p> <p>入力形式 : 全半角混在可能</p> <p>入力方法 : 直接入力</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>														
取込データから選択	<p>取り込む項目を<取込データから選択>にチェックし選択します。</p> <p>入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして取り込みする項目を選択します。</p> <p><列見出し>に”あり”を設定している場合は、取り込むデータの列見出し(列名)がプルダウンの選択肢となります。</p> <p><列見出し>に”なし”を設定している場合は、取り込むデータの列番号がプルダウンの選択肢となります。</p> <p>列見出し : あり</p> <table border="1"> <tr><td>1.テンプレート番号</td></tr> <tr><td>2.お届け先グループコード</td></tr> <tr><td>3.処理番号</td></tr> <tr><td>4.お客様側管理番号</td></tr> <tr><td>5.発送予定日</td></tr> <tr><td>6.発送予定時間区分</td></tr> <tr><td>7.発送日</td></tr> </table> <p>列見出し : なし</p> <table border="1"> <tr><td>1.項目</td></tr> <tr><td>2.項目</td></tr> <tr><td>3.項目</td></tr> <tr><td>4.項目</td></tr> <tr><td>5.項目</td></tr> <tr><td>6.項目</td></tr> <tr><td>7.項目</td></tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	1.テンプレート番号	2.お届け先グループコード	3.処理番号	4.お客様側管理番号	5.発送予定日	6.発送予定時間区分	7.発送日	1.項目	2.項目	3.項目	4.項目	5.項目	6.項目	7.項目
1.テンプレート番号															
2.お届け先グループコード															
3.処理番号															
4.お客様側管理番号															
5.発送予定日															
6.発送予定時間区分															
7.発送日															
1.項目															
2.項目															
3.項目															
4.項目															
5.項目															
6.項目															
7.項目															

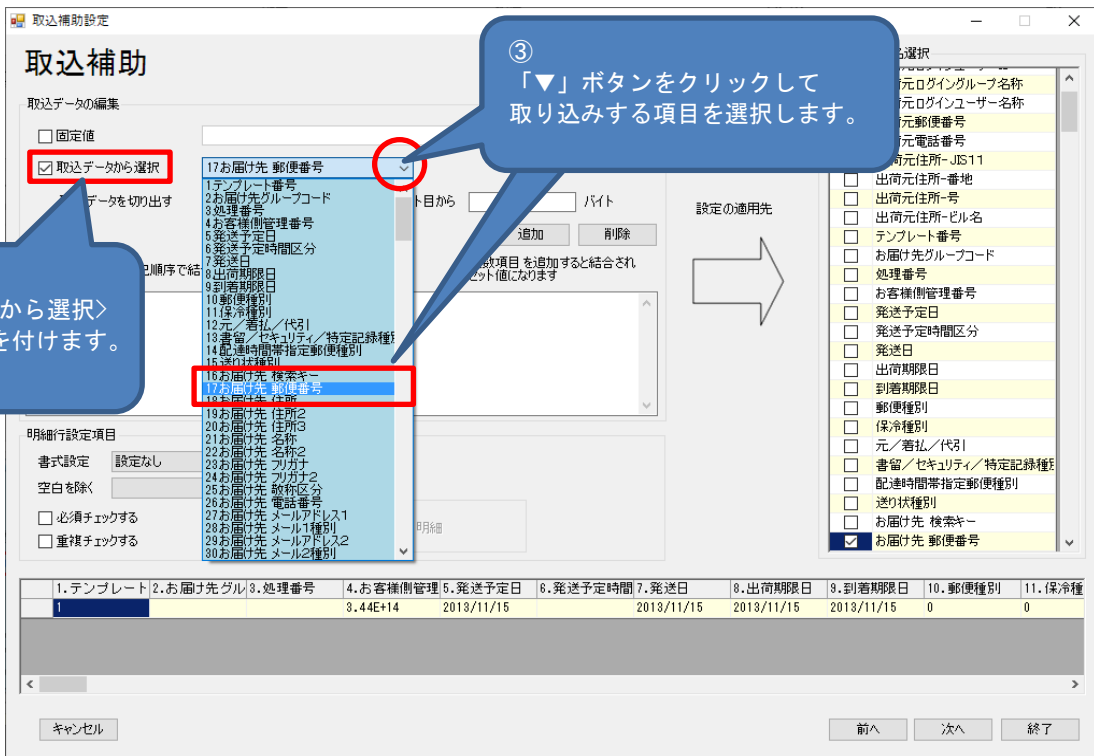
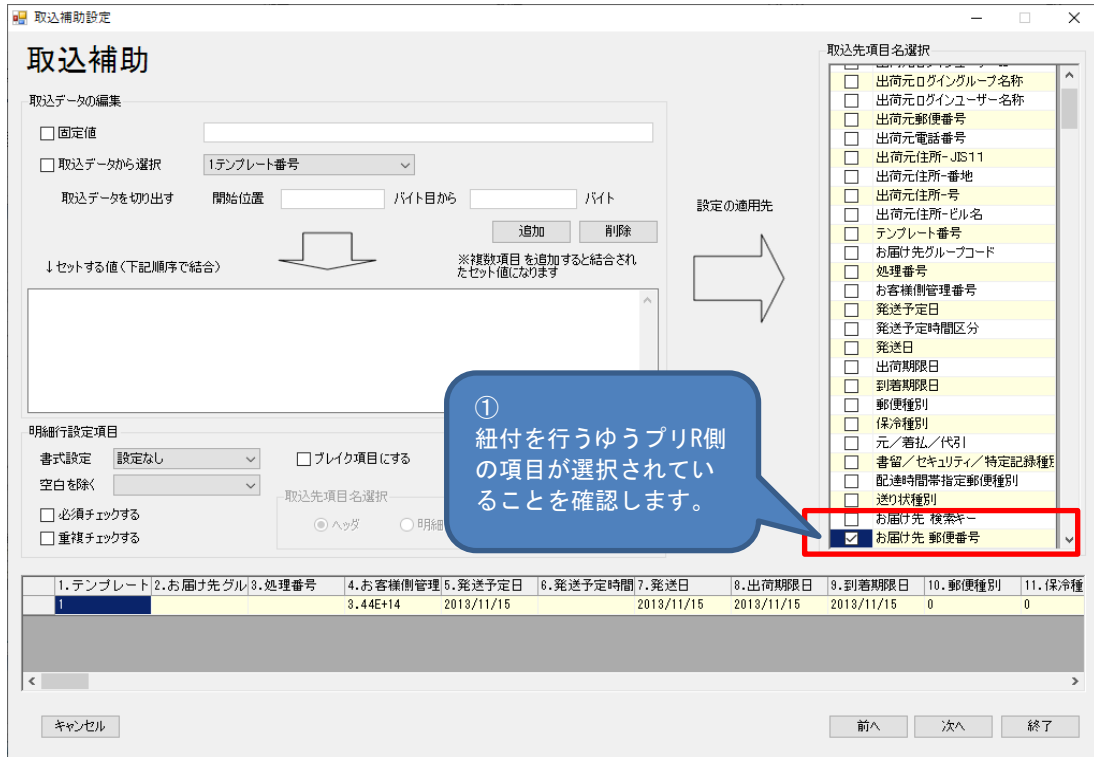
3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 画面項目説明

① 取込データを切り出す	<p>取り込み項目から切り出す文字列の開始位置と文字数を指定します。 入力形式 : 半角数字 例) 取込データ <東京都港区虎ノ門>のうち、<港区虎ノ門>の 全角5文字を切り出して取り込む。</p> <p>開始位置 <input type="text" value="7"/> バイト目から <input type="text" value="10"/> バイト ※ 全角1文字は2バイト換算、半角1文字は1バイト換算です。 なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>				
追加・削除ボタン	<p>「追加」ボタンで取り込み設定を<セットする値>欄に設定します。 「削除」ボタンでセットした設定を削除します。</p>				
② セットする値	<p>取り込み設定を表示します。</p>				
③ 明細行設定項目	<p>取り込みデータに関する書式や空白処理等を設定します。 ※ 設定の詳細は、本マニュアル [③3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法]を参照ください。</p>				
④ 取り込みファイルのデータ内容を表示します。					
⑤ 取込先項目名選択	<p>取り込みをするゆうプリR側の項目を選択します。 入力方法 : 「前へ」、「次へ」ボタンによる選択 チェックボックスによる選択</p> <table border="1" data-bbox="608 1128 1386 1196"> <tr> <td>チェックなし</td> <td>取込先の対象としない。</td> </tr> <tr> <td>チェックあり</td> <td>取込先の対象とする。</td> </tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(チェックなし)となります。</p>	チェックなし	取込先の対象としない。	チェックあり	取込先の対象とする。
チェックなし	取込先の対象としない。				
チェックあり	取込先の対象とする。				
⑥ 「前へ」ボタン 「次へ」ボタン	<p>現在の取り込み編集の設定内容が一時保存されて、⑤のゆうプリRの 項目のチェックを上へ移動します。 現在の取り込み編集の設定内容が一時保存されて、⑤のゆうプリRの 項目のチェックを下へ移動します。 ※ ⑤のゆうプリRの項目を選択する場合は、「前へ」ボタン、 「次へ」ボタンで移動してください。 マウスのチェックでは正常に設定が行えません。</p>				
「終了」ボタン	<p>設定を一時保存して『取込出力フィルタ詳細設定』画面へ戻ります。</p>				
「キャンセル」ボタン	<p>設定を一時保存しないで『取込出力フィルタ詳細設定』画面へ戻ります。 ※ 一度、終了ボタンで一時保存した設定はキャンセルされません。 『取込補助』画面で設定を削除してください。</p>				

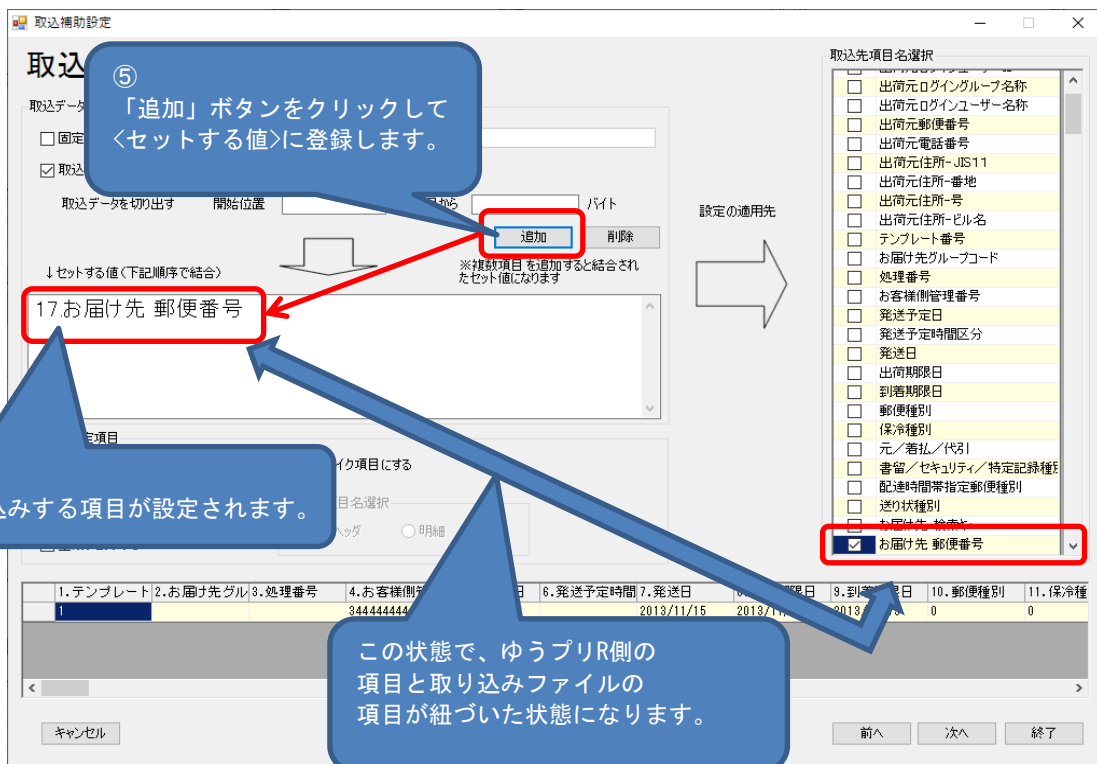
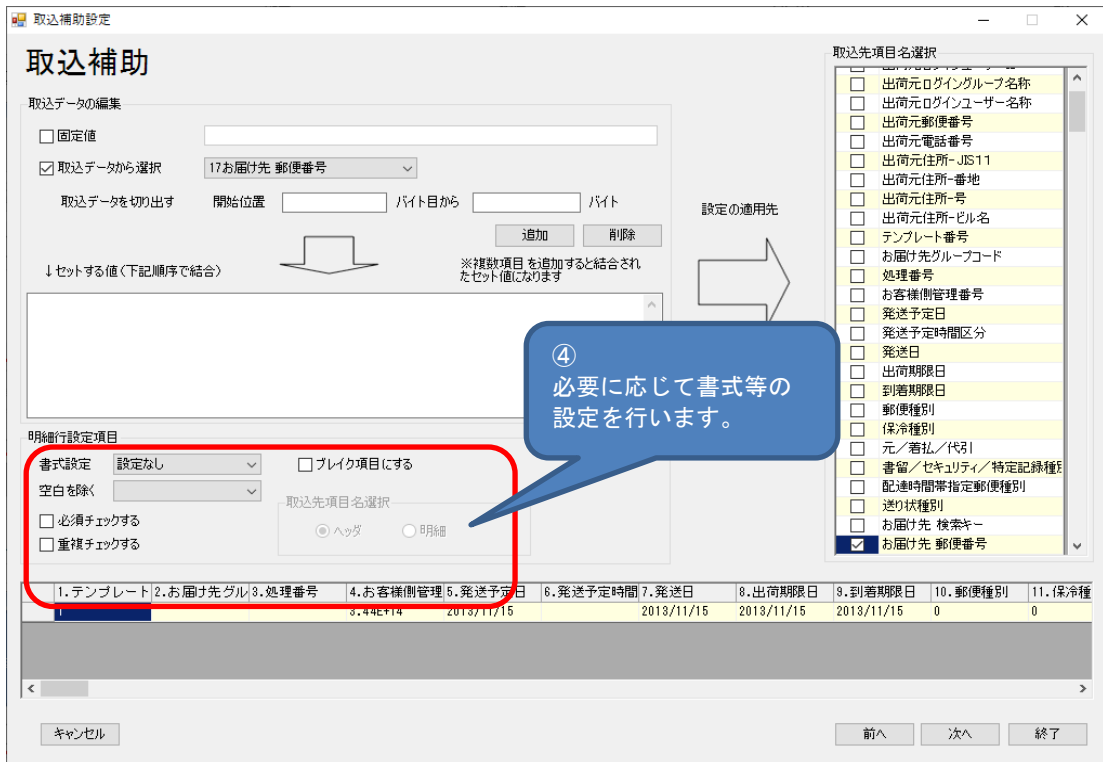
3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 取込補助画面での設定方法



3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

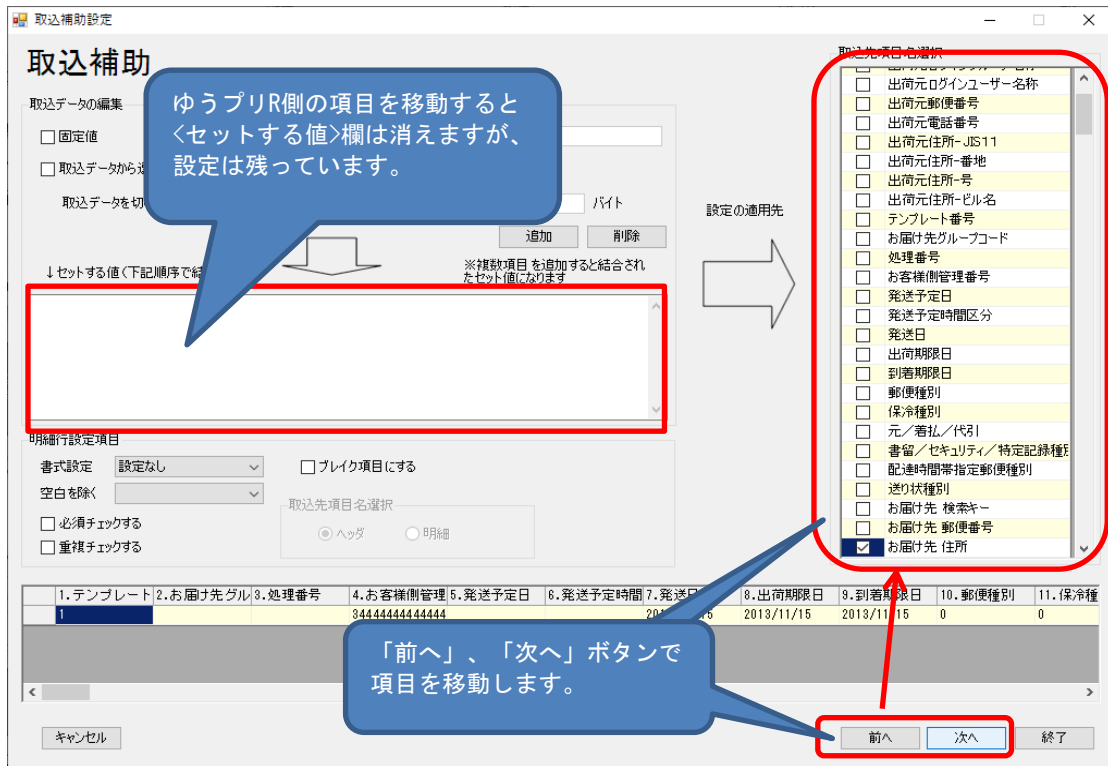
■ 取込補助画面での設定方法



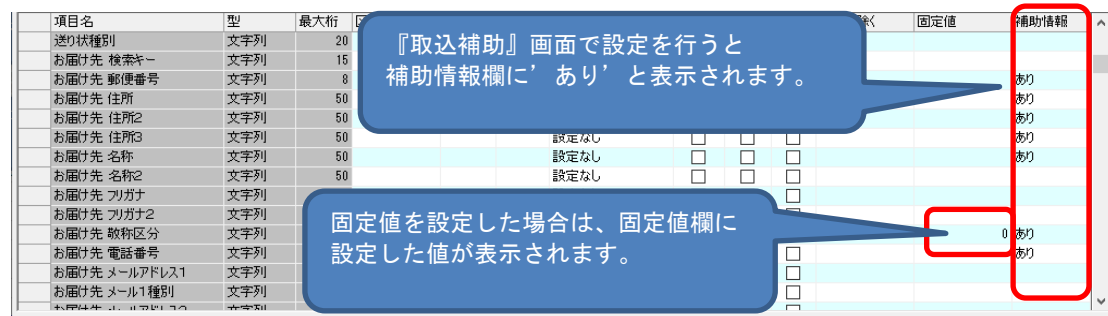
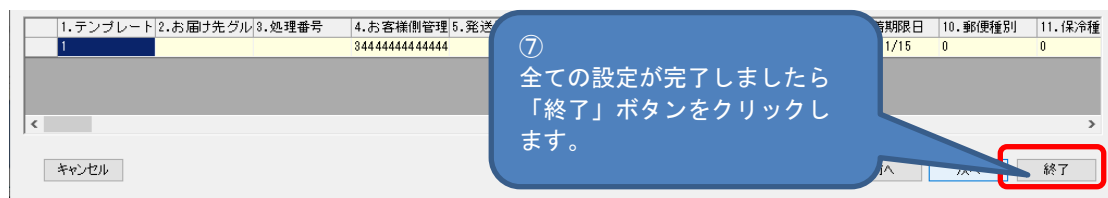
3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 取込補助画面での設定方法

続けて、他の項目について設定する場合は、「前へ」ボタン、「次へ」ボタンでゆうプリR側の項目を選択し、同様な操作方法で取り込みファイルの設定を行います。



※ ゆうプリR側の項目を選択する際、選択する項目が離れている場合、一旦、「終了」ボタンで『取込補助』画面を閉じ、『取込出力フィルタ詳細設定』画面で該当項目の補助情報から『取込補助』画面を開いたほうが手間がなく簡単です。



3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

紐付方法(b) 『取込出力フィルタ詳細設定』の位置に取込ファイルの場所を直接入力する。

■ 取り込みファイルサンプル

A	B	C	D	E
お届け先 郵便番号 1410031	お届け先 住所 東京都渋谷区渋谷1-1-1	お届け先 住所2 日本郵便株式会社 渋谷郵便局 1階	お届け先 住所3	お届け先 名称 送り状印字システムサポートセンター

取込出力フィルタ詳細設定

会員ID: R0092294
ユーザー: 動作確認用

データ編集
条件設定 プレビュー

フィルタ名: 出荷データ(詳細)

フィルタの種類: 発送データ

データ形式: カンマ、タブなどの区切り文字
列見出し: あり
1行 改行文字

区切り文字: カンマ
囲み文字: ""(ダブルクォー)

取込ファイルパス: 取込データサンプル出荷予定データ出力ファイル.csv 参照

文字コード: Shift-JIS

シート名: 重量

データ種別: 単純明細

項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ	書式	ブレイク	必須	重複	空白を除外	固定値	補助情報
お届け先 郵便番号	文字列	8		1		設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 住所	文字列	50		2		設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 住所2	文字列	50		3		設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 住所3	文字列	50		4		設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 名称	文字列	50		5		設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 名称2	文字列	50				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

取り込みする項目の位置を確認し
フィルタ設定画面の位置に直接入力
します。

この例では、取り込みファイルの
A列からE列までを左から順番に
1~5の位置としてフィルタ設定画面
の位置に入力しています。

<位置>をクリックすることで
直接入力が可能となります。

取込出力フィルタ詳細設定

会員ID: R0092294
ユーザー: 動作確認用

データ編集
条件設定 プレビュー

フィルタ名: 出荷データ(詳細)

フィルタの種類: 発送データ

データ形式: カンマ、タブなどの区切り文字
列見出し: あり
1行 改行文字

区切り文字: カンマ
囲み文字: ""(ダブルクォー)

取込ファイルパス: 取込データサンプル出荷予定データ出力ファイル.csv 参照

文字コード: Shift-JIS

シート名: 重量

データ種別: 単純明細

更新 閉じる

入力

直接入力した場合の書式設定等は、
こちらの項目で設定を行ってください。

項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ	書式	ブレイク	必須	重複	空白を除外	固定値	補助情報
お届け先 郵便番号	文字列	8		1		設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 住所	文字列	50		2		設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 住所2	文字列	50		3		設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 住所3	文字列	50		4		設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 名称	文字列	50		5		設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 名称2	文字列	50				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 フリガナ	文字列	60				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 フリガナ2	文字列	60				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 敬称区分	文字列	1				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 電話番号	文字列	20				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 メールアドレス1	文字列	100				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 メール1種別	文字列	1				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 メールアドレス2	文字列	100				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先 メール2種別	文字列	1				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

(4) 固定長テキストファイルの紐付設定

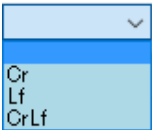
固定長テキストファイルを取り込みする場合、ExcelファイルやCSVファイルと設定方法が異なります。サンプルデータをもとに設定方法をご説明いたします。

① 取り込みするファイルに関する設定

取り込みファイルに関する設定は、単純明細の操作と同様に設定を行います。

データ種別は、取り込みするファイルの構成をご確認いただき、〈単純明細〉、〈固定明細〉、〈不定明細〉から選択してください。本手順では、単純明細を例に説明いたします。

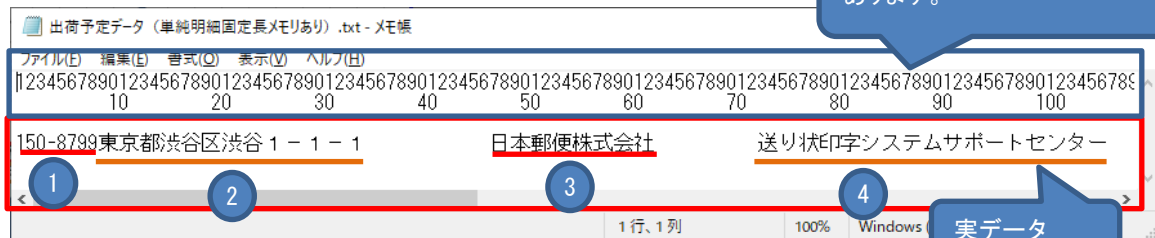
■ 設定項目説明

<p>改行文字 データ形式で'固定長テキスト'を選択の場合、必須選択項目</p> 	<p>取り込みするデータの改行文字を選択します。</p> <p>入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして改行文字を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="571 1294 1350 1391"> <tr> <td>Cr</td> <td>Crでの改行の場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>Lf</td> <td>Lfでの改行の場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>CrLf</td> <td>CrLfでの改行の場合に選択します。</td> </tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	Cr	Crでの改行の場合に選択します。	Lf	Lfでの改行の場合に選択します。	CrLf	CrLfでの改行の場合に選択します。
Cr	Crでの改行の場合に選択します。						
Lf	Lfでの改行の場合に選択します。						
CrLf	CrLfでの改行の場合に選択します。						
<p>レコード長 データ形式で'固定長テキスト'を選択の場合、必須入力項目</p>	<p>取り込みするデータのレコード長を入力します。</p> <p>入力形式 : 半角数字 最大 4桁</p> <p>入力方法 : 直接入力</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p> <p>※ レコード長について、レコードサイズ以上の値を設定しても各項目で「位置とサイズ」を設定しますので問題ありません。実際のレコードサイズよりも少ない値を指定した場合は、取り込み項目が判定できずエラーとなる場合があります。</p>						

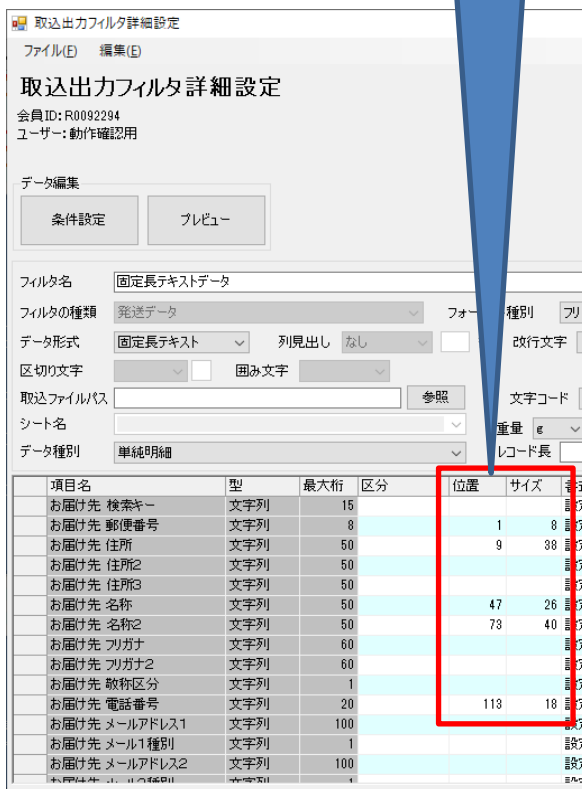
3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

■ 固定長テキストデータのサンプル

下記の設定例を参考に取り込みする項目について位置とサイズを入力します。



項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ
お届け先 検索キー	文字列	15			
お届け先 郵便番号	文字列	8		1	8
お届け先 住所	文字列	50		9	38
お届け先 住所2	文字列	50			
お届け先 住所3	文字列	50			
お届け先 名称	文字列	50		47	26
お届け先 名称2	文字列	50		73	40
お届け先 フリガナ	文字列	60			
お届け先 フリガナ2	文字列	60			
お届け先 敬称区分	文字列	1			
お届け先 電話番号	文字列	20			18
お届け先 メールアドレス1	文字列	100			
お届け先 メールアドレス2	文字列	100			



データのサンプルより

- ①
1バイト目から8バイトを<お届け先郵便番号>へ取り込みます。
⇒位置に' 1'、サイズに' 8' と入力します。
- ②
9バイト目から38バイトを<お届け先住所>へ取り込みます。
⇒位置に' 9'、サイズに' 38' と入力します。
- ③
47バイト目から26バイトを<お届け先名称>へ取り込みます。
⇒位置に' 47'、サイズに' 26' と入力します。
- ④
73バイト目から40バイトを<お届け先名称2>へ取り込みます。
⇒位置に' 73'、サイズに' 40' と入力します。

※全角1文字は2バイト換算、半角1文字は1バイト換算です。
なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。

<位置>: 項目の開始位置を入力します。
例 9⇒項目が9バイト目から開始の意味

<サイズ>: 項目の長さ(バイト数)を入力します。
例 38⇒項目の長さが38バイトの意味

※全角1文字は2バイト換算、半角1文字は1バイト換算です。
なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

(5) 顧客コード、商品コードの設定について

顧客データや商品データを取り込みする場合、予めデータに顧客コード、商品コードを設定いただき、そのコードをゆうプリR側へ取り込みすることで、ゆうパック等のデータ入力時に顧客コード、商品コードで登録した情報を画面に呼び出すことができます。
 発送情報入力画面から入力する場合、お届け先や商品の入力が便利になります。

■ 顧客コードを取り込みする場合

取込出力フィルタ詳細設定

会員ID: R0092294
ユーザー: 動作確認用

フィルタ名: 顧客データ(詳細)

フィルタの種類: 顧客データ

データ形式: カンマ、タブなどの区切り文字
区切り文字: カンマ
列見出し: あり
取込ファイルパス: 込みデータ整理\取込データサンプル\顧客データ.csv
シート名:
データ種別: 単独明細

項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ	書式	プレイク	必須	重複	空白を除く	固定値	補助情報
顧客コード	文字列	15				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		あり
お届け先住所利用区分	文字列	1				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け予定メール利用区分	文字列	1				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
ご不在連絡メール利用区分	文字列	1				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
荷送人指図区分	文字列	1				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
配達時間帯区分	文字列	2				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
集荷時間帯区分	文字列	2				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
配達店止め区分	文字列	1				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

■ 商品コードを取り込みする場合

取込出力フィルタ詳細設定

会員ID: R0092294
ユーザー: 動作確認用

フィルタ名: 商品データ(詳細)

フィルタの種類: 顧客商品データ

データ形式: Excel
区切り文字: 囲み文字
取込ファイルパス: 込みデータ整理\取込データサンプル\商品データ.xlsx
シート名: 顧客データ
データ種別: 単独明細

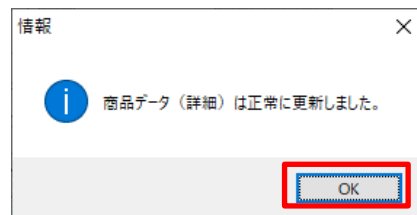
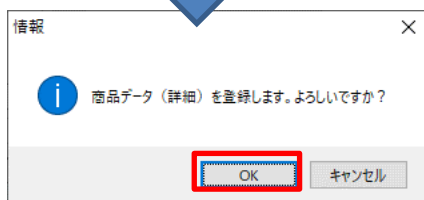
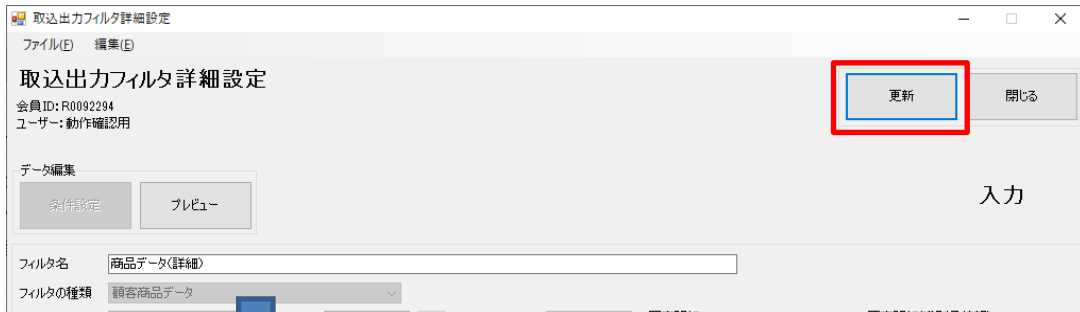
項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ	書式	プレイク	必須	重複	空白を除く	固定値	補助情報
商品番号	文字列	20				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		あり
商品名称	文字列	30				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		あり
商品カナ名称	文字列	50				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
商品サイズ/厚さ区分	文字列	4				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
個数	数値型	5				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
重量(g)	数値型	5				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
単位	数値型	7				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

※ 発送予定データ編集画面で、顧客データ、商品データを参照する方法については、別紙〔5. 操作説明書 ①送り状データを登録する〕を参照ください。

3-1 取り込み用のフィルタを登録する方法

(6) 作成したフィルタ設定の登録

取り込みする項目の紐付が完了しましたら、「更新」ボタンをクリックして保存します。



「プレビュー」ボタンをクリックすると、設定した情報を確認出来ます。

項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ	書式	設定
出荷元会員番号	文字列	8					設定
出荷元パソコンID	文字列	4					設定
出荷元ログイングループID	文字列	30					設定
出荷元ログインユーザーID	文字列	30					設定
出荷元ログイングループ名称	文字列	70					設定
出荷元ログインユーザー名称	文字列	70					設定
出荷元郵便番号	文字列	8					設定
出荷元電話番号	文字列	20					設定
出荷元住所-JIS11	文字列	11					設定

※マッピング項目がコード値の場合、プレビューではコードの変換はせずに表示しています。

項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ	書式	設定
元/着払/代引							設定
書留/セキュリティ/特定記録							設定
配達時間帯指定郵便種別							設定
送り状種別							設定
お届け先 検索キー							設定
お届け先 郵便番号	17	お届け先 郵便番号					設定
お届け先 住所	18	お届け先 住所					設定
お届け先 住所2	19	お届け先 住所2					設定
お届け先 住所3	20	お届け先 住所3					設定
お届け先 名称	21	お届け先 名称					設定
お届け先 名称2							設定
お届け先 フリガナ							設定
お届け先 フリガナ2							設定
お届け先 敬称区分	0						設定
お届け先 電話番号	26	お届け先 電話番号					設定
お届け先 メールアドレス1							設定
お届け先 メール1種別							設定
お届け先 メールアドレス2							設定

Note

- フィルタ詳細設定画面の<位置>項目に設定してもプレビューには表示されません。
プレビュー画面に表示される内容は以下の場合はです。
- ・フィルタ詳細設定画面で固定値を入力
 - ・補助画面で設定（固定値や取り込みデータから選択）

3-2 固定明細データのフィルタ設定

取り込みするデータの1レコードに複数の明細情報(品名等)がある場合、固定明細データとしてフィルタを作成します。明細情報とは、ゆうプリR側の<商品番号>、<品名>、<個数>、<重量(g)>、<単価>、<消費税率区分>、<金額>の項目をいいます。

1. 取り込みするファイルに関する設定

取り込みファイルに関する設定は、単純明細の操作と同様に設定を行います。ただし、<データ種別>のみ'固定明細'を選択します。

■ 設定項目説明 (固定明細)

設定項目	説明
固定明細 <データ種別>で'固定明細'を選択の場合、必須入力項目 開始位置 サイズ 明細数 一明細項目数	固定明細データの明細部の開始位置を指定します。 入力形式 : 半角数字 最大 6桁 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録内容を表示します。
サイズ	固定明細データの明細部のデータサイズを指定します。 ※ 固定長データを選択した場合に入力を行います。 入力形式 : 半角数字 最大 6桁 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録内容を表示します。
明細数	固定明細データの明細部の明細数を指定します。 ※ 例えば1レコードに品名が3項目ある場合は、明細数は'3'となります。 入力形式 : 半角数字 最大 6桁 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録内容を表示します。
一明細項目数	固定明細データの1明細あたりの項目数を指定します。 ※ 例えば、1明細に品名と個数の項目がある場合は、項目数は'2'となります。 入力形式 : 半角数字 最大 6桁 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録内容を表示します。

3-2 固定明細データのフィルタ設定

2. 明細情報に関する設定

1レコードに複数の明細情報がある場合、ゆうプリRの項目との紐付は最初の明細部分のみ紐付の設定を行います。2明細以降は、固定明細で設定した明細数、明細項目数の情報にて繰り返し取り込みを行います。

(1) 固定明細の設定

■ 固定明細データのサンプル

Q	R	S	T	U	V	W	X
17	18	19	20	21	22	23	24
商品サイズ区分	品名1	個数	品名2	個数	品名3	個数	フリー項目01
	CD	10	DVD	15	HDD	2	

明細情報の開始位置 (18) → 明細情報 (R, S, T, U, V, W) → 一明細項目数(2) (W, X)

固定明細

開始位置

サイズ

明細数

一明細項目数

18カラム目から明細(品名・個数)を3回続けて取り込みする設定になります。

上記のサンプルデータの場合、固定明細の設定になります。

実際に設定を行われる場合は、取り込みするデータの構成を確認いただき、開始位置、明細数、一明細項目の設定を行ってください。

Point

固定明細データを取り込みする場合、明細情報は連続していて、かつ、各明細情報の項目数は同一である必要があります。

【取込出来る例】

R	S	T	U	V	W
品名1	個数	品名2	個数	品名3	個数
CD	10	DVD	15	HDD	2

明細が連続していて項目数も同一となっている。

【取込不可な例】

R	S	T	U	V	W	X	Y
品名1	個数	色	品名2	個数	予備	品名3	個数
CD	10	赤	DVD	15		HDD	2

一つ目の明細のみ3項目ある。

品名2の明細と品名3の明細が連続していない。

3-2 固定明細データのフィルタ設定

(2) 明細情報の紐付け例

■ 固定明細データのサンプル

Q	R	S	T	U	V	W	X
17	18	19	20	21	22	23	24
商品サイズ区分	品名1	個数	品名2	個数	品名3	個数	フリー項目01
	CD	10	DVD	15	HDD	2	

3. 明細情報以外の項目に関する設定

明細情報以外の項目に関しては、単純明細のデータと同様な方法で各項目の設定を行ってください。

3-3 不定明細データのフィルタ設定

取り込みするデータの1レコードに対して複数レコードの明細情報(品名等)がある場合、不定明細データとしてフィルタを作成します。
明細情報とは、ゆうブリR側の<商品番号>、<品名>、<個数>、<重量(g)>、<単価>、<金額>の項目をいいます。

1. 取り込みするファイルに関する設定

取り込みファイルに関する設定は、単純明細の操作と同様に設定を行います。
ただし、<データ種別>のみ'不定明細'を選択します。

■ 設定項目説明 (不定明細)

不定明細 <データ種別>で'不定明細'を選択の場合、必須入力項目 不定明細(識別子情報) 開始位置 サイズ ヘッダ文字 明細文字	開始位置	不定明細データの識別子の開始位置を指定します。 入力形式 : 半角数字 最大 6桁 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録内容を表示します。
	サイズ	不定明細データの明細部のデータサイズを指定します。 ※ 固定長データを選択した場合に入力を行います。 入力形式 : 半角数字 最大 6桁 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録内容を表示します。
	ヘッダ文字	不定明細データのヘッダ文字を指定します。 入力形式 : 半角英数字 最大 10桁 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録内容を表示します。
	明細文字	不定明細データの明細文字を指定します。 入力形式 : 半角英数字 最大 10桁 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録内容を表示します。

3-3 不定明細データのフィルタ設定

2. 明細情報に関する設定

1レコードに対して複数レコードの明細情報がある場合、ゆうプリRの項目との紐付は、明細情報を識別する文字をもとに最初のレコードの明細情報のみ設定を行います。2明細以降は、不定明細で設定した識別文字をもとに取り込みを行います。

(1) 不定明細の設定

■ 不定明細データのサンプル

A	B	C	D
H	送り状印字システムサポートセン	東京都渋谷区渋谷1-1-1	0
B	HDD	2	
B	マウス	1	
B	ディスプレイ	1	

ヘッダ文字
(H)
明細文字
(B)

識別子の位置
(1)

不定明細(識別子情報)

開始位置

サイズ

ヘッダ文字

明細文字

明細文字 (B) が続く限り明細データを繰り返し取り込みする設定になります。次のデータのヘッダ文字 (H) を読み込むと、次のデータとして認識します。

上記のサンプルデータの場合、不定明細の設定になります。

実際に設定を行われる場合は、取り込みするデータの構成を確認いただき、識別文字のヘッダ文字、明細文字の設定を行ってください。

Point

不定明細データを取り込みする場合、明細情報は各データで同一である必要はありません。
明細数が2レコードや3レコードのデータが混在していても取り込み可能です。

A	B	C	D
H	送り状印字システムサポートセン	東京都渋谷区渋谷1-1-1	0
B	HDD	2	
B	マウス	1	
B	ディスプレイ	1	
H	送り状印字システムサポートセン	東京都渋谷区渋谷1-1-1	0
B	カメラ	2	
B	フィルム	1	

明細数が異なっていても取り込み出来ます。

3-3 不定明細データのフィルタ設定

(2) 明細情報の紐付け例

■ 不定明細データのサンプル

A	B	C	D
H	送り状印字システムサポートセン	東京都渋谷区渋谷1-1-1	0
B	HDD	2	
B	マウス		
B	ディスプレイ		

取込補助

取込データの編集

固定値

取込データから選択

取込データを切り出す 開始位置 バイト目から バイト

設定の適用先 品名

↓セットする(下記順序で結合)

2項目目

取込先項目名選択

代引金額(集約前)

代引消費税金額(集約前)

貨物価格(集約前)

重量(g)(集約前)

関連重量(g)(集約前)

書留 損害要償額(集約前)

商品番号

品名

個数

単価

消費税率区分

取込補助

取込データの編集

固定値

取込データから選択

取込データを切り出す 開始位置 バイト目から バイト

設定の適用先

↓セットする(下記順序で結合)

3項目目

取込先項目名選択

貨物価格(集約前)

重量(g)(集約前)

関連重量(g)(集約前)

書留 損害要償額(集約前)

商品番号

個数

単価

消費税率区分

金額

商品備考 01

商品備考 02

商品備考 03

商品備考 04

商品備考 05

商品備考 06

商品備考 07

商品備考 08

商品備考 09

商品備考 10

お客様指定配送種類

明細行設定項目

書式設定 設定なし

空白を除く

必須チェックする

重複チェックする

1項目目 2項目目 3項目目

1項目目 2項目目 3項目目 4項目目 5項目目 6項目目 7項目目 8項目目 9項目目 10項目目 11項目目

1項目目 2項目目 3項目目 4項目目 5項目目 6項目目 7項目目 8項目目 9項目目 10項目目 11項目目

列見出し'あり'の場合でも見出し行は表示されません。

B列の<品名>をゆうプリRの<品名>に紐づけます。

C列の<個数>をゆうプリRの<個数>に紐づけます。

<ヘッダ>か<明細>を選択すると取り込みデータの表示が変わります。

発送予定データ編集 (ゆうパック)

発送予定データ編集 (ゆうパック)

ユーザー: 動作確認用

郵便局留めメール 不要 必要

お届け予定メール 不要 必要

ご不在連絡メール 不要 必要

記事

記事名1

セット商品情報

セット商品コード

商品情報

お取扱いの注意 こわれもの なまもの

ピン類 逆さま厳禁

下積み厳禁

サイズ 注文日

保冷 なし チルド 冷凍

商品明細

すべて選択する(×)

商品番号	品名	個数	重量(g)	単価	消費税率	金額
<input type="checkbox"/>	CD	10			10%	0
<input type="checkbox"/>	DVD	15			10%	0
<input type="checkbox"/>	HDD	2			10%	0

取り込みを行うと、サンプルデータの明細は、このように取り込まれます。

3. 明細情報以外の項目に関する設定

明細情報以外の項目に関しては、単純明細のデータと同様な方法で各項目の設定を行ってください。ヘッダ情報の紐付けは、<取込先項目名選択>で'ヘッダ'を選択して紐付けを行ってください。

3-4 住所情報の取り込みに関する設定方法

出荷データや顧客データをファイルから取り込みする際、取り込みデータには顧客の住所情報がありますが、ファイル内にどのように定義されているかは、ファイルを作成するシステム等により様々なケースがあります。ゆうプリRの住所情報は、〈住所1〉、〈住所2〉、〈住所3〉の3項目に分かれており、それぞれ全角25文字もしくは半角50文字(全半角混在可)まで取り込みすることが出来ます(文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合)。取り込みするファイルの住所情報がゆうプリRと同様に3項目でしたら紐付も簡単ですが、項目数が異なる場合、どのように設定を行えばよいか、設定例をもとに説明をいたします。

1. 取り込みファイルの1カラムのみに住所情報がある場合(自動分割)

取り込みファイルの1カラムのみに住所情報がある場合、〈住所1〉のみに紐付しますと桁数超過により正常に取り込みが出来ない場合があります。この場合、フィルタで以下のように設定します。

■ ファイルの定義例

Q	R
お届け先 郵便番号 1410031	お届け先 住所 東京都渋谷区渋谷10-10-10 日本郵便株式会社 ○○郵便局 送り状印字システムサポートセンター

ひとつのセル内に住所情報が全て設定されている。

■ フィルタの設定例

取り込みファイルの〈お届け先住所〉をゆうプリR側の〈お届け先住所〉に紐付します。

18 お届け先 住所

お届け先住所

お届け先住所2

お届け先住所3

ゆうプリR側の項目〈お届け先住所2〉、〈お届け先住所3〉のチェックボックスにマウスでチェックを付けます。

■ 取込結果例

お届け先

お届け先コード

電話番号 03-1111-2222

郵便番号 141-0031

住所 東京都渋谷区渋谷10-10-10
日本郵便株式会社 ○○郵便局 送り状印字システムサポートセンター

取り込み時に自動的に〈住所1〉～〈住所3〉に分割して取り込みます。

Point

システムで自動的に分割位置を決定しておりますため、必ずしも見た目の良い場所で分割されるわけではありません。必要に応じて取り込み後に修正してください。ご依頼主の住所やお届け先名称、ご依頼主名称についても同様な設定方法で自動分割した取り込みが可能です。顧客データに取り込みする場合も同様に設定できます。

3-4 住所情報の取り込みに関する設定方法

2. 取り込みファイルの2カラムに住所情報がある場合 (自動分割)

取り込みファイルの2カラムに住所情報がある場合、前頁1の方法と併せて〈住所1〉～〈住所3〉に紐付することで自動的に分割して取り込みすることが出来ます。なお、取り込みファイルの住所情報が2カラムとも全角25文字もしくは半角50文字(全半角混在可)以内のデータでしたら、取り込みファイルの住所をゆうプリRの〈住所1〉、〈住所2〉にそれぞれ紐付することも取り込み可能です。なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。

■ ファイルの定義例

Q	R	S
お届け先 郵便番号 1410031	お届け先 住所 東京都渋谷区 渋谷10-10-10 日本郵便株式会社	お届け先 住所2 〇〇郵便局 送り状印字システムサポートセンター

2つのセルに住所情報が全て設定されている。

■ フィルタの設定例

取り込みファイルの〈お届け先住所〉をゆうプリR側の〈お届け先住所〉に紐付します。

18 お届け先 住所

19 お届け先 住所2

続いて、取り込みファイルの〈お届け先住所2〉をゆうプリR側の〈お届け先住所2〉に紐付します。

20 お届け先 住所2

21 お届け先 住所3

ゆうプリR側の項目〈お届け先住所3〉のチェックボックスにマウスでチェックを付けます。

■ 取込結果例

□ お届け先

お届け先コード 顧客データ参照

電話番号 03-1111-2222

郵便番号 141-0031 〒→住所 住所→〒 住所選択 履歴検索

住所 東京都渋谷区
渋谷10-10-10日本郵便株式会社 〇〇
郵便局 送り状印字システムサポートセンター

仕分番号
配達店名

〈住所1〉には、取り込みファイルの〈お届け先住所〉が取り込まれ、〈住所2〉、〈住所3〉には、取り込みファイルの〈お届け先住所2〉の情報が自動分割されて取り込まれます。

Point

ゆうプリR側の〈住所1〉、〈住所2〉に自動分割で取り込みし、〈住所3〉のみ単独での紐付をすることも可能です。システムで自動的に分割位置を決定しておりますため、必ずしも見た目の良い場所で分割されるわけではありません。必要に応じて取り込み後に修正してください。

ご依頼主の住所やお届け先名称、ご依頼主名称についても同様な設定方法で自動分割した取り込みが可能です。顧客データに取り込みする場合も同様に設定できます。

3-4 住所情報の取り込みに関する設定方法

3. 取り込みファイルの住所情報が4カラム以上に分かれている場合(自動分割)

取り込みファイルの住所情報が4カラム以上の項目で分かれている場合、取り込みファイルの住所項目を全て自動分割設定して取り込みします。

■ ファイルの定義例

Q	R	S	T	U
お届け先 郵便番号 1508799	お届け先 住所 東京都	お届け先 住所2 渋谷区	お届け先 住所3 渋谷10-10-10	お届け先 住所4 日本郵便株式会社 ○○郵便局

4つのセルに住所情報が全て設定されている。

■ フィルタの設定例

取り込みファイルの「お届け先住所」を
ゆうプリR側の「お届け先住所」に
紐付します。

続けて、取り込みファイルの「お届け先住所2」を
選択して「追加」ボタンをクリックして追加します。

続けて、取り込みファイルの「お届け先住所3」を
選択して「追加」ボタンをクリックして追加します。

続けて、取り込みファイルの
「お届け先住所4」を選択して
「追加」ボタンをクリックします。

ゆうプリR側の項目「お届け先住所2」、
「お届け先住所3」のチェックボックスに
マウスでチェックを付けます。

3-4 住所情報の取り込みに関する設定方法

■ 取り込み結果例

☐お届け先

お届け先コード 顧客データ参照

電話番号

郵便番号 〒→住所 住所→〒 住所選択 履歴検索

住所 仕分番号

配達店名

取り込みファイルの<住所1>~<住所4>の値を全て結合して、
ゆうプリR側の<住所1>~<住所3>へ自動分割されて取り込まれます。

Point

取り込みファイルの住所情報が5カラム以上に分かれている場合も同様な操作で取込みできます。
システムで自動的に分割位置を決定しておりますため、必ずしも見た目の良い場所で分割される
わけではありません。必要に応じて取り込み後に修正してください。

ご依頼主の住所やお届け先名称、ご依頼主名称についても同様な設定方法で
自動分割した取り込みが可能です。顧客データに取り込みする場合も同様に設定できます。

■ 自動分割機能を設定した場合のデータの分割方法

※ 全角1文字は2バイト換算、半角1文字は1バイト換算です。
なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。

1. 住所の自動分割（お届け先・ご依頼主）
※各フォーマット共通の仕様

住所の全文字数により以下のように自動分割します。

24バイト以下	⇒分割なし
25バイト~72バイト	⇒25バイト目以降を住所2へ分割、 49バイト目以降を住所3へ分割
73バイト以上	⇒住所1と住所2と住所3が同じ文字数になるよう分割

例：73バイトの場合、住所1と住所2が25~26バイトとなるよう調整。

すべて半角の場合

⇒ 住所1に26バイト、住所2に26バイト、住所3に21バイトで分割

先頭1文字のみ半角、残りすべて全角の場合

⇒ 住所1に25バイト、住所2に26バイト、住所3に22バイトで分割

2. 名称の自動分割（お届け先・ご依頼主）
※各フォーマット共通の仕様

名称の全文字数により以下のように自動分割します。

24バイト以下	⇒分割なし
25バイト~48バイト	⇒25バイト目以降を名称2へ分割
49バイト以上	⇒名称1と名称2が同じ文字数になるよう分割

例：49バイトの場合、名称1と名称2が同じ文字数になるよう分割

先頭1文字のみ半角、残りすべて全角の場合

⇒ 名称1に25バイト、名称2に24バイトで分割

末尾1文字のみ半角、残りすべて全角の場合

⇒ 名称1に26バイト、名称2に23バイトで分割

3-5 取り込みファイルの特定項目をキーにまとめる方法(ブレイク設定)

<ブレイク>とは、取り込みデータ内で、ある項目が連続しているデータを集約して取り込ませたい場合に利用する設定です。集約して取り込んだ結果、データは1件分にまとまります。

指定した項目をキーに連続したデータを集約しますので、データにより集約要否は設定出来ません。なお、固定明細データおよび不定明細データのフィルタ設定ではブレイク機能は使用出来ません。

1. ブレイク機能の動作

ブレイク機能を利用する場合は、予め取り込みするデータの中のどの項目をキーにしてデータの集約を行うかを決める必要があります。

例えば、以下のようなデータで<届け先名称>にブレイク設定した場合、取り込みされるデータは1件になります。

■ 取り込みデータイメージ

届け先名称	届け先住所	品名
東京太郎	東京都港区東新橋1-1-1	品名1
東京太郎	東京都港区虎ノ門1-1-1	品名2
東京太郎	東京都港区虎ノ門1-1-1	品名3

この3件が集約されて1件分のデータとして取り込まれます。品名については、全て取り込まれますが、住所が異なっていた場合、1件目のデータの住所が設定されます。

■ 取り込み結果イメージ

届け先名称	届け先住所	品名
東京太郎	東京都港区東新橋1-1-1	品名1
		品名2
		品名3

また、ブレイク項目は複数の項目に設定することが出来ます。設定した項目で同じ値が連続している範囲で集約して取込を行います。

例として下記のようなデータで、<届け先名称>と<届け先住所>にブレイク設定した場合、取り込みされるデータは2件になります。

■ 取り込みデータイメージ

届け先名称	届け先住所	品名
東京太郎	東京都港区東新橋1-1-1	品名1
東京太郎	東京都港区東新橋1-1-1	品名2
東京太郎	東京都渋谷区渋谷1-1-1	品名3

この2件のみ集約されて1件分のデータとして取り込まれます。

■ 取り込み結果イメージ

届け先名称	届け先住所	品名
東京太郎	東京都港区東新橋1-1-1	品名1
		品名2
東京太郎	東京都渋谷区渋谷1-1-1	品名3

2. フィルタ設定箇所

項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ	書式	ブレイク
処理番号	数値型	9				設定なし	<input type="checkbox"/>
お客様管理番号	文字列	15				設定なし	<input checked="" type="checkbox"/>
発送予定日	文字列	8				設定なし	<input type="checkbox"/>

『取込出力フィルタ詳細設定』画面のブレイク欄にチェックを付けるか、
『取込補助』画面の<ブレイク項目にする>にチェックを付けます。

取込補助設定

取込補助

取込データからの編集

固定値

取込データから選択

取込データを切り出す 開始位置 バイト目から バイト

↓ かつする欄(下記順序で結合)

※複数項目を追加すると結合された枠が広がります

明細項目設定項目

書式設定 設定なし

空白を除く

ブレイク項目にする

取込先項目名選択

3-6 取り込みファイルの項目を結合して取り込む方法(結合設定)

結合設定とは、届け先名称など取り込みデータ内で複数に分かれている項目を1つの項目として取り込みたい場合に使用します。また、固定値と合わせた結合も行うことができます。

1. 結合設定の動作

結合設定部分のみについて説明しています。他の項目についても設定は行ってください。

(1) 取り込みデータ内の項目を結合して取り込む場合

例) 2つの項目を結合して〈お届け先名称1〉へ取り込みする

■ 取り込みデータサンプル

U	V	W
先 にお届け先 名称	お届け先 名称2	
郵便	太郎	

〈お届け先名称〉、〈お届け先名称2〉を結合して、ゆうプリRの〈お届け先名称1〉へ取り込みます。

■ フィルタ設定方法

② <取込データから選択>にチェックを付け、<お届け先名称>を選択して「追加」ボタンをクリックします。

① <お届け先名称>に「前へ」、「次へ」ボタンでチェックを付けます。

③ 続けて、<お届け先名称2>を選択して「追加」ボタンをクリックします。

④ 「終了」ボタンをクリックします。

3-6 取り込みファイルの項目を結合して取り込む方法(結合設定)

■ 取り込み結果

取り込みファイルの<郵便>と<太郎>が結合されて取り込まれます。

(2) 取り込みデータ内の項目と固定値を合わせて結合して取り込む場合

例) 2つの項目を結合し、さらに項目間に固定値で'-'を入れて<お届け先名称1>へ取り込みする。

■ 取り込みデータサンプル

U	V	
先にお届け先名称	お届け先名称2	お届け先名称1
郵便	太郎	ゆうプリR

<お届け先名称>、<お届け先名称2>を結合して、さらに項目間に'-'を入れてゆうプリRの<お届け先名称1>へ取り込みます。

■ フィルタ設定方法

① <お届け先名称>に「前へ」、「次へ」ボタンでチェックを付けます。

② <取込データから選択>にチェックを付け、<お届け先名称>を選択して「追加」ボタンをクリックします。

3-6 取り込みファイルの項目を結合して取り込む方法(結合設定)

■ フィルタ設定方法

③ <固定値>にチェックを付け、右側の入力欄に'-'を入力して「追加」ボタンをクリックします。
※空白は設定出来ません。

④ 再度、<取得データから選択>にチェックを付け、<お届け先名称2>を選択して「追加」ボタンをクリックします。

⑤ 「終了」ボタンをクリックします。

■ 取込結果

取り込みファイルの<郵便>と<太郎>の間に'-'が入り、結合されて取り込まれます。

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

詳細編集のフィルタ設定では、取り込みデータの値からゆうプリRの値へ変換（条件設定）して取り込みすることが出来ます。この機能を利用することで、取り込みデータにゆうプリRのコード値を設定することなく取り込みが可能です。

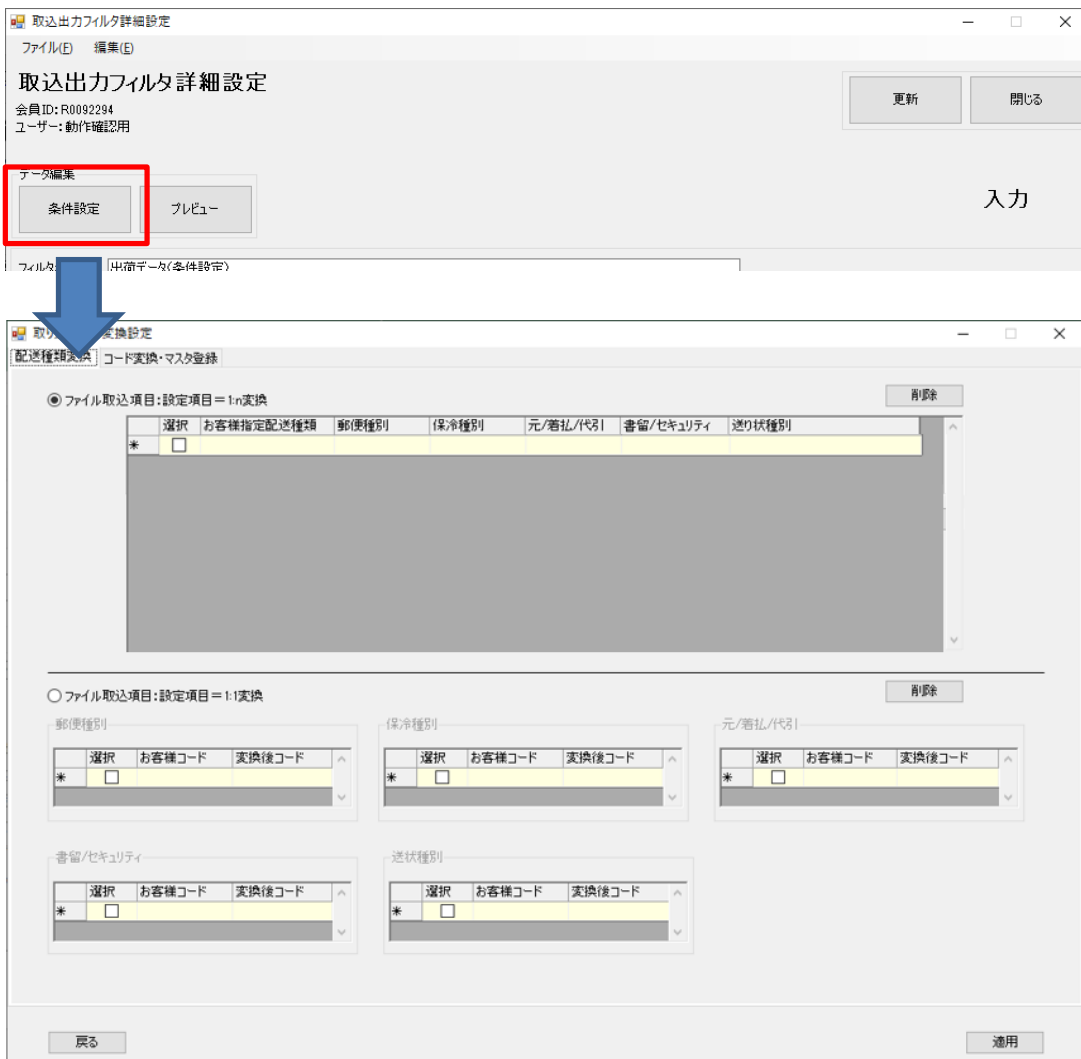
1. 変換取り込みが出来るゆうプリR側の項目

変換取り込みが行える項目は以下になります。

〈郵便種別〉、〈保冷種別〉、〈元／着払／代引〉、〈書留／セキュリティ〉、〈送り状種別〉
 〈配達時間帯〉、〈サイズ／厚さ区分〉、〈敬称区分〉

2. 条件設定の画面

条件設定は、『取込出力フィルタ詳細設定』画面より画面を起動します。



3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

3. 配送種類でのコード変換設定

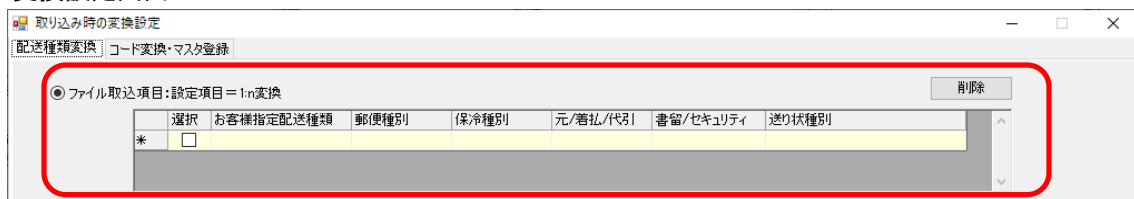
取り込みデータ内にお客様指定配送種類（※）がある場合は、ゆうプリRの各種別を設定することで、変換して取り込むことができます。

取り込みデータ内に各種別（〈郵便種別〉〈保冷種別〉〈元/着種別〉〈代引種別〉〈書留/セキュリティ〉〈送り状種別〉）の値が無くても、設定した種別で取り込むことができます。

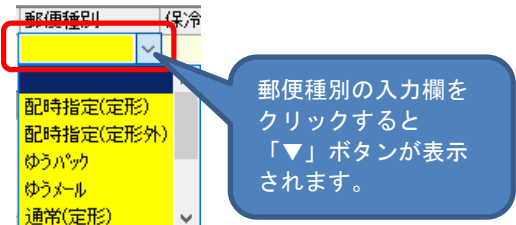
※ お客様指定配送種類とは、取り込みファイルから以下の情報を特定出来る項目（値）のことをいいます。

〈郵便種別〉、〈保冷種別〉、〈元/着種/代引種別〉、〈書留/セキュリティ種別〉、〈送り状種別〉

(1) 変換設定画面



■ 設定項目説明

<p>お客様指定配送種類でのコード変換設定</p>	<p>削除</p>	<p>入力した明細行を削除する場合には選択にチェックをします。チェックをつけた明細行は「削除」ボタンのクリックで削除されます。</p> <p>入力方法 : チェックボックスによる選択</p> <table border="1" data-bbox="715 1111 1329 1176"> <tbody> <tr> <td>チェックなし</td> <td>登録</td> </tr> <tr> <td>チェックあり</td> <td>削除</td> </tr> </tbody> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	チェックなし	登録	チェックあり	削除
チェックなし	登録					
チェックあり	削除					
<p>お客様指定配送種類</p>		<p>取り込みファイルの配送種類の値を入力します。</p> <p>入力形式 : 全半角混在可能 ※未入力でも条件設定の指定は可能です。ただし、未入力行は1行のみです。</p> <p>入力方法 : 直接入力 入力文字数は全角10文字、半角20文字までです。※文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>				
<p>郵便種別</p>		<p>配送種類の値に対する郵便種別を選択します。</p> <p>入力方法 : 「▼」ボタンをクリックして選択します。</p>  <p>初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>				

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

■ 設定項目説明

お客様指定配送種類でのコード変換設定	保冷種別	<p>配送種類の値に対する保冷種別を選択します。 入力方法 : 「▼」ボタンをクリックして選択します。</p>  <p>保冷種別の入力欄をクリックすると「▼」ボタンが表示されます。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>
	元/着払/代引種別	<p>配送種類の値に対する元払、着払、代引種別を選択します。 入力方法 : 「▼」ボタンをクリックして選択します。</p>  <p>元/着払/代引種別の入力欄をクリックすると「▼」ボタンが表示されます。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>
	書留/セキュリティ	<p>配送種類の値に対する書留/セキュリティ種別を選択します。 入力方法 : 「▼」ボタンをクリックして選択します。</p>  <p>書留/セキュリティ種別の入力欄をクリックすると「▼」ボタンが表示されます。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>
	送り状種別	<p>配送種類の値に対する送り状種別を選択します。 入力方法 : 「▼」ボタンをクリックして選択します。</p>  <p>書留/セキュリティ種別の入力欄をクリックすると「▼」ボタンが表示されます。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

(2) お客様指定配送種類による変換設定例

■ 取り込みデータサンプル

C	D	E	F	G
管理番号	お客様側管理番号	発送予定日	発送予定日	発送日
	111			
	222			
	333			
	444			
	555			
	666			
	777			
	888			
	999			

取り込みデータの<お客様側管理番号>を
お客様指定配送種類の値として使用します。

■ お客様指定配送種類の設定例

選択	お客様指定配送種類	郵便種別	保冷種別	元/着払/代引	書留/セキュリティ	送り状種別
<input checked="" type="checkbox"/>	111	ゆうパック	保冷なし	元払い	なし	ゆうパックシート(A4・2宛分)(ユ00780)
<input checked="" type="checkbox"/>	222	ゆうパック	保冷なし	着払い	なし	着払ゆうパックシート無地(A4・2宛分)
<input checked="" type="checkbox"/>	333	ゆうパック	保冷なし	代引き	なし	ゆうパック代引まとめシート(A4・2宛分)
<input checked="" type="checkbox"/>	444	ゆうパケット	保冷なし	元払い	なし	ゆうパケットタックシール(ユ00582)
<input checked="" type="checkbox"/>	555	通常(定形外)	保冷なし	元払い	なし	2×4 エーワン(60208)
<input checked="" type="checkbox"/>	666	通常(定形)	保冷なし	元払い	簡易書留	2×4 エーワン(60208)
<input checked="" type="checkbox"/>	777	通常(定形)	保冷なし	代引き	書留/セキュリティ	(新)代引郵便ラベル(通常・電信)ユ00783
<input checked="" type="checkbox"/>	888	通常(定形)	保冷なし	元払い	特定記録	2×4 エーワン(60208)
<input checked="" type="checkbox"/>	999	ゆうメール	保冷なし	元払い	なし	ゆうメールタックシール(ユ00582)
<input checked="" type="checkbox"/>		ゆうパック	保冷なし	元払い	なし	ゆうパックシート無地(A4・2宛分)(ユ00783)

取り込みファイルの値

取り込みファイルの
値に対する配送種類

Note

◆ 条件設定

お客様指定配送種類に取り込んだ値からゆうプリRの<郵便種別><保冷種別>
<元/着払/代引種別><書留/セキュリティ><送り状種別>を設定します。

上記のサンプルの場合

お客様指定配送種類に取り込んだ値が'111'の場合、取り込んだデータの
配送種類を以下のように設定します。

郵便種別：ゆうパック 保冷種別：保冷なし 元/着払/代引：元払い
書留/セキュリティ：なし 送り状種別：ゆうパックシート(A4・2宛分)(ユ00780)

お客様指定配送種類に取り込んだ値が未設定の場合、取り込んだデータの
配送種類を以下のように設定します。

郵便種別：ゆうパック 保冷種別：保冷なし 元/着払/代引：元払い
書留/セキュリティ：なし 送り状種別：ゆうパックシート無地(A4・2宛分)(ユ00783)

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

(3) お客様指定配送種類と取り込みデータとの紐付例

取り込みデータとゆうプリRのお客様指定配送種類の紐付は、以下の項目で設定します。

■ フィルタ設定方法

「<お客様指定配送種類>の「□」ボタンをクリックして『取込補助』画面を起動します。

「取込補助」画面の「取込データの編集」セクションで、「取込データから選択」の「▼」ボタンをクリックして紐付する項目を選択し「追加」ボタンをクリックします。

「終了」ボタンをクリックします。

■ 取り込み結果

管理番号	お客様側管理番号	発送予定E	発送予定E	発送E	選択	お客様指定配送種類	郵便種別	保冷種別	元/着/代引	書留/セキュリティ	送り状種別
111	111				<input type="checkbox"/>	ゆうパック	保冷なし	元払い	なし		ゆうパックシート(A4・2宛分)(100780)
222	222				<input type="checkbox"/>	ゆうパック	保冷なし	着払い	なし		着払ゆうパックシート無地(A4・2宛分)(100783)
333	333				<input type="checkbox"/>	ゆうパック	保冷なし	代引き	なし		ゆうパック代引まどめシート(A4・2宛分)(100747)
444	444				<input type="checkbox"/>	ゆうパケット	保冷なし	元払い	なし		ゆうパケットタックシール(100582)
555	555				<input type="checkbox"/>	通常(定形外)	保冷なし	元払い	なし		2×4 エーワン(60208)
666	666				<input type="checkbox"/>	通常(定形)	保冷なし	元払い	簡易書留		2×4 エーワン(60208)
777	777				<input type="checkbox"/>	通常(定形)	保冷なし	代引き	書留/セキュリティ		(新)代引郵便ラベル(通常・電信)(100275)
888	888				<input type="checkbox"/>	通常(定形)	保冷なし	元払い	特定記録		2×4 エーワン(60208)
999	999				<input type="checkbox"/>	ゆうメール	保冷なし	元払い	なし		ゆうメールタックシール(100582)
					<input type="checkbox"/>	ゆうパック	保冷なし	元払い	なし		ゆうパックシート無地(A4・2宛分)(100780)

郵便種別	元/着/代	お客様側管理番号	送り状種別
ゆうパック	元払い	111	ゆうパックシート(A4・2宛分)(100780)
ゆうパック	着払い	222	着払ゆうパックシート無地(A4・2宛分)(100783)
ゆうパック	代引き	333	ゆうパック代引まどめシート(A4・2宛分)(100747)
ゆうパケット		444	ゆうパケットタックシール(100582)
通常(定形外)		555	2×4 エーワン(60208)
通常(定形)		666	2×4 エーワン(60208)
通常(定形)		777	(新)代引郵便ラベル(通常・電信)(100275)
通常(定形)		888	2×4 エーワン(60208)
ゆうメール		999	ゆうメールタックシール(100582)

条件設定によりゆうパック、郵便商品の混在したデータを取り込み出来ます。

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

4. お客様コードによる配送種類の変換設定

取り込みデータ内で以下の対象項目について、お客さまにて設定された任意のコード値がある場合は、変換後コードを設定することで、変換して取り込むことができます。

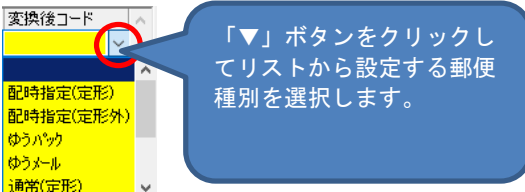
対象項目に取り込んだデータに値が無い場合は、お客様コードは設定せず、変換後コードのみ設定することで変換して取り込みすることが出来ます。

■ 対象項目

〈郵便種別〉、〈保冷種別〉、〈元/着種/代引種別〉、〈書留/セキュリティ種別〉、〈送り状種別〉

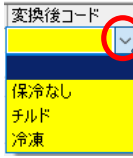
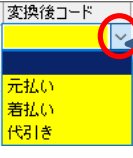
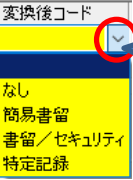
(1) 変換設定画面

■ 設定項目説明

お客様コードでの コード変換設定	選択	<p>入力した明細行を削除する場合は選択にチェックをします。チェックをつけた明細行は「削除」をクリックで削除されます。 入力方法：チェックボックスによる選択</p> <table border="1"> <tr> <td>チェックなし</td> <td>登録</td> </tr> <tr> <td>チェックあり</td> <td>削除</td> </tr> </table> <p>初期状態：新規の場合、未入力（チェックなし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	チェックなし	登録	チェックあり	削除
	チェックなし	登録				
チェックあり	削除					
郵便種別	<p>取り込みファイル内の郵便種別に該当する値に対するゆうプリR側の郵便種別を選択します。 入力方法：お客様コードは直接入力 ※取込データが値なしの場合、未入力状態で変換後コードの指定が可能です。 変換後コードは「▼」ボタンをクリックして選択します。</p>  <p>初期状態：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>					

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

■ 設定項目説明

<p>お客様コードでの コード変換設定</p>	<p>保冷種別</p>	<p>取り込みファイル内の保冷種別に該当する値に対する ゆうプリR側の保冷種別を選択します。 入力方法 : お客様コードは直接入力 変換後コードは「▼」ボタンをクリックして 選択します。</p>  <p>「▼」ボタンをクリックして リストから設定する保冷 種別を選択します。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を 表示します。</p>
	<p>元/着払/代引</p>	<p>取り込みファイル内の元/着払/代引種別に該当する値に 対するゆうプリR側の元/着払/代引種別を選択します。 入力方法 : お客様コードは直接入力 変換後コードは「▼」ボタンを クリックして選択します。</p>  <p>「▼」ボタンをクリックして リストから設定する元/着払/ 代引種別を選択します。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を 表示します。</p>
	<p>書留/セキュリ ティ</p>	<p>取り込みファイル内の書留/セキュリティ種別に該当する値に 対するゆうプリR側の書留/セキュリティ種別を選択します。 入力方法 : お客様コードは直接入力 変換後コードは「▼」ボタンを クリックして選択します。</p>  <p>「▼」ボタンをクリック してリストから設定する 書留/セキュリティ種別 を選択します。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を 表示します。</p>
	<p>送り状種別</p>	<p>取り込みファイル内の送り状種別に該当する値に 対するゆうプリR側の送り状種別を選択します。 入力形式 : 直接入力 変換後コードに入力する値は、 別紙〔8. 入出力インターフェース仕様書〕を ご確認ください。 初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を 表示します。</p>

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

(2) お客様コードによる変換設定例

■ 取り込みデータサンプル

	J	K	L	M	N	O
郵便種別	保冷種別	元/着払/代引	書留/セキュリティ	配達時間帯	送り状種別	
宅配便	常温	クレジット	なし		780	
宅配便	冷蔵	代金引換	セキュリティ		747	
宅配便	冷凍	代金引換	セキュリティ		747	

取り込みデータの<郵便種別>、<保冷種別>、<書留/セキュリティ>、<元/着払/代引>、<送り状種別>を、お客様コードの値として使用します。

■ お客様コードの設定例

郵便種別

選択	お客様コード	変換後コード
<input type="checkbox"/>	ゆうパック	
<input type="checkbox"/>	ゆうメール	

保冷種別

選択	お客様コード	変換後コード
<input type="checkbox"/>	常温	保冷なし
<input type="checkbox"/>	冷蔵	チルド

元/着払/代引

選択	お客様コード	変換後コード
<input type="checkbox"/>	クレジット	元払い
<input type="checkbox"/>	代金引換	代引き

書留/セキュリティ

選択	お客様コード	変換後コード
<input type="checkbox"/>	なし	なし
<input type="checkbox"/>	セキュリティ	書留/セキュリティ

送状種別

選択	お客様コード	変換後コード
<input type="checkbox"/>	780	1100780
<input type="checkbox"/>	747	1100747

——— 取込みファイルの値

- - - - - ゆうプリR側の設定値

【上記設定例の内容】

郵便種別	取り込みデータが<宅配便>の場合、ゆうプリR側に<ゆうパック>を設定します。 取り込みデータに値が無い場合、ゆうプリR側に<ゆうメール>を設定します。
保冷種別	取り込みデータが<常温>の場合、ゆうプリR側に<保冷なし>を設定します。 取り込みデータが<冷蔵>の場合、ゆうプリR側に<チルド>を設定します。
元/着払/代引	取り込みデータが<クレジット>の場合、ゆうプリR側に<元払い>を設定します。 取り込みデータが<代金引換>の場合、ゆうプリR側に<代引き>を設定します。
書留/セキュリティ	取り込みデータが<なし>の場合、ゆうプリR側に<なし>を設定します。 取り込みデータが<セキュリティ>の場合、ゆうプリR側に<セキュリティ>を設定します。
送状種別	取り込みデータが<780>の場合、ゆうプリR側に<1100780>を設定します。 取り込みデータが<747>の場合、ゆうプリR側に<1100747>を設定します。

Note

◆ お客様コードの変換設定

お客様コードからの変換設定は、1対1の変換になります。したがって、<郵便種別><保冷種別><元/着払/代引種別><書留/セキュリティ><送り状種別>がそれぞれ独立して変換を行います。
このため、変換した結果、データの整合性が取れていない場合は、取り込みエラーとなります。

お客様コードが未設定の場合でも変換後コードを指定し、変換をすることができます。

また、<郵便種別><保冷種別><元/着払/代引種別><書留/セキュリティ><送り状種別>の全てを設定する必要はありません。変換設定する項目のみ設定し取り込みすることが出来ます。

◆ 送状種別について

ゆうプリR側の変換後コードは、別紙〔8. 入出カインターフェース仕様書〕を参照ください。

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

(3) ゆうプリR側の項目と取り込みデータとの紐付例

取り込みデータとゆうプリRの紐付は、以下の項目で設定します。

■ フィルタ設定方法

「取得データから選択」の「▼」ボタンをクリックして紐付する項目を選択し「追加」ボタンをクリックします。設定する項目について、全て同様な手順で設定します。

「終了」ボタンをクリックします。

取得先項目名選択

- 出荷元会員番号
- 出荷元パソコンID
- 出荷元ログイングループID
- 出荷元ログインユーザーID
- 出荷元ログイングループ名称
- 出荷元ログインユーザー名称
- 出荷元郵便番号
- 出荷元電話番号
- 出荷元住所-JIS11
- 出荷元住所-番地
- 出荷元住所-番号
- 出荷元住所-ビル名
- テンプレート番号
- お届け先グループコード
- 処理番号
- お客様側管理番号
- 発送予定日
- 発送予定時間区分
- 発送日
- 出荷期限日
- 到着期限日
- 郵便種別
- 保冷種別
- 元/着払/代引
- 書留/セキュリティ/特定記録種別

設定の適用先

1. テンプレート	2. お届け先グループ	3. 処理番号	4. お客様側管理	5. 発送予定日	6. 発送予定時間	7. 発送日	8. 出荷期限日	9. 到着期限日	10. 郵便種別	11. 保冷種別
									宅配便	常温
									宅配便	冷蔵
									宅配便	冷凍

■ 取込結果

取り込みファイルとの条件設定例

変換設定により設定した値で取り込みが出来ます。

郵便種別	保冷種別	元/着/代	書留/セキュリティ/	送り状種別	お
ゆうパック	保冷なし	元払い	なし	ゆうパックシート(A4・2宛分)(<u00780)	
ゆうパック	保冷なし	代引き	書留/セキュリティ	ゆうパック代引まとめシート(A4・2宛分)(<u00747)	

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

5. その他のコードによる変換設定

取り込みデータ内で以下の対象項目について、お客さまにて設定された任意のコード値がある場合は、変換後コードを設定することで、変換して取り込むことができます。

■ 対象項目

〈配達時間帯区分〉、〈敬称区分〉、〈商品サイズ区分〉

(1) 変換設定画面

取込出力フィルタ詳細設定

ファイル(E) 編集(E)

取込出力フィルタ詳細設定

会員ID: R0092294
ユーザー: 動作確認用

更新 閉じる

条件設定 プレビュー

入力

取込出力フィルタ 申請データ(条件設定)

取り込み時の変換設定

配達種類変換 [コード変換・マスタ登録]

◎ ファイル取込項目: 設定項目 = 1:n変換

選択 お客様指定配達種類 郵便 状態種別

*

削除

取り込み時の変換設定

配達種類変換 [コード変換・マスタ登録]

配達時間帯の変換

敬称区分の変換

サイズ/厚さの変換

マスク参照・更新の設定

顧客マスタ

届け先

ご依頼主

集荷先

商品マスタ

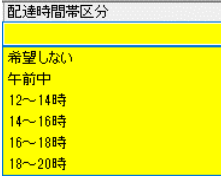
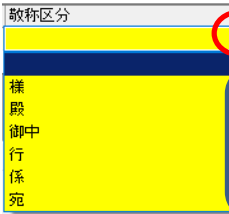
戻る 適用

〈コード変換・マスタ登録〉の画面を開きます。

上記箇所では〈配達時間帯区分〉、〈敬称区分〉、〈商品サイズ区分〉の変換設定を登録します。


3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

■ 設定項目説明

その他のコードでの コード変換設定	選択	<p>入力した明細行を削除する場合は選択にチェックをします。チェック後、「削除」をクリックで削除されます。</p> <p>入力方法 : チェックボックスによる選択</p> <table border="1" data-bbox="715 472 1329 539"> <tr> <td>チェックなし</td> <td>登録</td> </tr> <tr> <td>チェックあり</td> <td>削除</td> </tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(チェックなし)となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	チェックなし	登録	チェックあり	削除
チェックなし	登録					
チェックあり	削除					
	お客様配達時間帯区分	<p>取り込みファイル内の配達時間帯区分に該当する値を入力します。</p> <p>入力形式 : 全半角混在可能</p> <p>入力方法 : 直接入力</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>				
	配達時間帯区分	<p>取り込みファイル内の配達時間帯区分に該当する値に対するゆうプリR側の配達時間帯区分を選択します。</p> <p>入力方法 : 「▼」ボタンをクリックして選択します。</p> <div data-bbox="802 992 1023 1167">  </div> <div data-bbox="1034 1032 1374 1218"> <p>「▼」ボタンをクリックしてリストから設定する配達時間帯区分を選択します。</p> </div> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>				
	お客様敬称区分	<p>取り込みファイル内の敬称区分に該当する値を入力します。</p> <p>入力形式 : 全半角混在可能</p> <p>入力方法 : 直接入力</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>				
	敬称区分	<p>取り込みファイル内の敬称区分に該当する値に対するゆうプリR側の敬称区分を選択します。</p> <p>入力方法 : 「▼」ボタンをクリックして選択します。</p> <div data-bbox="794 1630 1023 1843">  </div> <div data-bbox="1034 1682 1362 1850"> <p>「▼」ボタンをクリックしてリストから設定する敬称区分を選択します。</p> </div> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>				

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

■ 設定項目説明

その他のコードでの コード変換設定	お客様指定 サイズ	取り込みファイル内のサイズ区分に該当する値を入力します。 入力形式 : 全半角混在可能 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を 表示します。
	サイズ	取り込みファイル内のサイズ区分に該当する値に対する ゆうぷりR側のサイズ区分を選択します。 入力方法 : 「▼」ボタンをクリックして選択します。  <p>「▼」ボタンをクリックしてリストから設定するサイズ区分を選択します。</p> 初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を 表示します。

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

(2) お客様コードによる変換設定例

■ 取り込みデータサンプル

	Z	AA	AB
お届け先 敬称区分		商品サイズ区分	配達時間帯区分
1		小	午前
2		中	午後①

取り込みデータの〈お届け先敬称区分〉、〈商品サイズ区分〉、〈配達時間帯区分〉をお客様コードの値として使用します。

■ お客様コードの設定例

The screenshot shows three configuration panels:

- 配達時間帯の変換 (Delivery Time Conversion):** Shows a mapping from '午前' (Morning) to '午前中' (Morning) and '午後①' (Afternoon 1) to '12~14時' (12-14h).
- 敬称区分の変換 (Honorific Conversion):** Shows a mapping from '1' to '御中' (Onaka) and '2' to '殿' (Don).
- サイズ/厚さの変換 (Size/Thickness Conversion):** Shows a mapping from '小' (Small) to '60サイズ' (60 size) and '中' (Medium) to '100サイズ' (100 size).

——— 取込みファイルの値 - - - - - ゆうプリR側の設定値

【上記設定例の内容】

配達時間帯	取り込みデータが〈午前〉の場合、ゆうプリR側に〈午前中〉を設定します。 取り込みデータが〈午後①〉の場合、ゆうプリR側に〈12~14時〉を設定します。
敬称区分	取り込みデータが〈1〉の場合、ゆうプリR側に〈御中〉を設定します。 取り込みデータが〈2〉の場合、ゆうプリR側に〈殿〉を設定します。
サイズ/厚さ	取り込みデータが〈小〉の場合、ゆうプリR側に〈60サイズ〉を設定します。 取り込みデータが〈中〉の場合、ゆうプリR側に〈100サイズ〉を設定します。

Note

◆ お客様コードの変換設定

お客様コードからの変換設定は、1対1の変換になります。したがって、〈配達時間帯〉〈敬称区分〉〈サイズ/厚さ〉がそれぞれ独立して変換を行います。

また、〈配達時間帯〉〈敬称区分〉〈サイズ/厚さ〉の全てを設定する必要はありません。変換設定する項目のみ設定し取り込みすることが出来ます。

◆ 敬称区分の変換

敬称区分の変換設定は、お届け先の敬称とご依頼主の敬称について変換することが出来ます。この場合、〈お届け先敬称区分〉と〈ご依頼主敬称区分〉に取り込みする設定を登録してください。

3-7 取り込みファイルの値から変換して取り込みする設定方法(条件設定)

(3) ゆうプリR側の項目と取り込みデータとの紐付例

取り込みデータとゆうプリRの紐付は、以下の項目で設定します。

■ フィルタ設定方法

「配達時間帯」、
「敬称区分」、
「サイズ/厚さ区分」の中で、
取り込みする項目の「□」ボタンを
クリックして『取込補助』画面を
起動します。

「取込データから選択」の「▼」ボタンを
クリックして紐付する項目を選択し
「追加」ボタンをクリックします。
設定する項目について、全て同様な
手順で設定します。

「終了」ボタンを
クリックします。

■ 取込結果

お届け先	敬称区分	商品サイズ区分	配達時間帯区分
1	中	小	午前
2	中	中	午後①

取り込みファイル
との条件設定例

変換設定により設定した値
で取り込みが出来ます。

配達時間帯	お届け先 敬称	ご依頼主 敬称	商品サイズ/厚さ
午前中	御中	殿	60サイズ
12~14時	殿	御中	100サイズ

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

出荷データを取り込みする際、取り込みするデータにゆうプリRに登録してあるお届け先コードやご依頼主コード、商品コードがある場合、そのコードからマスタ情報を参照して出荷データに反映することが出来ます。また、取り込みしたコードが既にマスタに存在する場合は、取り込んだ情報で更新することも出来ます。

1. マスタ参照が出来るゆうプリR側の情報

ゆうプリRに登録してある以下のマスタ情報について、コードから参照出来ます。

〈顧客マスタ(届け先マスタ、ご依頼主マスタ)〉、〈商品マスタ〉

2. 条件設定の画面

条件設定は、『取込出力フィルタ詳細設定』画面より画面を起動します。

取込出力フィルタ詳細設定

ファイル(F) 編集(E)

取込出力フィルタ詳細設定

会員ID: R0092294
ユーザー: 動作確認用

更新 閉じる

データ編集

条件設定 プレビュー

入力

取込出力フィルタ詳細設定

変換設定

配送種別変換 コード変換・マスタ登録

◎ ファイル取込項目: 設定項目 = 1:n変換

選択 お客様指定配送種別

ティ 送り状種別

削除

取込出力フィルタ詳細設定

変換設定

配送種別変換 コード変換・マスタ登録

配達時間帯の変換

削除

選択	お客様配達時間帯区分	配達時間帯区分
*	<input type="checkbox"/>	

敬称区分の変換

削除

選択	お客様敬称区分	敬称区分
*	<input type="checkbox"/>	

サイズ/厚さの変換

削除

選択	お客様指定サイズ	サイズ
*	<input type="checkbox"/>	

マスタ参照・更新の設定

顧客マスタ

届け先

ご依頼主

集荷先

商品マスタ

戻る 適用

〈コード変換・マスタ登録〉の画面を開きます。

〈届け先〉、〈ご依頼主〉、〈集荷先〉、〈商品マスタ〉についてマスタ参照の設定を行います。

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

3. マスタ参照の設定

(1) 変換設定画面

■ 設定項目説明

顧客マスタ	届け先	届け先マスタの参照・更新方法を選択します。 入力方法：「▼」ボタンをクリックして選択します。 初期状態：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
	ご依頼主	ご依頼主マスタの参照・更新方法を選択します。 入力方法：「▼」ボタンをクリックして選択します。 初期状態：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。
	集荷先	※ 現状、本機能についてはご利用いただけません。
商品マスタ	商品マスタの参照・更新方法を選択します。 入力方法：「▼」ボタンをクリックして選択します。 初期状態：新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。	

(2) マスタ参照設定の選択項目

マスタ参照・更新の選択項目と動作は以下のとおりです。

選択項目	マスタ参照	上書更新	新規作成
既にコードがある場合は上書き、なければ新規作成する。	する	する	する
既にコードがある場合は上書きしない。なければ新規作成する。	する	しない	する
マスタ参照する。	する	しない	しない
取込データそのまま	しない	しない	しない

※ <既にコードがある場合>のマスタ参照については、同一コードの存在チェックとして参照を行います。

※ <取込データそのまま>は、設定しない場合の動作と同じ取り込み結果になります。

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

(3) マスタ参照・更新の設定と取り込みデータの紐付

- ① お届け先マスタの参照・更新設定と項目の紐付
 (a) マスタ参照・更新方法の選択

お届け先マスタの参照・更新方法を選択します。〈取込データそのまま〉を選択した場合、マスタ参照は行わず、取り込みデータをそのまま取り込みます。

- (b) 取り込みファイルの項目とゆうプリR側の項目との紐付例
 【マスタ参照・更新設定①②の場合】

■ お届け先マスタの情報

お届け先マスタの顧客コードを取り込みデータに設定します。

お届け先の郵便番号や住所、名称等の情報も取り込みデータに設定します。

■ 取り込みデータサンプル

F	S	R	C	T	U
お届け先 検索キー	お届け先 郵便番号	お届け先 住所	お届け先 名称	お届け先 郵便	お届け先 太郎
K01	141-0031	東京都品川区西五反田1-1-1			

■ ゆうプリR側の項目との紐付

取り込みデータの顧客コードがある項目をゆうプリR側の〈お届け先検索キー〉へ取り込みます。

↓セットする値(下記順序で結合)
 16お届け先 検索キー

お届け先の郵便番号、名称、住所等の情報も設定します。

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

【マスタ参照・更新設定③の場合】

■ お届け先マスタの情報

顧客基本情報

 ご依頼主種別 お届け先種別 集荷先種別

顧客コード K01

顧客名 郵便 太郎

フリガナ

郵便番号 141-0031

住所 東京都品川区西五反田1-1-1

電話番号 03-1111-1111

お届け先マスタの顧客コードを
取り込みデータに設定します。お届け先の郵便番号や住所、
名称等の情報は取り込み
データに不要です。

■ 取り込みデータサンプル

P	Q	R	S	T	U
お届け先 検索キー	お届け先 郵便番号	お届け先 住所	お届け先 名称	お届け先 名称2	
K01					

■ ゆうプリR側の項目との紐付

取込補助設定

取込データの編集

固定値 取込データから選択

取込データを切り出す 開始位置 バイト目から バイト

↓セットする値(下記順序で結合)

16.お届け先 検索キー

※複数項目を追加すると結合されたセット値になります

取込先項目名選択

送り状種別

お届け先 検索キー

お届け先 郵便番号

お届け先 住所

お届け先 住所2

お届け先 住所3

お届け先 名称

お届け先 名称2

お届け先 フリガナ

お届け先 フリガナ2

お届け先 敬称区分

お届け先 電話番号

お届け先 メールアドレス1

お届け先 メール種別1

お届け先 メールアドレス2

お届け先 メール種別2

お届け先 局留め区分

お届け先 局留め郵便局名

お届け先 局留め住所

取り込みデータの顧客コードがある項目を
ゆうプリR側の<お届け先検索キー>へ
取り込みする設定にします。

お届け先の郵便番号、名称、住所
等の情報は不要です。

【マスタ参照・更新設定④の場合】

■ 取り込みデータサンプル

P	Q	R	S	T	U
お届け先 検索キー	お届け先 郵便番号	お届け先 住所	お届け先 名称	お届け先 名称2	
K01	141-0031	東京都品川区西五反田1-1-1		郵便 太郎	

■ ゆうプリR側の項目との紐付

取込補助設定

取込データの編集

固定値 取込データから選択

取込データを切り出す 開始位置 バイト目から バイト

↓セットする値(下記順序で結合)

17.お届け先 郵便番号

※複数項目を追加すると結合されたセット値になります

取込先項目名選択

お届け先 検索キー

お届け先 郵便番号

お届け先 住所

お届け先 住所2

お届け先 住所3

お届け先 名称

お届け先 名称2

お届け先 フリガナ

お届け先 フリガナ2

お届け先 敬称区分

お届け先 電話番号

お届け先 メールアドレス1

お届け先 メール種別1

お届け先 メールアドレス2

お届け先 メール種別2

お届け先 局留め区分

お届け先 局留め郵便局名

お届け先 局留め住所

お届け先の郵便番号、名称、住所
等の情報を設定します。

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

(c) 取り込み結果例

■ マスタ参照・更新設定が

① '既にコードがある場合は上書きする。なければ新規作成する。' の場合

顧客基本情報

依頼主種別 お届け先種別 集荷先種別

顧客コード

顧客名

フリガナ

郵便番号 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所

P	Q	R	S	T	U	V
お届け先	検索キー	お届け先	郵便番号	お届け先	住所	〒先
K01		150-8799		東京都渋谷区渋谷20-20-20		

同じ顧客コードで住所が異なるデータを取り込んだ場合。

【取り込んだデータ】

出荷データは、取り込みデータの情報で取り込まれます。

お届け先

お届け先コード 顧客データ参照

電話番号

郵便番号 〒→住所 住所→〒 住所選択 履歴検索

住所

お届け先名

フリガナ

仕分番号

配達店名

様

【お届け先マスタの情報】

お届け先マスタは、取り込みデータの情報で更新されます。

顧客基本情報

依頼主種別 お届け先種別 集荷先種別

顧客コード

顧客名

フリガナ

郵便番号 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所

選択	顧客ご	顧客お届け	顧客集荷先	顧客コード	名称	フリガナ2	敬
<input type="checkbox"/>	利用しない	利用する	利用しない	K01			

お届け先マスタに存在していない顧客コードで取り込んだ場合。

P	Q	R	S	T	U	V
お届け先	検索キー	お届け先	郵便番号	お届け先	住所	〒先
K02		141-0031		東京都品川区西五反田1-1-1		

取り込みデータの情報でお届け先マスタに新規登録されます。

顧客集荷先種別	顧客コード	名称	名称2	フリガナ	フリガナ2
利用しない	K02	送り状印字システ			
利用しない	K01	日本郵便株式会	送り状印字システ		

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

- マスタ参照・更新設定が
②' 既にコードがある場合は上書きしない。なければ新規作成する。' の場合

顧客基本情報

ご依頼主種別 お届け先種別 集荷先種別

顧客コード **K01**

顧客名 日本郵便株式会社
送り状印字システムサポートセンター

フリガナ

郵便番号 150-8799 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所 東京都渋谷区渋谷10-10-10

同じ顧客コードで住所が異なるデータを取り込んだ場合。

P	Q	R	S	T	U	V
お届け先検索キー	お届け先郵便番号	お届け先住所	〒	お届け先名称	お届け先名称2	
K01	150-8799	東京都渋谷区渋谷20-20-20		日本郵便株式会社	送り状印字システムサポー	

【取り込んだデータ】

出荷データは、取り込みデータの情報で取り込まれます。

お届け先

お届け先コード **K01** 顧客データ参照

電話番号

郵便番号 150-8799 〒→住所 住所→〒 住所選択 履歴検索

住所 東京都渋谷区渋谷20-20-20

仕分番号

配達店名

お届け先名 日本郵便株式会社
送り状印字システムサポートセンター

様

【お届け先マスタの情報】

お届け先マスタは、取り込みデータの情報で更新はされません。

顧客基本情報

ご依頼主種別 お届け先種別 集荷先種別

顧客コード **K01**

顧客名 日本郵便株式会社
送り状印字システムサポートセンター

フリガナ

郵便番号 150-8799 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所 東京都渋谷区渋谷10-10-10

選択	顧客ご依頼主種別	顧客お届け先種別	顧客集荷先種別	顧客コード	名称	フリガナ2	敬
<input type="checkbox"/>	利用した	利用する	利用しない	K01			

お届け先マスタに存在していない顧客コードで取り込んだ場合。

P	Q	R	S	T	U	V
お届け先検索キー	お届け先郵便番号	お届け先住所	〒	お届け先名称	お届け先名称2	
K02	141-0031	東京都品川区西五反田1-1-1		送り状印字システムサポートセンター		

取り込みデータの情報でお届け先マスタに新規登録されます。

選択	顧客ご依頼主種別	顧客お届け先種別	顧客集荷先種別	顧客コード	名称	名称2	フリガナ	フリガナ2
<input type="checkbox"/>	利用した	利用する	利用しない	K02	送り状印字システ			
<input type="checkbox"/>	利用した	利用する	利用しない	K01	日本郵便株式会	送り状印字システ		

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

- マスタ参照・更新設定が③' マスタ参照する' の場合
' マスタ参照する' の場合、お届け先マスタの情報を読み出すのみで、マスタ情報の新規登録や更新は行いません。

お届け先マスタの顧客コードを取り込みデータに設定します。

顧客基本情報

依頼主種別 お届け先種別 集荷先種別

お届け先コード K01

名称 日本郵便株式会社
送り状印字システムサポートセンター

郵便番号 150-8799 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所 東京都渋谷区渋谷10-10-10

お届け先の郵便番号、住所、名称の情報は、取り込みデータには不要です。

P	Q	R	S	T	U	V
お届け先 検索キー	お届け先 郵便番号	お届け先 住所	先	お届	お届け先 名称	お届け先 名称2
K01						

【取り込んだデータ】

お届け先マスタの情報を読み込んでお届け先に設定します。

お届け先

お届け先コード K01 顧客データ参照

郵便番号 150-8799 〒→住所 住所→〒 住所選択 履歴検索

住所 東京都渋谷区渋谷10-10-10

仕番番号
配達店名

お届け先名 日本郵便株式会社
送り状印字システムサポートセンター

様

- マスタ参照・更新設定が④' 取込データそのまま' の場合
' 取込データそのまま' を設定した場合、マスタ参照機能は動作せず、取込ファイルのお届け先情報を取り込みます。

お届け先マスタの顧客コードを取り込みデータに設定してもマスタ参照は行いません。

顧客基本情報

依頼主種別 お届け先種別 集荷先種別

お届け先コード K01

名称 日本郵便株式会社
送り状印字システムサポートセンター

郵便番号 150-8799 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所 東京都渋谷区渋谷10-10-10

お届け先の郵便番号、住所、名称の情報等の情報を取り込みデータに設定します。

P	Q	R	S	T	U	V
お届け先 検索キー	お届け先 郵便番号	お届け先 住所	先	お届	お届け先 名称	お届け先 名称2
K01	141-0031	東京都品川区西五反田1-1-1			送り状印字システムサポートセンター	

お届け先マスタは参照されず、取り込みファイルの内容が取込みされます。

お届け先

お届け先コード K01 顧客データ参照

電話番号

郵便番号 141-0031 〒→住所 住所→〒 住所選択 履歴検索

住所 東京都品川区西五反田1-1-1

仕番番号
配達店名

お届け先名 送り状印字システムサポートセンター

様

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

② ご依頼主マスタの参照・更新設定と項目の紐付

(a) マスタ参照・更新方法の選択

ご依頼主 1 既にコードがある場合は上書きする。なければ新規作成する。

ご依頼主 2 既にコードがある場合は上書きしない。なければ新規作成する。

ご依頼主 3 マスタ参照する。

ご依頼主 4 取込データそのまま。

ご依頼主マスタの参照・更新方法を選択します。〈取込データそのまま〉を選択した場合、マスタ参照は行わず、取り込みデータをそのまま取り込みます。

(b) 取り込みファイルの項目とゆうプリR側の項目との紐付例【マスタ参照・更新設定①②の場合】

■ ご依頼主マスタの情報

顧客基本情報

ご依頼主種別 お届け先種別

顧客コード N01

顧客名 日本郵便株式会社

フリガナ 送り状印字システムサポートセン...

郵便番号 150-8799

住所 東京都渋谷区渋谷1-1-1

ご依頼主マスタの顧客コードを取り込みデータに設定します。

ご依頼主の郵便番号や住所、名称等の情報も取り込みデータに設定します。

■ 取り込みデータサンプル

AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW
ご依頼主 検索キー	ご依頼主	ご依頼主	郵便番号	ご依頼主 住所	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 名称
N01			141-0031	東京都品川区西五反田1-1-1			郵便 太郎

■ ゆうプリR側の項目との紐付

取り込みデータの顧客コードがある項目をゆうプリR側の〈ご依頼主検索キー〉へ取り込みます。

40ご依頼主 検索キー

ご依頼主の郵便番号、名称、住所等の情報も設定します。

取込先項目名選択

- お届け先 住所コード
- お届け先 カタログコード
- ご依頼主 検索キー
- ご依頼主 利用者同一区分
- ご依頼主 集荷先同一区分
- ご依頼主 郵便番号
- ご依頼主 住所
- ご依頼主 住所2
- ご依頼主 住所3
- ご依頼主 名称
- ご依頼主 名称2
- ご依頼主 フリガナ
- ご依頼主 フリガナ2
- ご依頼主 敬称
- ご依頼主 電話番号
- ご依頼主 メールアドレス1
- ご依頼主 メール種別1
- ご依頼主 メールアドレス2

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

【マスタ参照・更新設定③の場合】

■ ご依頼主マスタの情報

顧客基本情報

 ご依頼主種別 お届け先種別 集荷先種別

顧客コード N01

顧客名 日本郵便株式会社

フリガナ 日本郵便株式会社

郵便番号 150-

住所 東京

ご依頼主マスタの顧客コードを
取り込みデータに設定します。ご依頼主の郵便番号や住所、
名称等の情報は取り込み
データに不要です。

■ 取り込みデータサンプル

AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW
ご依頼主 検索キー	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 郵便番号	ご依頼主 住所	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 名称
N01							

■ ゆうプリR側の項目との紐付

取り込みデータの顧客コードがある項目を
ゆうプリR側の<ご依頼主検索キー>へ
取り込みする設定にします。

ご依頼主の郵便番号、名称、住所等
の情報は不要です。

ご依頼主 検索キー

40.ご依頼主 検索キー

ご依頼主 郵便番号

ご依頼主 住所

ご依頼主 住所2

ご依頼主 住所3

ご依頼主 名称

ご依頼主 名称2

ご依頼主 フリガナ

ご依頼主 フリガナ2

ご依頼主 敬称

ご依頼主 電話番号

ご依頼主 メールアドレス1

ご依頼主 メール種別1

ご依頼主 メールアドレス2

ご依頼主 メール種別2

【マスタ参照・更新設定④の場合】

■ 取り込みデータサンプル

AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW
ご依頼主 検索キー	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 郵便番号	ご依頼主 住所	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 名称
N01			141-0031	東京都品川区西五反田1-1-1			郵便 太郎

■ ゆうプリR側の項目との紐付

ご依頼主の郵便番号、名称、住所等
の情報を設定します。

ご依頼主 郵便番号

43.ご依頼主 郵便番号

ご依頼主 住所

ご依頼主 住所2

ご依頼主 住所3

ご依頼主 名称

ご依頼主 名称2

ご依頼主 フリガナ

ご依頼主 フリガナ2

ご依頼主 敬称

ご依頼主 電話番号

ご依頼主 メールアドレス1

ご依頼主 メール種別1

ご依頼主 メールアドレス2

ご依頼主 メール種別2

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

(c) 取り込み結果例

■ マスタ参照・更新設定が

① '既にコードがある場合は上書きする。なければ新規作成する。' の場合

顧客基本情報

ご依頼主種別 お届け先種別 集荷先種別

顧客コード: N01

顧客名: 日本郵便株式会社
送り状印字システムサポートセンター

フリガナ:

郵便番号: 150-8799 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所: 東京都渋谷区渋谷1-1-1

同じ顧客コードで住所が異なるデータを取り込んだ場合。

AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW
ご依頼主 検索キー	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 郵便番号	ご依頼主 住所	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 名称
N01			141-0031	東京都品川区西五反田1-1-1			郵便 太郎

【取り込んだデータ】

出荷データは、取り込みデータの情報で取り込みされます。

ご依頼主

ご依頼主コード: N01 顧客データ参照

電話番号:

郵便番号: 141-0031 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所: 東京都品川区西五反田1-1-1

ご依頼主名: 郵便太郎

【ご依頼主マスタの情報】

ご依頼主マスタは、取り込みデータの情報で更新されます。

顧客基本情報

ご依頼主種別 お届け先種別 集荷先種別

顧客コード: N01

顧客名: 郵便太郎

フリガナ:

郵便番号: 141-0031 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所: 東京都品川区西五反田1-1-1

選択	顧客ご依頼主	顧客お届け先	顧客集荷先	顧客コード	名称	フリガナ2
<input type="checkbox"/>	利用する	利用しない	利用しない	N01	日本郵便株式会社	

ご依頼主マスタに存在していない顧客コードで取り込んだ場合。

AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW
ご依頼主 検索キー	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 郵便番号	ご依頼主 住所	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 名称
N02			141-0031	東京都品川区西五反田2-2-2			郵便 次郎

取り込みデータの情報でご依頼主マスタに新規登録されます。

顧客集荷先種別	顧客コード	名称	名称2	フリガナ	フリガナ2
利用しない	N02	郵便 太郎			
利用しない	N01	日本郵便株式会社	送り状印字システム		

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

- マスタ参照・更新設定が
② '既にコードがある場合は上書きしない。なければ新規作成する。' の場合

顧客基本情報

ご依頼主種別 お届け先種別 集荷先種別

顧客コード: N01

顧客名: 日本郵便株式会社
送り状印字システムサポートセンター

フリガナ:

郵便番号: 150-8799 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所: 東京都渋谷区渋谷1-1-1

AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW
ご依頼主 検索	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主	郵便番号	ご依頼主 住所	ご依頼	ご依頼主 名称
N01			141-0031		東京都品川区西五反田1-1-1		郵便 太郎

同じ顧客コードで住所が異なるデータを取り込んだ場合。

【取り込んだデータ】

出荷データは、取り込みデータの情報で取り込まれます。

ご依頼主

ご依頼主コード: N01 顧客データ参照

電話番号:

郵便番号: 141-0031 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所: 東京都品川区西五反田1-1-1

ご依頼主名: 郵便太郎

【ご依頼主マスタの情報】

ご依頼主マスタは、取り込みデータの情報で更新はされません。

顧客基本情報

ご依頼主種別 お届け先種別 集荷先種別

顧客コード: N01

顧客名: 日本郵便株式会社
送り状印字システムサポートセンター

フリガナ:

郵便番号: 150-8799 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所: 東京都渋谷区渋谷1-1-1

選択	顧客ご依頼主	顧客お届け先	顧客集荷先	顧客コード	フリガナ	フリガナ2
<input type="checkbox"/>	利用する	利用しない	利用しない	N01		

ご依頼主 マスタに存在していない顧客コードで取り込んだ場合。

AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW
ご依頼主 検索	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主	郵便番号	ご依頼主 住所	ご依頼	ご依頼主 名称
N02			141-0031		東京都品川区西五反田2-2-2		郵便 次郎

取り込みデータの情報でご依頼主マスタに新規登録されます。

先種別	顧客集荷先種別	顧客コード	名称	名称2	フリガナ	フリガナ2
利用しない		N02	郵便 太郎			
利用しない		N01	日本郵便株式会社	送り状印字システ		

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

- マスタ参照・更新設定が③' マスタ参照する' の場合
' マスタ参照する' の場合、ご依頼主マスタの情報を読み出すのみで、マスタ情報の新規登録や更新は行いません。

ご依頼主マスタの顧客コードを取り込みデータに設定します。

顧客基本情報

ご依頼主種別 お届け先種別 集荷先種別

ご依頼主コード N01

ご依頼主名 日本郵便株式会社
送り状印字システムサポートセンター

郵便番号 150-8799 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所 東京都渋谷区渋谷1-1-1

ご依頼主の郵便番号、住所、名称の情報は、取り込みデータには不要です。

AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW
ご依頼主 検索キー	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 郵便番号	ご依頼主 住所	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 名称
N01							

【取り込んだデータ】

ご依頼主マスタの情報を読み込んでご依頼主に設定します。

ご依頼主

ご依頼主コード N01 顧客データ参照

郵便番号 150-8799 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所 東京都渋谷区渋谷1-1-1

ご依頼主名 日本郵便株式会社
送り状印字システムサポートセンター

- マスタ参照・更新設定が④' 取込データそのまま' の場合
' 取込データそのまま' を設定した場合、マスタ参照機能は動作せず、取込ファイルのご依頼主情報を取り込みします。

ご依頼主マスタの顧客コードを取り込みデータに設定してもマスタ参照は行いません。

顧客基本情報

ご依頼主種別 お届け先種別 集荷先種別

ご依頼主コード N01

ご依頼主名 日本郵便株式会社
送り状印字システムサポートセンター

郵便番号 150-8799 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所 東京都渋谷区渋谷1-1-1

ご依頼主の郵便番号、住所、名称の情報等の情報を取り込みデータに設定します。

AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW
ご依頼主 検索キー	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 郵便番号	ご依頼主 住所	ご依頼主	ご依頼主	ご依頼主 名称
N01			141-0031	東京都品川区西五反田1-1-1			郵便 太郎

ご依頼主マスタは参照されず、取り込みファイルの内容が取り込みされます。

ご依頼主

ご依頼主コード N01 顧客データ参照

郵便番号 141-0031 〒→住所 住所→〒 住所選択

住所 東京都品川区西五反田1-1-1

ご依頼主名 郵便太郎

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

③ 商品マスタの参照・更新設定と項目の紐付

(a) マスタ参照・更新方法の選択

商品マスタ	1	既にコードがある場合は上書きする。なければ新規作成する。
商品マスタ	2	既にコードがある場合は上書きしない。なければ新規作成する。
商品マスタ	3	マスタ参照する。
商品マスタ	4	取込データそのまま。

商品マスタの参照・更新方法を選択します。〈取込データそのまま〉を選択した場合、マスタ参照は行わず、取り込みデータをそのまま取り込みます。

(b) 取り込みファイルの項目とゆうプリR側の項目との紐付例
【マスタ参照・更新設定①②の場合】

■ 商品マスタの情報

商品種別	通常商品	セット商品入力
商品番号	B1	
商品名	商品B	

商品マスタの商品番号を取り込みデータに設定します。

■ 取り込みデータサンプル

HM	HN	HO
商品番号	品名	個数
B1	セットB	

品名データも取り込みデータに設定します。

■ ゆうプリR側の項目との紐付

取込補助

取込データの編集

固定値

取込データから選択

取込データを切り出す 開始位置: バイト目から: バイト

↑セットする値(下記順序で結合)

221.商品番号

設定の適用先

取込先項目名選択

- 総個数(集約前)
- 種数(集約前)
- 代引金額(集約前)
- 代引消費税金額(集約前)
- 貨物価格(集約前)
- 重量(g)(集約前)
- 関連重量(g)(集約前)
- 非税標準面(集約前)
- 商品番号
- 品名
- 個数
- 重量(g)
- 単価
- 消費税率区分
- 金額
- 商品備考01
- 商品備考02
- 商品備考03
- 商品備考04

取り込みデータの商品コードがある項目をゆうプリR側の〈商品番号〉へ取り込みする設定にします。

品名や個数等の情報も設定します。

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

【マスタ参照・更新設定③の場合】

■ 商品マスタの情報

商品種別	通常商品	セット商品入力
商品番号	B1	
商品名	商品B	

商品マスタの商品番号を取り込みデータに設定します。

■ 取り込みデータサンプル

HM	HN	HO	重
商品番号	品名	個数	
B1			

品名等の情報は取り込みデータに不要です。

■ ゆうプリR側の項目との紐付

取込補助設定

取込補助

取込データの編集

固定値

取込データから選択

取込データを切り出す 開始位置 バイト目から バイト

設定の適用先

↑セットする値(下記順序で結合)

221.商品番号

※複数項目を結合すると結合されたセト値になります

取込先項目名選択

- 総個数(集約前)
- 複数個口数・荷札枚数(集約前)
- 代引金額(集約前)
- 代引消費税金額(集約前)
- 貨物価格(集約前)
- 重量(g)(集約前)
- 関連重量(g)(集約前)
- 商品番号
- 品名
- 個数
- 重量(g)
- 単価
- 消費税率区分
- 金額
- 商品備考01
- 商品備考02
- 商品備考03
- 商品備考04

取り込みデータの商品番号がある項目をゆうプリR側の<商品番号>へ取り込みする設定にします。

品名等の情報は設定不要です。

【マスタ参照・更新設定④の場合】

■ 取り込みデータサンプル

HM	HN	HO	重
商品番号	品名	個数	
C1	商品C		

■ ゆうプリR側の項目との紐付

取込補助設定

取込補助

取込データの編集

固定値

取込データから選択

取込データを切り出す 開始位置 バイト

設定の適用先

↑セットする値(下記順序で結合)

222.品名

※複数項目を結合すると結合されたセト値になります

取込先項目名選択

- 総個数(集約前)
- 複数個口数・荷札枚数(集約前)
- 代引金額(集約前)
- 代引消費税金額(集約前)
- 貨物価格(集約前)
- 重量(g)(集約前)
- 関連重量(g)(集約前)
- 書留 損害要償額(集約前)
- 品名
- 個数
- 重量(g)
- 単価
- 消費税率区分
- 金額
- 商品備考01
- 商品備考02
- 商品備考03
- 商品備考04

品名、個数等の情報を設定します。

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

(c) 取り込み結果例

■ マスタ参照・更新設定が

① '既にコードがある場合は上書きする。なければ新規作成する。' の場合

商品種別 **通常商品**

商品番号 **B1**

商品名 **商品B**

同じ商品番号で品名が異なるデータを取り込んだ場合。

HM	HN	HO	HP
商品番号	品名	個数	重量
B1	セットB		

【取り込んだデータ】

出荷データは、取り込みデータの情報で取り込みされます。

商品番号	品名
B1	セットB

【商品マスタの情報】

商品マスタは、取り込みデータの情報で更新されます。

商品種別 **通常商品**

商品番号 **B1**

商品名 **セットB**

商品番号	品名
B1	商品B

商品マスタに存在していない商品番号で取り込んだ場合。

HM	HN	HO	HP
商品番号	品名	個数	重量(g)
C1	商品C		

取り込みデータの情報で商品マスタに新規登録されます。

商品番号	商品名	商品カナ名	商品サイズ/厚さ	個数	重量
B1	商品B				
C1	商品C				

3

フィルタの作成方法(詳細編集)

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

■ マスタ参照・更新設定が

② '既にコードがある場合は上書きしない。なければ新規作成する。' の場合

商品種別 **通常商品** セット商品

商品番号 **B1**

商品名 **商品B**

同じ商品番号で品名が異なるデータを取り込んだ場合。

HM	HN	HO	
商品番号	品名	個数	重
B1	セットB		

【取り込んだデータ】

出荷データは、取り込みデータの情報で取り込みされます。

商品番号	品名
B1	セットB

【商品マスタの情報】

商品マスタは、取り込みデータの情報で更新はされません。

通常商品 セット商品入力

商品番号 **B1**

商品名 **商品B**

商品カナ名

商品番号	商品名	個数
B1	商品B	

商品マスタに存在していない商品番号で取り込んだ場合。

HM	HN	HO	HP
商品番号	品名	個数	重量(g)
C1	商品C		

取り込みデータの情報で商品マスタに新規登録されます。

商品番号	商品名	商品カナ名	商品サイズ/厚さ	個数	重
B1	商品B				
C1	商品C				

3-8 マスタ参照を行ったデータ取り込み方法

- マスタ参照・更新設定が③' マスタ参照する' の場合
' マスタ参照する' の場合、商品マスタの情報呼び出すのみで、マスタ情報の新規登録や更新は行いません。

品名マスタの商品番号を取り込みデータに設定します。

品名、個数等の情報は取り込みデータには不要です。

【取り込んだデータ】

商品マスタの情報を読み込んで品名に設定します。

HM	HN	HO	HP
商品番号	品名	個数	
B1	商品B		

- マスタ参照・更新設定が④' 取込データそのまま' の場合
' 取込データそのまま' を設定した場合、マスタ参照機能は動作せず、取り込みファイルの品名情報を取り込みします。

商品マスタの商品番号を取り込みデータに設定してもマスタ参照は行いません。

品名、個数等の情報を取り込みデータに設定します。

商品マスタは参照されず、取り込みファイルの内容が取り込みされます。

HM	HN	HO	HP
商品番号	品名	個数	重量(g)
B1	DVD(50枚パック)	3	

3-9 顧客データ取り込み時の顧客種別について

CSVファイルやExcelファイルから顧客データへ取り込みする場合、顧客の種別を決定する必要があります。顧客種別を設定していなくてもデータ取り込みはエラーとならずに取り込み出来ませんが、データ取り込み後、顧客データとして参照することができません。データ取り込み時に設定するか、取り込み後に1件毎設定する作業が必要です。

■ 顧客データを取り込みするフィルタ設定画面

取り込みファイルの値から顧客種別を設定する場合は、設定する顧客種別の補助情報欄で「」ボタンをクリックして『取込補助』画面を表示し取り込み項目との設定を行います。

取り込み時に固定値で設定する場合は、設定する種別の固定値欄に値を入力します。

■ 顧客種別について

- 顧客ご依頼主種別 顧客データをご依頼主データとして使用する場合に設定します。
- 顧客お届け先種別 顧客データをお届け先データとして使用する場合に設定します。
- 顧客集荷先種別 顧客データを集荷先データとして使用する場合に設定します。

■ 取り込みファイルの項目との紐付け例

【取り込みデータサンプル】

取り込みファイル内の顧客種別が設定されている項目を選択して、ゆーぷりR側の項目と設定します。

【取り込みデータに設定する値について】

取り込みデータから顧客種別を決定する場合は、取り込みする項目に以下の値を設定します。

- 顧客種別を設定する場合 取り込みする項目に' 1 'を設定します。
- 顧客種別を設定しない場合 取り込みする項目に' 0 ' (ゼロ)を設定します。

3-9 顧客データ取り込み時の顧客種別について

■ 固定値の設定について

フィルタ設定画面の固定値欄に顧客種別の設定を行う場合は、以下の値を設定します。

利用する 取り込みする項目に' 1' を設定します。

利用しない 取り込みする項目に' 0' (ゼロ) を設定します。

※ 3つの種別について、全て' 利用する' に設定することも可能です。

■ <顧客お届け先種別>を使用する設定で取り込みした場合の利用例

項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ	書式	ブレイク	必須	重複	空白を除く	固定値
ログインユーザーID	文字列	30				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
顧客ご依頼主種別	文字列	1				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
顧客お届け先種別	文字列	1				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		1
顧客集荷先種別	文字列	1				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

<顧客お届け先種別>を' 利用する' として取り込んだ場合、『お届け先検索』画面では表示されますが、『ご依頼主検索』画面では表示されません。

Point

- ① 取り込む顧客データが全てお届け先用となる場合は、<顧客お届け先種別>の固定値に' 1' を入力します。
取り込む顧客データが全てご依頼主用となる場合は、<顧客ご依頼主種別>の固定値に' 1' を入力します。
- ② <顧客集荷先種別>' 利用する' として取り込んだ顧客データの使用方法については、別紙〔5. 操作説明書 ⑫集荷の申し込みをする〕を参照ください。

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

ゆうプリRで送り状を発行したデータや顧客データに登録した顧客情報をGSVファイルやExcelファイルで出力することが出来ます。出力する場合は、予め出力用のフィルタを登録する必要があります。本項では、詳細編集でのフィルタ設定方法をご案内します。

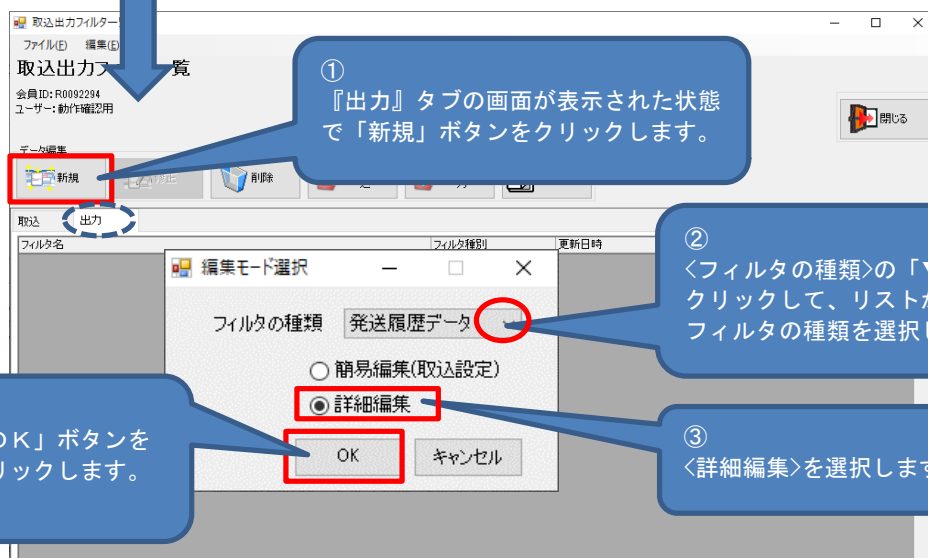
1. 出力用フィルタの登録方法

(1) 登録画面を開きます

【ゆうプリRスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。



本手順では、発送データを出力する場合を例に説明を行っております。



Point

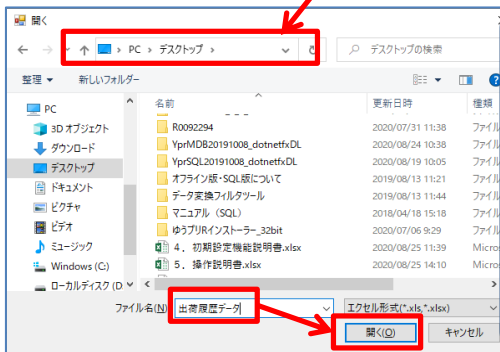
- フィルタの種類について
登録出来るフィルタは、<発送データ>、<発送履歴データ>、<顧客データ>、<顧客商品データ>、<記事マスタ>です。
ご利用の用途を間違えないようご注意ください。

また、<発送データ>は送り状印刷前のデータを出力するフィルタです。
送り状印刷後のデータを出力する場合は、<発送履歴データ>を選択してください。

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

(2) 出力するファイルに関する設定

『取込出力フィルタ詳細設定』画面が開きますので、出力するファイルに関する設定を行います。



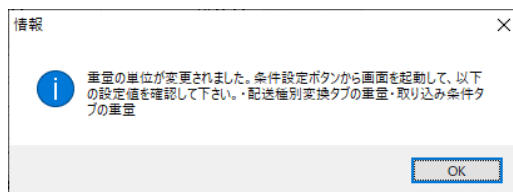
- ① フィルタ名を入力します。
- ② フォーマット種別を選択します。
- ③ 明細数分出力を選択します。
- ④ 列見出し、データ形式を設定します。
CSVファイルの場合、区切り文字、囲み文字、
<数値項目にも囲み文字を使用する>を選択します。
- ⑤ 固定長テキストの場合、改行文字、レコード長を
選択します。
- ⑥ 文字コードを選択します。
- ⑦ 「参照」ボタンをクリックして、出力するファイルを
指定します。
※出力時に指定することも可能です。

■ 設定項目説明

取込フィルタ名 必須入力項目	<p>フィルタに任意の名前を付けます。</p> <p>入力形式 : 全角の場合、最大 50文字 半角の場合、最大 100文字 (全半角混在可能)</p> <p>入力方法 : 直接入力</p> <p>初期状態 : 未入力 (表示なし)</p> <p>※ フィルタ名は、後から変更することができません。 登録後に変更が必要な場合は、「コピー作成」ボタンをご利用ください。</p>
フィルタの種類	<p>編集モード選択画面で選択したフィルタの種類を表示します。</p> <p>フィルタの種類は変更が出来ませんので、再度、編集モード選択画面から選択を行ってください。</p>

Note

重量の単位を変更した場合、右記のメッセージが表示されますが、出力用のフィルタ設定では不要なものであるため確認の必要はありません。



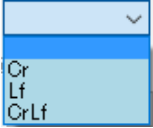
3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

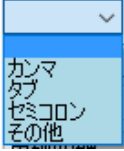

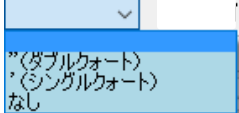
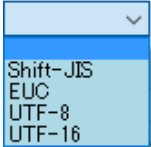
<p>フォーマット種別 必須選択項目</p> <p>フリーフォーマット</p> <p>フリーフォーマット e-発行Business(CSV) e-発行Business(Excel) DENFD予約 e-発行Business(CSV・フリー) e-発行Business(Excel・フリー) ゆうプリ出荷予定/実績データ DENFD確定 新DENFD予約 新DENFD確定 楽天ペイ発送完了報告</p>	<p>出力項目を自由に設定が行えるフリーフォーマットとe-発行Businessで出力していたレイアウト、発送予約データの出力が行えます。出力するデータに合わせてフォーマット種別を選択してください。</p> <p>入力方法 : 「▼」ボタンをクリックしてフォーマットを選択します。</p> <table border="1"> <tr> <td>フリーフォーマット</td> <td>自由に出力設定を行う時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>e-発行Business (CSV)</td> <td><e-発行Business>仕様のデータをCSV形式で出力設定時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>e-発行Business (Excel)</td> <td><e-発行Business>仕様のデータをExcel形式で出力設定時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>e-発行Business (CSV・フリー)</td> <td><e-発行Business>仕様のレイアウトにゆうプリRのフリー項目を追加したデータをCSV形式で出力設定時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>e-発行Business (Excel・フリー)</td> <td><e-発行Business>仕様のレイアウトにゆうプリRのフリー項目を追加したデータをExcel形式で出力設定時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>DENFD予約</td> <td>発送予約データの出力設定時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>DENFD確定</td> <td>発送確定データの出力設定時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>ゆうプリ出荷予定/実績データ</td> <td>「ゆうプリ出荷予定/実績データ」仕様のデータ出力設定時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>新DENFD予約</td> <td>コンビニ情報を含む発送予約データの出力設定時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>新DENFD確定</td> <td>コンビニ情報を含む発送確定データの出力設定時に選択します。</td> </tr> <tr> <td>楽天ペイ発送完了報告</td> <td>楽天ペイ対応RMS用の発送完了報告データの出力設定時に選択します。</td> </tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、フリーフォーマットとなります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	フリーフォーマット	自由に出力設定を行う時に選択します。	e-発行Business (CSV)	<e-発行Business>仕様のデータをCSV形式で出力設定時に選択します。	e-発行Business (Excel)	<e-発行Business>仕様のデータをExcel形式で出力設定時に選択します。	e-発行Business (CSV・フリー)	<e-発行Business>仕様のレイアウトにゆうプリRのフリー項目を追加したデータをCSV形式で出力設定時に選択します。	e-発行Business (Excel・フリー)	<e-発行Business>仕様のレイアウトにゆうプリRのフリー項目を追加したデータをExcel形式で出力設定時に選択します。	DENFD予約	発送予約データの出力設定時に選択します。	DENFD確定	発送確定データの出力設定時に選択します。	ゆうプリ出荷予定/実績データ	「ゆうプリ出荷予定/実績データ」仕様のデータ出力設定時に選択します。	新DENFD予約	コンビニ情報を含む発送予約データの出力設定時に選択します。	新DENFD確定	コンビニ情報を含む発送確定データの出力設定時に選択します。	楽天ペイ発送完了報告	楽天ペイ対応RMS用の発送完了報告データの出力設定時に選択します。
フリーフォーマット	自由に出力設定を行う時に選択します。																						
e-発行Business (CSV)	<e-発行Business>仕様のデータをCSV形式で出力設定時に選択します。																						
e-発行Business (Excel)	<e-発行Business>仕様のデータをExcel形式で出力設定時に選択します。																						
e-発行Business (CSV・フリー)	<e-発行Business>仕様のレイアウトにゆうプリRのフリー項目を追加したデータをCSV形式で出力設定時に選択します。																						
e-発行Business (Excel・フリー)	<e-発行Business>仕様のレイアウトにゆうプリRのフリー項目を追加したデータをExcel形式で出力設定時に選択します。																						
DENFD予約	発送予約データの出力設定時に選択します。																						
DENFD確定	発送確定データの出力設定時に選択します。																						
ゆうプリ出荷予定/実績データ	「ゆうプリ出荷予定/実績データ」仕様のデータ出力設定時に選択します。																						
新DENFD予約	コンビニ情報を含む発送予約データの出力設定時に選択します。																						
新DENFD確定	コンビニ情報を含む発送確定データの出力設定時に選択します。																						
楽天ペイ発送完了報告	楽天ペイ対応RMS用の発送完了報告データの出力設定時に選択します。																						
<p>明細数分出力 必須選択項目</p> <p>しない</p> <p>しない する</p>	<p>出力するデータの商品明細について出力方法を選択します。</p> <p>入力方法 : 「▼」ボタンをクリックして選択します。</p> <table border="1"> <tr> <td>する</td> <td>全明細分出力されます。 登録した送り状データに品名が3つ登録がある場合、3レコード出力します。</td> </tr> <tr> <td>しない</td> <td>1明細分出力されます。 登録した送り状データに品名が3つ登録がある場合でも、1レコード出力します。</td> </tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、「しない」となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p> <p>出力例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>商品番号</th> <th>品名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>商品A</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>商品B</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>出荷データの品名を2つ登録してある状態。</p> <p>‘しない’を選択した場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 品名</td> </tr> <tr> <td>2 商品A</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>出力される品名は1つ (1レコード)</p> <p>‘する’を選択した場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 品名</td> </tr> <tr> <td>2 商品A</td> </tr> <tr> <td>3 商品B</td> </tr> </tbody> </table> <p>出力される品名は2つ (2レコード)</p>	する	全明細分出力されます。 登録した送り状データに品名が3つ登録がある場合、3レコード出力します。	しない	1明細分出力されます。 登録した送り状データに品名が3つ登録がある場合でも、1レコード出力します。	商品番号	品名	<input type="checkbox"/>	商品A	<input type="checkbox"/>	商品B	<input type="checkbox"/>		A	1 品名	2 商品A	3	A	1 品名	2 商品A	3 商品B		
する	全明細分出力されます。 登録した送り状データに品名が3つ登録がある場合、3レコード出力します。																						
しない	1明細分出力されます。 登録した送り状データに品名が3つ登録がある場合でも、1レコード出力します。																						
商品番号	品名																						
<input type="checkbox"/>	商品A																						
<input type="checkbox"/>	商品B																						
<input type="checkbox"/>																							
A																							
1 品名																							
2 商品A																							
3																							
A																							
1 品名																							
2 商品A																							
3 商品B																							

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

<p>データ形式 必須選択項目</p> <p>カンマ、タブなどの区切り文字 Excel 固定長テキスト</p>	<p>出力するデータの形式を選択します。 入力方法 : 「▼」ボタンをクリックしてデータ形式を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="563 472 1366 696"> <tr> <td>カンマ、タブなどの区切り文字</td> <td>CSV (カンマ区切り)やTAB区切りされたデータで出力する際に選択します。</td> </tr> <tr> <td>Excel</td> <td>Excelデータで出力する際に選択します。 Microsoft Excel 2003以降が必要です。 ※ 拡張子<xls><xlsx>共に利用可能。</td> </tr> <tr> <td>固定長テキスト</td> <td>固定長テキストデータで出力する際に選択します。</td> </tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力 (表示なし) となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	カンマ、タブなどの区切り文字	CSV (カンマ区切り)やTAB区切りされたデータで出力する際に選択します。	Excel	Excelデータで出力する際に選択します。 Microsoft Excel 2003以降が必要です。 ※ 拡張子<xls><xlsx>共に利用可能。	固定長テキスト	固定長テキストデータで出力する際に選択します。
カンマ、タブなどの区切り文字	CSV (カンマ区切り)やTAB区切りされたデータで出力する際に選択します。						
Excel	Excelデータで出力する際に選択します。 Microsoft Excel 2003以降が必要です。 ※ 拡張子<xls><xlsx>共に利用可能。						
固定長テキスト	固定長テキストデータで出力する際に選択します。						
<p>列見出し データ形式で<固定長テキスト>以外を選択した場合、必須選択項目</p>	<p>出力するデータの列見出しの'あり'、'なし'を選択します。 入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして'あり'または'なし'を選択します。 ※ ファイルの1行目にデータの見出しが出力されます。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力 (表示なし) となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>						
<p>改行文字 データ形式で<固定長テキスト>を選択の場合、必須選択項目</p> 	<p>出力するデータの改行文字を選択します。 入力方法 : 「▼」ボタンをクリックして改行文字を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="563 1081 1366 1178"> <tr> <td>Cr</td> <td>Crでの改行の場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>Lf</td> <td>Lfでの改行の場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>CrLf</td> <td>CrLfでの改行の場合に選択します。</td> </tr> </table> <p>※ 出力したデータを他システムへ連携する場合は、連携先の仕様をご確認ください。</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力 (表示なし) となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	Cr	Crでの改行の場合に選択します。	Lf	Lfでの改行の場合に選択します。	CrLf	CrLfでの改行の場合に選択します。
Cr	Crでの改行の場合に選択します。						
Lf	Lfでの改行の場合に選択します。						
CrLf	CrLfでの改行の場合に選択します。						

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

<p>区切り文字 データ形式で<カンマ、タブなどの区切り文字>を選択の場合、必須選択項目</p> 	<p>出力するデータの区切り文字を指定します。 入力方法 : 「▼」ボタンをクリックして区切り文字を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="563 405 1366 663"> <tbody> <tr> <td>カンマ</td> <td>出力データをカンマで区切ります。</td> </tr> <tr> <td>タブ</td> <td>出力データをタブで区切ります。</td> </tr> <tr> <td>セミコロン</td> <td>出力データをセミコロンで区切ります。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>出力データを指定した区切り文字で区切ります。</td> </tr> </tbody> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	カンマ	出力データをカンマで区切ります。	タブ	出力データをタブで区切ります。	セミコロン	出力データをセミコロンで区切ります。	その他	出力データを指定した区切り文字で区切ります。
カンマ	出力データをカンマで区切ります。								
タブ	出力データをタブで区切ります。								
セミコロン	出力データをセミコロンで区切ります。								
その他	出力データを指定した区切り文字で区切ります。								
<p>区切り文字(値) <区切り文字>で<その他>を選択の場合、入力必須項目</p>	<p>出力するデータの区切り文字を指定します。 入力形式 : 半角英数字 1桁 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p> <p>区切り文字 <input type="text" value="その他"/> ▼ </p> <p>↑ この部分にデータの区切り文字を入力します。</p>								
<p>囲み文字 データ形式で<カンマ、タブなどの区切り文字>を選択の場合、必須選択項目</p> 	<p>出力するデータの囲み文字を選択します。 入力方法 : 「▼」ボタンをクリックして囲み文字を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="563 1111 1366 1211"> <tbody> <tr> <td>ダブルクォート</td> <td><" >で囲む場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>シングルクォート</td> <td><' >で囲む場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>囲み文字を使用しない場合に選択します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	ダブルクォート	<" >で囲む場合に選択します。	シングルクォート	<' >で囲む場合に選択します。	なし	囲み文字を使用しない場合に選択します。		
ダブルクォート	<" >で囲む場合に選択します。								
シングルクォート	<' >で囲む場合に選択します。								
なし	囲み文字を使用しない場合に選択します。								
<p>数値項目にも囲み文字を使用する</p>	<p>出力データの数値項目にも囲み文字を付けるか選択します。 入力方法 : チェックボックスにチェックします。</p> <table border="1" data-bbox="563 1397 1366 1464"> <tbody> <tr> <td>チェックあり</td> <td>数値項目にも囲み文字を付けます。</td> </tr> <tr> <td>チェックなし</td> <td>数値項目に囲み文字を付けません。</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 数値項目にも囲み文字を使用する</p> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	チェックあり	数値項目にも囲み文字を付けます。	チェックなし	数値項目に囲み文字を付けません。				
チェックあり	数値項目にも囲み文字を付けます。								
チェックなし	数値項目に囲み文字を付けません。								
<p>文字コード</p> 	<p>出力するデータの文字コードを選択します。 入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして文字コードを選択します。</p> <table border="1" data-bbox="563 1682 1366 1816"> <tbody> <tr> <td>Shift-JIS</td> <td>Shift-JISを指定する場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>EUC</td> <td>EUCを指定する場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>UTF-8</td> <td>UTF-8を指定する場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>UTF-16</td> <td>UTF-16を指定する場合に選択します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	Shift-JIS	Shift-JISを指定する場合に選択します。	EUC	EUCを指定する場合に選択します。	UTF-8	UTF-8を指定する場合に選択します。	UTF-16	UTF-16を指定する場合に選択します。
Shift-JIS	Shift-JISを指定する場合に選択します。								
EUC	EUCを指定する場合に選択します。								
UTF-8	UTF-8を指定する場合に選択します。								
UTF-16	UTF-16を指定する場合に選択します。								

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

重量	<p>出力するデータの重量を選択します。 ※ゆうブリRの項目は、「重量合計（g）」を使用します。 入力方法 : 「▼」ボタンをクリックして重量の単位を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="560 443 1366 506"> <tr> <td>g</td> <td>重量の単位がgの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>kg</td> <td>重量の単位がkgの場合に選択します。</td> </tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、g となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	g	重量の単位がgの場合に選択します。	kg	重量の単位がkgの場合に選択します。
g	重量の単位がgの場合に選択します。				
kg	重量の単位がkgの場合に選択します。				
レコード長 データ形式で<固定長テキスト>を選択した場合、必須入力項目	<p>出力するデータのレコード長を入力します。</p> <p>入力形式 : 半角数字 最大 4桁 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>				
出力ファイルパス	<p>ファイル出力時に初期表示させるファイルの保存場所を指定します。 ※ 出力する際にも都度変更は可能です。</p> <p>入力形式 : 「参照」ボタンをクリックして選択します。 初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p> <div data-bbox="603 929 1329 1279"> </div>				
シート名 データ形式で<Excel>を選択した場合、必須選択項目	<p>出力ファイルのデータを出力するシート名を入力します。</p> <p>入力形式 : 全半角混在可能 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、未入力（表示なし）となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p> <p>※ データを出力したシート以外のシートはファイルから削除されますのでご注意ください。例えば、ファイルに<Sheet1>~<Sheet3>まであり、<Sheet1>に出力した場合、<Sheet2>と<Sheet3>は削除されます。シートを指定しない場合、<Sheet3>に出力し、これ以外のシートは削除されます。 ファイルに<Sheet3>が無い場合は出力時に作成します。</p>				
データ種別	<単純明細>固定です。				

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

(3) ゆうプリRの項目と出力順序の紐付

ゆうプリRの項目に対してどの順番でファイルに出力するか設定を行います。出力の順番は、ファイルの左から順番に出力され、途中の出力順を飛ばすことは出来ません。例えば、出力順として1番目、2番目、4番目という設定は出来ません。

- ① 出力ファイルの項目を紐付します。
下記の①②の何れかの方法で出力する項目を紐付します。

紐付方法① 出力する項目を『出力補助』画面を使用して詳細な設定を行います。

項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ	書式	ブレイク	必須	重複	空白を除く	固定値	補助情報
配達時間帯指定郵便種別	文字列	1										
送り状種別	文字列	5										
お届け先 検索キー	文字列	15										
お届け先 郵便番号	文字列	8										
お届け先 住所	文字列	50										
お届け先 住所2	文字列	50										
お届け先 住所3	文字列	50										
お届け先 名称	文字列	5										

出力する項目の補助情報欄で「□」ボタンをクリックします。

出力補助設定

出力補助

1 番目の出力項目

出力データの編集

2 固定値

出力対象テーブルから選択

- 到着期限日
- 郵便種別
- 保冷種別
- 元/着払/代引
- 書留/セキュリティ/特定記録種別
- 配達時間帯指定郵便種別
- 送り状種別
- お届け先 検索キー
- お届け先 郵便番号

出力対象データを分割する 開始位置 バイト目から バイト

↓セットする値(下記順序で結合)

[お届け先 郵便番号]

※複数項目を追加すると結合されたセット値になります

3 明細行設定項目

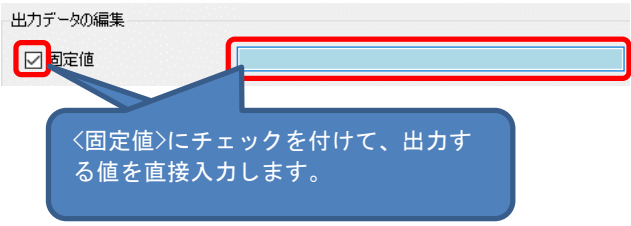
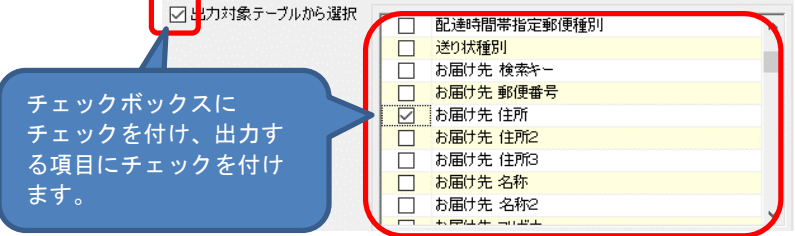
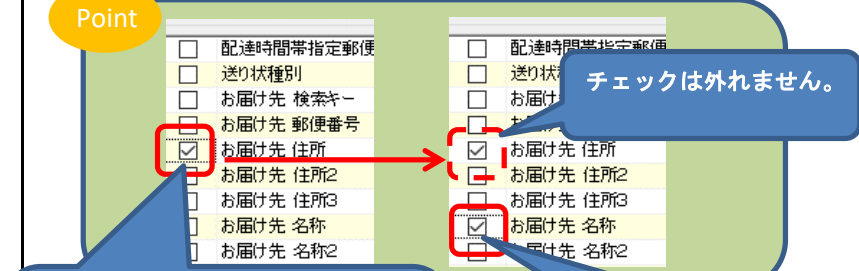
書式設定

空白を除く

4

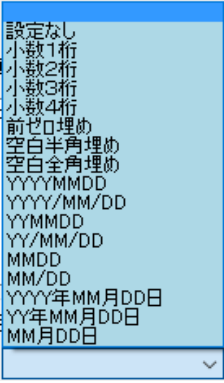
3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

① 番目の出力項目	<p>ファイルに出力する位置を選択します。</p> <p>入力形式 : 半角数字 入力方法 : 直接入力 初期状態 : 新規の場合、「1」となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>				
② 固定値	<p>出力項目に<固定値>を出力する場合はチェックボックスにチェックし、値を入力します。固定値で出力した場合、見出し項目はありません。</p> <p>入力形式 : 全半角混在可能 入力方法 : 直接入力(入力文字数は全項目共通で全角25文字、半角50文字までです。なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。) 初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p> 				
出力対象テーブルから選択	<p><出力対象テーブルから選択>にチェックし、出力する項目をリストより選択します。</p> <p>入力方法 : チェックボックスによる選択</p> <table border="1" data-bbox="566 1142 1364 1209"> <tr> <td>チェックなし</td> <td>出力の対象としない。</td> </tr> <tr> <td>チェックあり</td> <td>出力の対象とする。</td> </tr> </table> <p>初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>  <p>Point</p>  <p>チェックボックスにチェックが付いている状態で、別の項目にチェックを付けても、チェックは外れませんので、別項目選択時にはチェックを外すようご注意ください。</p>	チェックなし	出力の対象としない。	チェックあり	出力の対象とする。
チェックなし	出力の対象としない。				
チェックあり	出力の対象とする。				

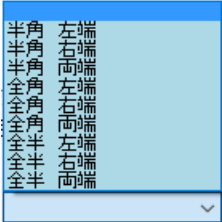
3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

② 出力対象データを分割する	出力項目から切り出す文字列の開始位置と文字数を指定します。 入力形式 : 半角数字 入力方法 : 直接入力 例) 出力データ <東京都港区虎ノ門>のうち、<港区虎ノ門>の 全角5文字を切り出して出力する。 開始位置 <input type="text" value="7"/> バイト目から <input type="text" value="10"/> バイト ※ 全角1文字は2バイト換算、半角1文字は1バイト換算です。 なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。 初期状態 : 新規の場合、未入力(表示なし)となります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。																																		
追加・削除ボタン	「追加」ボタンで出力設定を<セットする値>欄に設定します。 「削除」ボタンでセットした設定を削除します。																																		
セットする値	出力設定を表示します。																																		
③ 書式設定 	出力データに関する書式や空白処理等を設定します。 入力方法 : 「▼」ボタンをクリックして選択します。 <table border="1" data-bbox="563 949 1366 1973"> <tr> <td>設定なし</td> <td>特に設定がない場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>小数1桁</td> <td>出力時、小数部1桁までの数値データとする場合に選択します。例 10000⇒10000.0</td> </tr> <tr> <td>小数2桁</td> <td>出力時、小数部2桁までの数値データとする場合に選択します。例 10000⇒10000.00</td> </tr> <tr> <td>小数3桁</td> <td>出力時、小数部3桁までの数値データとする場合に選択します。例 10000⇒10000.000</td> </tr> <tr> <td>小数4桁</td> <td>現状、ご利用出来ません。</td> </tr> <tr> <td>前ゼロ埋め</td> <td>指定したサイズになるまで前0を補正します。 ※ 固定長テキストの場合に有効</td> </tr> <tr> <td>空白半角埋め</td> <td>指定したサイズになるまで後ろに半角空白を補正します。 ※ 固定長テキストの場合に有効</td> </tr> <tr> <td>空白全角埋め</td> <td>指定したサイズになるまで後ろに全角空白を補正します。 ※ 固定長テキストの場合に有効</td> </tr> <tr> <td>YYYYMMDD</td> <td>値がYYYYMMDD形式の日付データの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>YYYY/MM/DD</td> <td>値がYYYY/MM/DD形式の日付データの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>YYMMDD</td> <td>値がYYMMDD形式の日付データの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>YY/MM/DD</td> <td>値がYY/MM/DD形式の日付データの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>MMDD</td> <td>値がMMDD形式の日付データの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>MM/DD</td> <td>値がMM/DD形式の日付データの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>YYYY年MM月DD日</td> <td>値がYYYY年MM月DD日形式の日付データの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>YY年MM月DD日</td> <td>値がYY年MM月DD日形式の日付データの場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>MM月DD日</td> <td>値がMM月DD日形式の日付データの場合に選択します。</td> </tr> </table>	設定なし	特に設定がない場合に選択します。	小数1桁	出力時、小数部1桁までの数値データとする場合に選択します。例 10000⇒10000.0	小数2桁	出力時、小数部2桁までの数値データとする場合に選択します。例 10000⇒10000.00	小数3桁	出力時、小数部3桁までの数値データとする場合に選択します。例 10000⇒10000.000	小数4桁	現状、ご利用出来ません。	前ゼロ埋め	指定したサイズになるまで前0を補正します。 ※ 固定長テキストの場合に有効	空白半角埋め	指定したサイズになるまで後ろに半角空白を補正します。 ※ 固定長テキストの場合に有効	空白全角埋め	指定したサイズになるまで後ろに全角空白を補正します。 ※ 固定長テキストの場合に有効	YYYYMMDD	値がYYYYMMDD形式の日付データの場合に選択します。	YYYY/MM/DD	値がYYYY/MM/DD形式の日付データの場合に選択します。	YYMMDD	値がYYMMDD形式の日付データの場合に選択します。	YY/MM/DD	値がYY/MM/DD形式の日付データの場合に選択します。	MMDD	値がMMDD形式の日付データの場合に選択します。	MM/DD	値がMM/DD形式の日付データの場合に選択します。	YYYY年MM月DD日	値がYYYY年MM月DD日形式の日付データの場合に選択します。	YY年MM月DD日	値がYY年MM月DD日形式の日付データの場合に選択します。	MM月DD日	値がMM月DD日形式の日付データの場合に選択します。
設定なし	特に設定がない場合に選択します。																																		
小数1桁	出力時、小数部1桁までの数値データとする場合に選択します。例 10000⇒10000.0																																		
小数2桁	出力時、小数部2桁までの数値データとする場合に選択します。例 10000⇒10000.00																																		
小数3桁	出力時、小数部3桁までの数値データとする場合に選択します。例 10000⇒10000.000																																		
小数4桁	現状、ご利用出来ません。																																		
前ゼロ埋め	指定したサイズになるまで前0を補正します。 ※ 固定長テキストの場合に有効																																		
空白半角埋め	指定したサイズになるまで後ろに半角空白を補正します。 ※ 固定長テキストの場合に有効																																		
空白全角埋め	指定したサイズになるまで後ろに全角空白を補正します。 ※ 固定長テキストの場合に有効																																		
YYYYMMDD	値がYYYYMMDD形式の日付データの場合に選択します。																																		
YYYY/MM/DD	値がYYYY/MM/DD形式の日付データの場合に選択します。																																		
YYMMDD	値がYYMMDD形式の日付データの場合に選択します。																																		
YY/MM/DD	値がYY/MM/DD形式の日付データの場合に選択します。																																		
MMDD	値がMMDD形式の日付データの場合に選択します。																																		
MM/DD	値がMM/DD形式の日付データの場合に選択します。																																		
YYYY年MM月DD日	値がYYYY年MM月DD日形式の日付データの場合に選択します。																																		
YY年MM月DD日	値がYY年MM月DD日形式の日付データの場合に選択します。																																		
MM月DD日	値がMM月DD日形式の日付データの場合に選択します。																																		

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

<p>③ 書式設定</p>	<table border="1"> <tr> <td>コード名称出力</td> <td>ゆうプリRのコード値をコード名称に変換して出力する場合に選択します。</td> </tr> </table> <p>以下の項目については、ゆうプリRのコード値ではなく、コード値の名称で出力することが出来ます。</p> <p>① 商品サイズ/厚さ区分 書式設定 : 設定なし 出力データ例 <060>、<140>等 : コード名称出力 出力データ例 <60サイズ>、<140サイズ>等</p> <p>② 配達時間帯区分 書式設定 : 設定なし 出力データ例 <51>、<55>等 : コード名称出力 出力データ例 <午前中>、<18~20時>等</p> <p>③ 配達ステータス明細コード 書式設定 : 設定なし 出力データ例 <0A>、<01>等 : コード名称出力 出力データ例 <引受予定>、<配達完了>等</p> <table border="1"> <tr> <td>コード値 (e-発行)</td> <td>ゆうプリRのコード値をe-発行で取り扱っていたコード値で出力する場合に選択します。</td> </tr> </table> <p>以下の項目については、ゆうプリRのコード値ではなく、e-発行のコード値で出力することが出来ます。</p> <p>配達時間帯区分 書式設定 : コード値 (e-発行) 出力データ例 <60>、<65>等</p> <p>初期状態 : 新規の場合、選択されていない状態になります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	コード名称出力	ゆうプリRのコード値をコード名称に変換して出力する場合に選択します。	コード値 (e-発行)	ゆうプリRのコード値をe-発行で取り扱っていたコード値で出力する場合に選択します。														
コード名称出力	ゆうプリRのコード値をコード名称に変換して出力する場合に選択します。																		
コード値 (e-発行)	ゆうプリRのコード値をe-発行で取り扱っていたコード値で出力する場合に選択します。																		
<p>空白を除く</p> 	<p>出力項目の空白の除去方法をプルダウンより選択します。 入力形式 : 「▼」ボタンをクリックして選択します。</p> <table border="1"> <tr> <td>半角 左端</td> <td>項目左端の空白 (半角) 部分を除きます。</td> </tr> <tr> <td>半角 右端</td> <td>項目右端の空白 (半角) 部分を除きます。</td> </tr> <tr> <td>半角 両端</td> <td>項目両端の空白 (半角) 部分を除きます。</td> </tr> <tr> <td>全角 左端</td> <td>項目左端の空白 (全角) 部分を除きます。</td> </tr> <tr> <td>全角 右端</td> <td>項目右端の空白 (全角) 部分を除きます。</td> </tr> <tr> <td>全角 両端</td> <td>項目両端の空白 (全角) 部分を除きます。</td> </tr> <tr> <td>全半 左端</td> <td>項目左端の空白 (全角・半角) 部分を除きます。</td> </tr> <tr> <td>全半 右端</td> <td>項目右端の空白 (全角・半角) 部分を除きます。</td> </tr> <tr> <td>全半 両端</td> <td>項目両端の空白 (全角・半角) 部分を除きます。</td> </tr> </table> <p>例 全角両端を選択して結合出力した場合 <□□名前1 □□>+<□□名前2 □□>⇒<名前1 □□□□名前2 ></p> <p>初期状態 : 新規の場合、選択されていない状態になります。 修正の場合、登録されている内容を表示します。</p>	半角 左端	項目左端の空白 (半角) 部分を除きます。	半角 右端	項目右端の空白 (半角) 部分を除きます。	半角 両端	項目両端の空白 (半角) 部分を除きます。	全角 左端	項目左端の空白 (全角) 部分を除きます。	全角 右端	項目右端の空白 (全角) 部分を除きます。	全角 両端	項目両端の空白 (全角) 部分を除きます。	全半 左端	項目左端の空白 (全角・半角) 部分を除きます。	全半 右端	項目右端の空白 (全角・半角) 部分を除きます。	全半 両端	項目両端の空白 (全角・半角) 部分を除きます。
半角 左端	項目左端の空白 (半角) 部分を除きます。																		
半角 右端	項目右端の空白 (半角) 部分を除きます。																		
半角 両端	項目両端の空白 (半角) 部分を除きます。																		
全角 左端	項目左端の空白 (全角) 部分を除きます。																		
全角 右端	項目右端の空白 (全角) 部分を除きます。																		
全角 両端	項目両端の空白 (全角) 部分を除きます。																		
全半 左端	項目左端の空白 (全角・半角) 部分を除きます。																		
全半 右端	項目右端の空白 (全角・半角) 部分を除きます。																		
全半 両端	項目両端の空白 (全角・半角) 部分を除きます。																		

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 設定項目説明

④ 「前へ」 ボタン	現在の出力編集の設定内容が一時保存されて、一つ前の出力項目へ移動します。
「次へ」 ボタン	現在の出力編集の設定内容が一時保存されて、一つ後の出力項目へ移動します。
「終了」 ボタン	設定を一時保存して『取込出力フィルタ詳細設定』画面へ戻ります。
「キャンセル」 ボタン	設定を一時保存しないで『取込出力フィルタ詳細設定』画面へ戻ります。 ※ 一度、「次へ」ボタンで出力項目を進めた場合、それまでの設定は一時保存されますので『出力補助』画面で設定を削除してください。

■ 出力補助画面での設定方法（通常設定）

出力補助設定

出力補助

1番目の出力項目

出力データの編集

固定値

出力対象テーブルから選択

- 到着期限日
- 郵便種別
- 保冷種別
- 元/着払/代引
- 書留/セキュリティ/特定記録種別
- 配達時間帯指定郵便種別
- 送り状種別
- お届け先 検索キー
- お届け先 郵便番号

出力対象データを分割する 開始位置 バイト目から バイト

↓セットする値(下記順序で結合)

追加 削除

を追加すると結合されます

明細行設定項目

書式設定

空白を除く

キャンセル 前へ 次へ 終了

① <出力対象テーブルから選択>にチェックを付けます。

② 出力する項目にチェックを付けます。

ファイルに出力する位置が表示されています。

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

④ 必要に応じて書式等を設定します。

⑤ 「次へ」ボタンをクリックして、次に出力する項目を設定します。

Note

〈番目の出力項目〉は、初期値は' 1 'となります。
 1番目に出力する項目を設定後、「次へ」ボタンをクリックして次の設定を行いますが、この際、〈番目の出力項目〉は、直接入力して出力位置を指定することは可能です。
 出力番号をとばして設定しても空白列は作られません。
 例 1番目に出力する設定を行い、〈番目の出力項目〉に' 3 'と入力して出力項目を設定しましても、2列目に出力されます。

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

出力補助

2 番目の出力項目

ファイルに出力する位置が2番目になっています。2番目に出力する項目の設定を行います。

出力データの編集

固定値

出力対象テーブルから選択

⑥ <出力対象テーブルから選択>にチェックを付けます。

- 配達時間帯指定郵便種別
- 送り状種別
- お届け先 検索キー
- お届け先 郵便番号
- お届け先 住所
- お届け先 住所2
- お届け先 住所3
- お届け先 名称
- お届け先 名称2

⑦ 一番に選択した項目のチェックを外します。

⑧ 二番目に出力する項目にチェックを付けます。

⑨ 「追加」ボタンをクリックします。

出力対象データを分割する 開始位置 バイト目から バイト

追加 削除

※複数項目を追加すると結合されたセット値になります

↓セットする値(下記順序で結合)

[お届け先 住所]

出力する項目が設定された状態です。

⑩ 必要に応じて書式等を設定します。

明細行設定項目

- 書式設定
- 空白を除く

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

出力補助設定

出力補助

2 番目の出力項目

出力データの編集

固定値

出力対象テーブルから選択

配達時間帯指定郵便種別

送り状種別

お届け先 検索キー

お届け先 郵便番号

お届け先 住所

お届け先 住所2

お届け先 住所3

お届け先 名称

お届け先 名称2

出力対象データを分割する 開始位置 バイト目から バイト

↓セットする値(下記順序で結合)

[お届け先 住所]

※複数項目を追加すると結合されたセット値になります

明細行設定項目

書式設定

空白を除く

① 全ての出力項目の設定が完了後、「終了」ボタンをクリックします。

Note

続けて出力項目の設定を行う場合は、「次へ」ボタンをクリックして⑥～⑩の手順を繰り返します。

取込出力フィルタ詳細設定

ファイル(F) 編集(E)

取込出力フィルタ詳細設定

会員ID: R0092294
ユーザー: 動作確認用

データ編集

出力

フィルタ名

フィルタの種類 発送履歴データ フォーマット種別 プリフォーマット 明細数分出力 しない

データ形式 カンマ、タブなどの区切り文字 列見出し なし 改行文字 固定明細

区切り文字 囲み文字 数値項目にも囲み文字を使用する

出力ファイルパス 参照 文字コード

シート名 重量

データ種別 単純明細

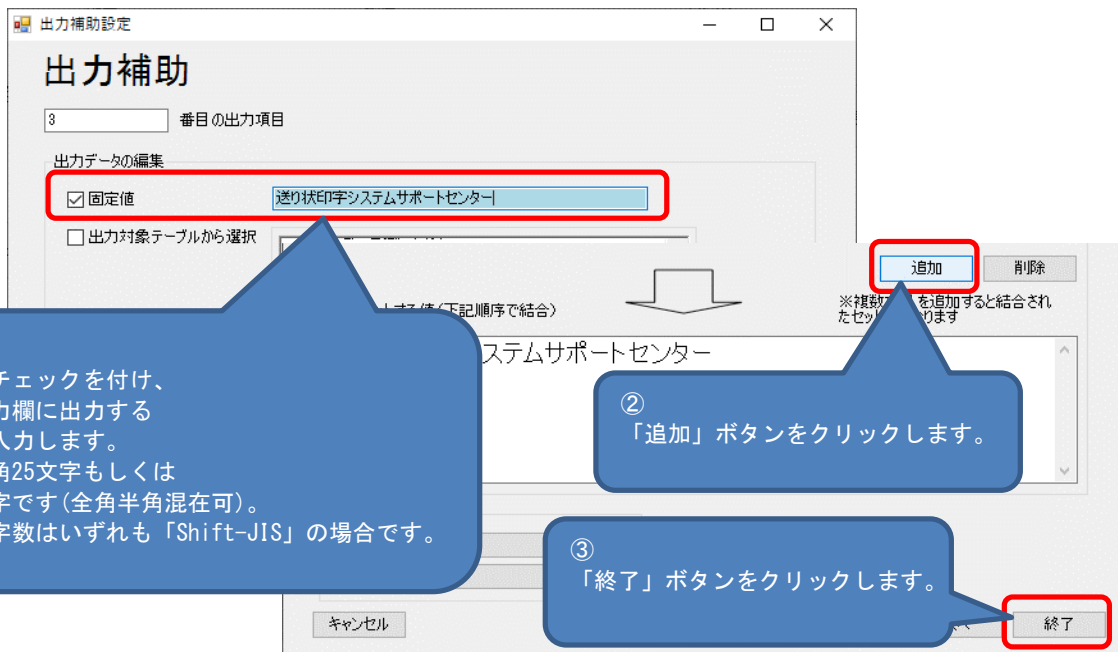
項目名	型	最大桁	区分	補助情報
お届け先 検索キー	文字列	15		あり
お届け先 郵便番号	文字列	8		あり
お届け先 住所	文字列	50		あり
お届け先 住所2	文字列	50		あり

『取込補助』画面で設定を行うと補助情報欄に'あり'と表示されます。

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 出力補助画面での設定方法（固定値設定）

出力ファイルに固定値でデータを出力する場合は、以下の設定を行います。



項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ	書式	ブレイク	必須	重複	空白を除く	固定値	補助情報
お届け先 検索キー	文字列	15										
お届け先 郵便番号	文字列	8										
お届け先 住所	文字列	50										
お届け先 住所2	文字列	50										
お届け先 住所3	文字列	50										
お届け先 名称	文字列	50										
お届け先 名称2	文字列	50										
お届け先 フリガナ	文字列	60										
お届け先 フリガナ2	文字列	60										

固定値を設定した場合、補助情報欄および固定値欄には何も表示はされません。

【出力データサンプル】

	A	B	C	D	E	F
1	お届け先 郵便番号	お届け先 住所				
2	1050001	東京都港区虎ノ門	送り状印字システムサポートセンター			
3						

出力設定したカラム位置に固定値で入力した情報が出力されます。ただし、列見出しは出力されませんので、必要に応じて見出し項目名を直接入力してください。

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 出力補助画面での設定方法（結合設定）

ゆうプリRの複数の項目を結合して出力する場合は、以下の設定を行います。
以下の設定例ではお届け先住所を結合しています。

1 番目の出力項目

出力位置を決めます。

出力データの編集

固定値

出力対象テーブルから選択

<出力対象テーブルから選択>にチェックを付けます。

出力する項目にチェックを付けます。

「追加」ボタンをクリックします。

追加

出力対象テーブルから選択

続けて、次に出力する項目にチェックを付けて「追加」ボタンをクリックします。

追加

出力対象テーブルから選択

続けて、次に出力する項目にチェックを付けて「追加」ボタンをクリックします。

追加

[お届け先 住所]
[お届け先 住所2]
[お届け先 住所3]

このように選択した項目が全て同じ出力位置として設定されます。

「終了」ボタンをクリックします。

キャンセル 前へ 次へ 終了

3

フィルタの作成方法(詳細編集)

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ	書式	ブレイク	必須	重複	空白を除く	固定値	補助情報
お届け先 検索キー	文字列	15				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
お届け先 郵便番号	文字列	8				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
お届け先 住所	文字列	50				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			あり
お届け先 住所2	文字列	50				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			あり
お届け先 住所3	文字列	50				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			あり
お届け先 名称	文字列	50				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
お届け先 名称2	文字列	50				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
お届け先 フリガナ	文字列	60				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
お届け先 フリガナ2	文字列	60				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
お届け先 敬称区分	文字列	1				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
お届け先 電話番号	文字列	20				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
お届け先 メールアドレス1	文字列	100				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
お届け先 メール1種別	文字列	1				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
お届け先 メールアドレス2	文字列	100				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

出力する設定を行った項目の補助情報欄には'あり'と表示されます。

【出力データ例】

□お届け先

お届け先コード 顧客データ参照

電話番号

郵便番号 〒→住所

住所

お届け先名

メールアドレス

局留め

郵便局留めメール 不要 必要

戻る やり直し 検索 HP参照

住所情報は3つに分かれて登録されています。

1	お届け先 住所/お届け先 住所2/お届け先 住所3
2	東京都渋谷区渋谷1丁目12-13
3	
4	

結合設定を行った場合、3つに分かれて登録されていた情報を一つのセルにまとめて出力することができます。

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

■ 出力補助画面での設定方法（切り出し設定）

ゆうプリRのデータから特定の桁数を指定して出力する場合は、以下の設定を行います。以下の設定例ではお届け先住所の1バイト目から8バイトを出力する設定にしています。※ 1バイトは半角1文字、2バイトは全角1文字換算のため、8バイトは全角4文字換算です。なお、文字数はいずれも「Shift-JIS」の場合です。

出力位置を決めます。

出力データの編集
 固定値
 出力対象テーブルから選択

出力する項目にチェックを付けます。

郵便種別
 保潔種別
 元/着払/代引
 書留/セキュリティ/特定記録種別
 配達時間帯指定郵便種別
 送り状種別
 お届け先 検索キー
 お届け先 郵便番号
 お届け先 住所

「追加」ボタンをクリックします。

出力対象データを分割する 開始位置 1 バイト目から 8 バイト

このようにバイト数を指定した内容で設定されます。

お届け先 住所(1バイト目から8バイト分)

「終了」ボタンをクリックします。

キャンセル 前へ 次へ 終了

作成したフィルタでデータを出力します。この例では、お届け先住所は「東京都渋谷区」と登録されているので、ファイルに出力すると1バイト目から8バイト分の「東京都渋谷」までが出力されます。

発送予定データ一覧

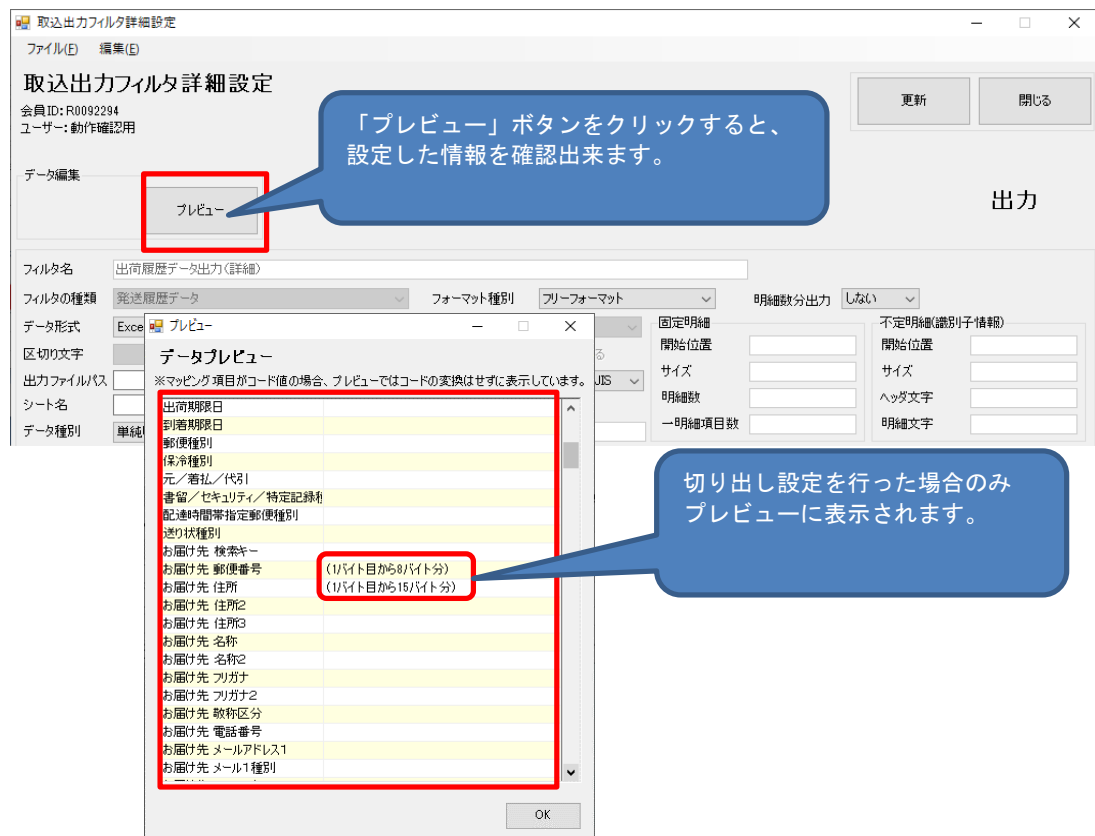
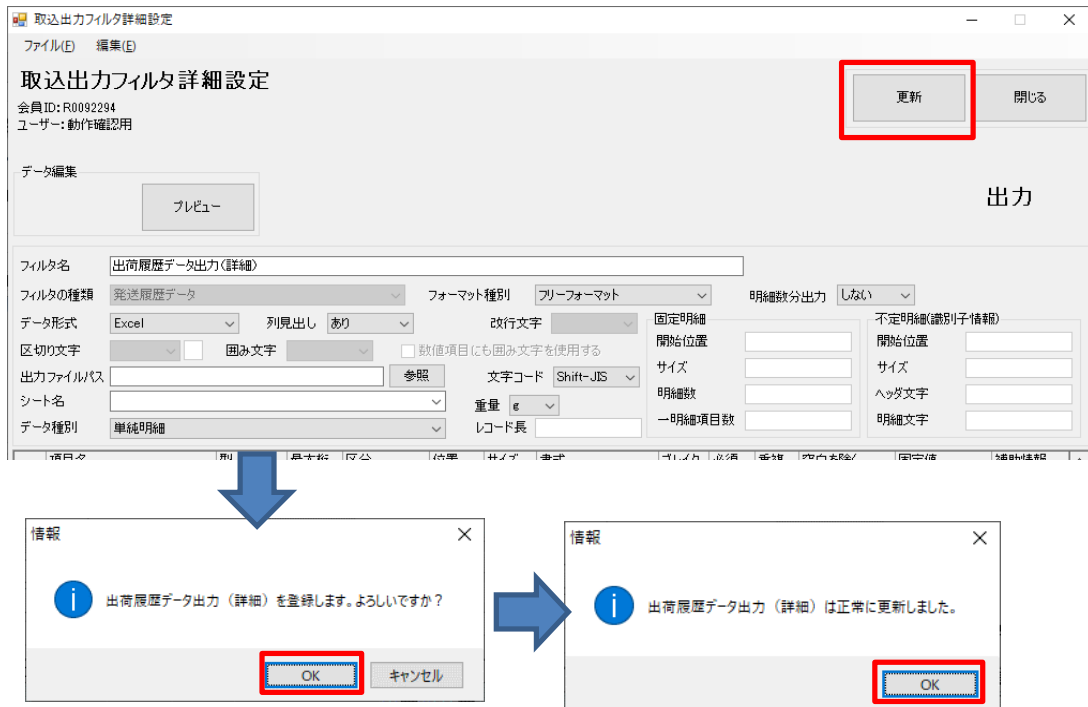
検索条件
 送り状種別 []
 顧客種別 お届け先 ご依頼主 集荷先
 TEL [] お客様側管理番号 []
 顧客名 [] 商品名 []

1	A	C
1	お届け先 住所	
2	東京都渋谷	
3		
4		

3-10 出力用のフィルタを登録する方法

(4) 作成したフィルタ設定の登録

出力する項目の紐付が完了しましたら、「更新」ボタンをクリックして保存します。



3-11 登録したフィルタを変更・削除する方法

1. 登録したフィルタの修正方法

登録したフィルタを修正する場合は、以下の操作で行ってください。

(1) 取込出力フィルタ一覧画面を開きます。

【ゆうプリRスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。

② 「修正」ボタンをクリックする。

① 取込用、出力用を確認し、修正するフィルタを選択します。

(2) 『取込出力フィルタ詳細設定』画面で設定を修正します。

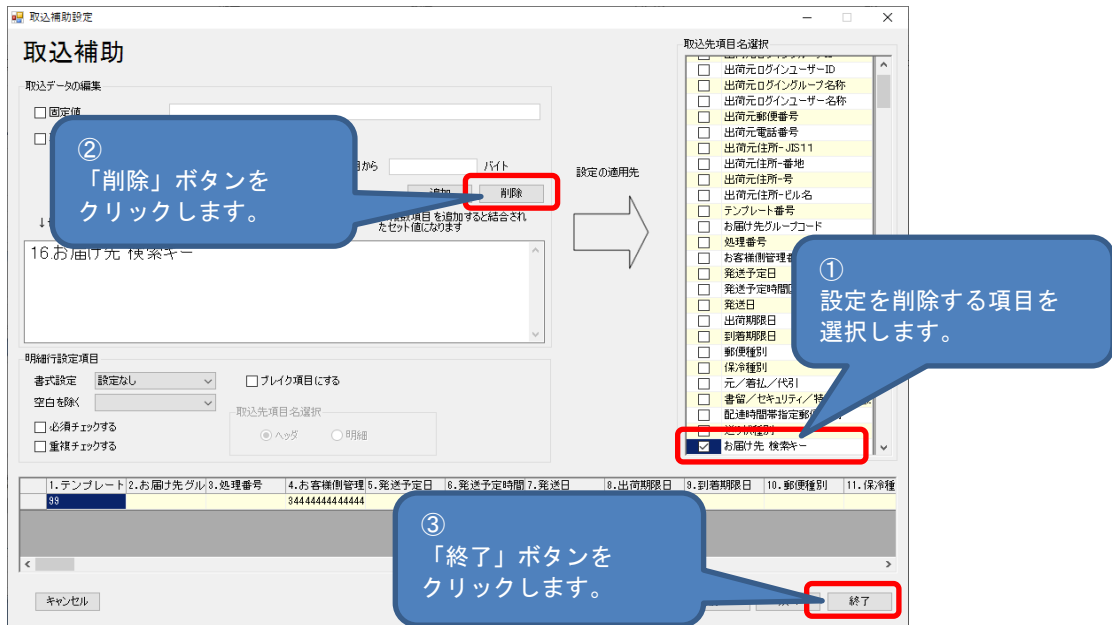
③ 紐付設定等の修正が完了後「更新」ボタンをクリックして設定を保存します。

項目名	型	最大桁	区分	位置	サイズ	書式	プレク	必須	重複	空白を除く	固定値	補助情報
出荷元会員番号	文字列	8				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
出荷元バリエーションID	文字列	4				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
出荷元ログイングループID	文字列	30				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
出荷元ログインユーザーID	文字列	30				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
出荷元ログイングループ名称	文字列	70				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
出荷元ログインユーザー名称	文字列	70				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
出荷元郵便番号	文字列	8				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
出荷元電話番号	文字列	20				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
出荷元住所-JIS 11	文字列	11				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
出荷元住所-番地	文字列	50				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
出荷元住所-号	文字列	50				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
出荷元住所-ビル名	文字列	50				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
テンプレート番号	数値型	9				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
お届け先グループコード	文字列	15				設定なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

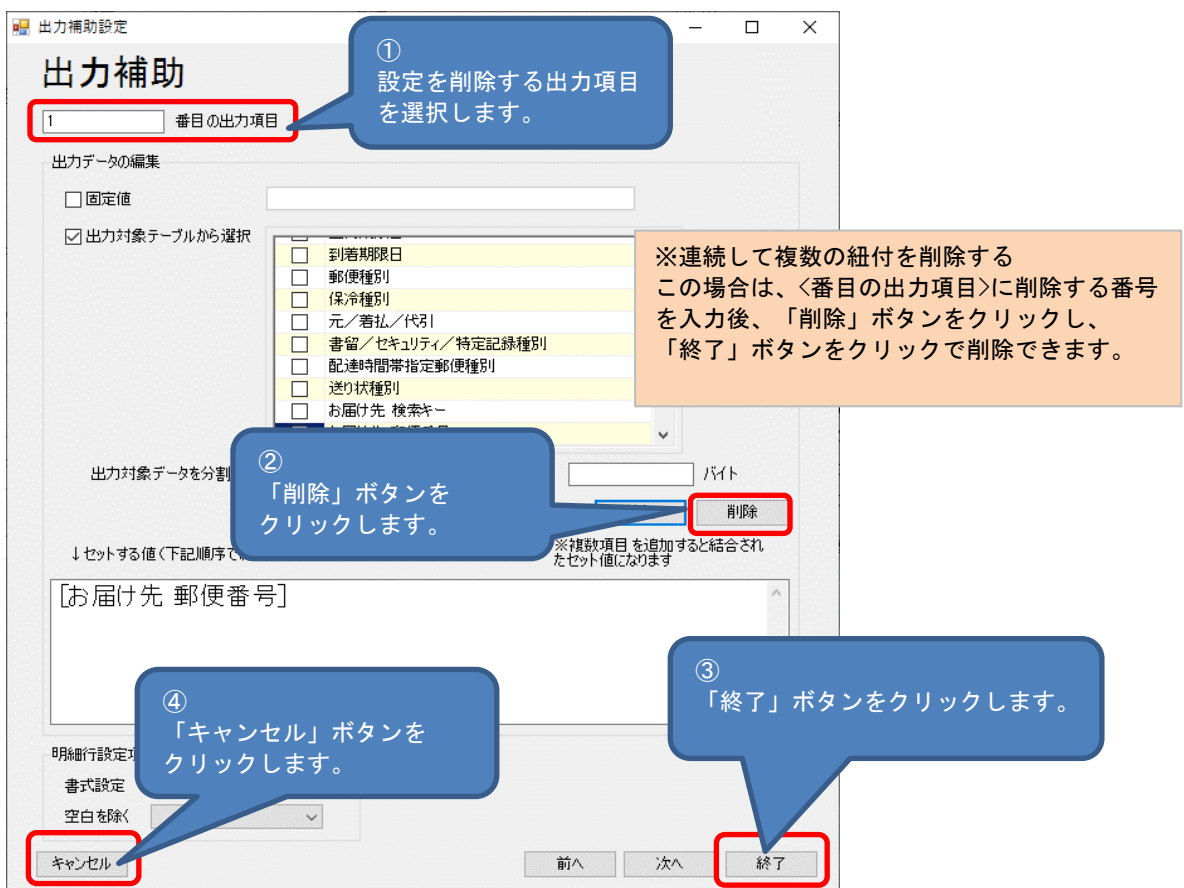
3-11 登録したフィルタを変更・削除する方法

(3) 取込補助画面での設定削除方法

取込用のフィルタを作成する際、『取込補助』画面を使用した場合は、以下の方法で削除します。



(4) 出力補助画面での設定削除方法



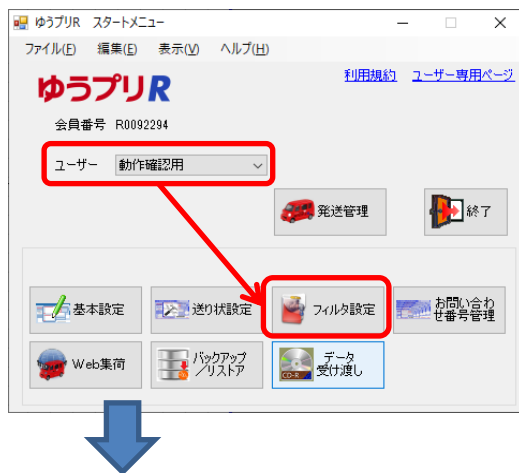
3-11 登録したフィルタを変更・削除する方法

2. 登録したフィルタの削除方法

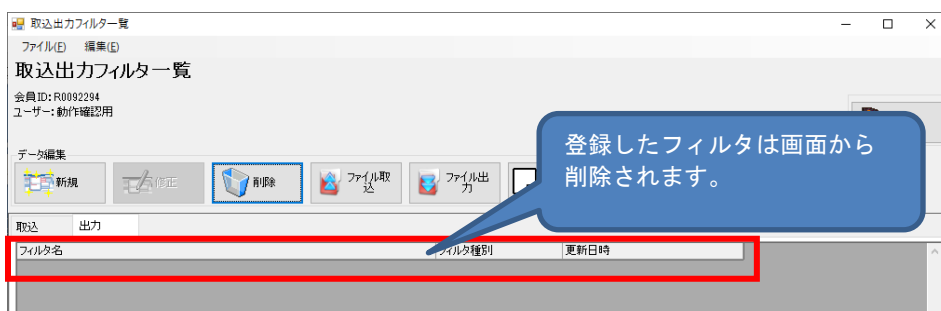
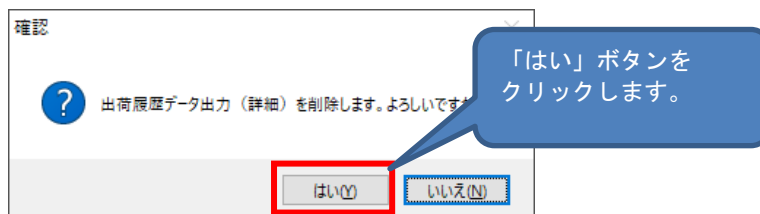
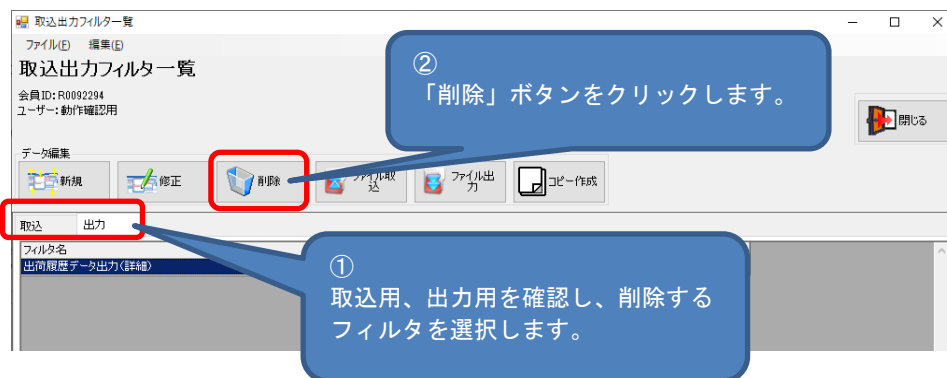
登録したフィルタを削除する場合は、以下の操作で行ってください。
 ※ 削除を行うと復元は出来ませんのでご注意ください。

(1) 『取込出力フィルター一覧』画面を開きます。

【ゆうプリRスタートメニュー】でユーザーを選択後、「フィルタ設定」ボタンをクリックします。



(2) 『取込出力フィルター一覧』画面で削除します。



4

お問い合わせ番号付データを取り込みする設定

ゆうプリRに出荷データを取り込みする際、データにお問い合わせ番号（追跡番号）がある場合、ゆうプリRのフィルタ設定では、以下の項目に紐付を行ってください。また、ユーザー設定で機能を利用する設定が必要です。設定箇所は、別紙〔4. 初期設定機能説明書 ①1-2-3 追跡番号付きデータを取り込み設定〕を参照ください。なお、本機能は予め郵便局からお問い合わせ番号の提供を受けているお客さまに限りご利用が可能です。ご利用いただく場合、ゆうプリRをお申込みいただいた郵便局へお問い合わせください。

■ 簡易編集をご利用の場合

取込出力フィルタ編集

ファイル(F) 編集(E)

取込出力フィルタ編集

会員ID: R0092294
ユーザー: 1

更新 閉じる

取込フィルタ名:

取込ファイルパス: 参照 列見出し あり 行

ファイル選択 プレビュー

データ形式

CSV 区切り文字 カンマ 囲み文字

外部ファイルの項目

変換対象1 変換対象2

お客様側管理番号: 列目

お問い合わせ番号: 列目

代表お問い合わせ番号: 列目

発送予定日: 列目 列目 列目

<お問い合わせ番号>に取り込みファイルのお問い合わせ番号が入っているカラム位置を指定してください。

■ 詳細編集をご利用の場合

取込出力フィルタ詳細設定

ファイル(F) 編集(E)

取込出力フィルタ詳細設定

会員ID: R0092294
ユーザー: 動作確認用

更新 閉じる

データ編集

条件設定 プレビュー

入力

フィルタ名

フィルタの種類 発送データ

データ形式 列見出し 行 改行文字 固定明細 開始位置 不定明細(識別子情報) 開始位置

区切り文字 囲み文字 サイズ

取込ファイルパス

シート名

データ種別 単純明細

項目名 型

お問い合わせ番号

お問い合わせ番号

お問い合わせ番号

<お問い合わせ番号>に取り込みファイルのお問い合わせ番号が入っているカラム位置を指定してください。

Note

■ お問い合わせ番号付データの取り込みに関する注意事項

- ① お問い合わせ番号付データを取り込みする場合、同じ番号での再取り込みは出来ません。
- ② お問い合わせ番号付データを取り込みするユーザーでは、ゆうパックの送り状データを新規に入力すること、お問い合わせ番号の無いデータを取り込みすることができません。必要な場合は、別のユーザーを作成してご利用ください。

5

フィルタをコピーして使用する

作成したフィルタ設定については、コピーをして使用することができます。
 同じようなフィルタ設定を複数作成する場合、フィルタをひとつ作成し、コピーを行うことで
 作成する作業を軽減することができます。

① コピーしたいフィルタを選択し「コピー作成」ボタンをクリックします。

② 「▼」ボタンをクリックしてコピーするフィルタ名を選択します。

③ コピーして追加するフィルタ名を入力します。

④ 「OK」ボタンをクリックします。

入力した名前でもフィルタが登録されます。

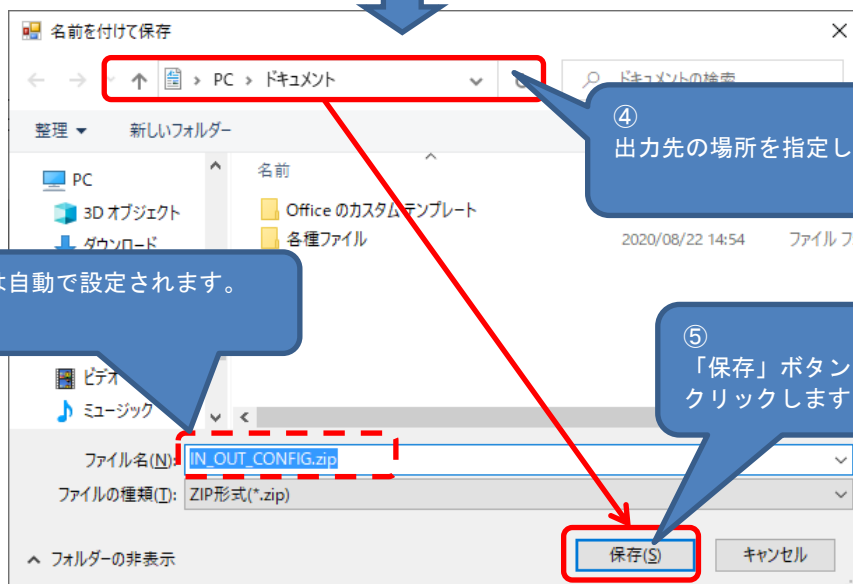
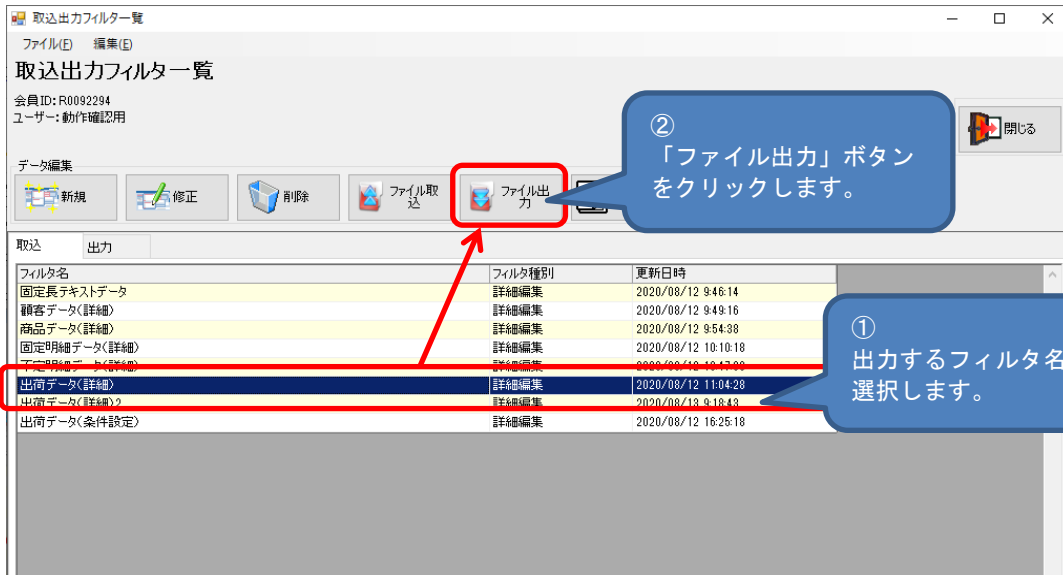
フィルタ名	フィルタ種別	更新日時
固定長テキストデータ	詳細編集	2020/08/12 9:46:14
顧客データ(詳細)	詳細編集	2020/08/12 9:49:16
商品データ(詳細)	詳細編集	2020/08/12 9:54:38
固定明細データ(詳細)	詳細編集	2020/08/12 10:10:18
不定明細データ(詳細)	詳細編集	2020/08/12 10:47:38
出荷データ(詳細)	詳細編集	2020/08/12 11:04:28
出荷データ(詳細)2	詳細編集	2020/08/12 16:25:18

作成したフィルタを他のゆうプリRで使用方法

作成したフィルタ設定は、ファイルに出力することで他のゆうプリRでも使用することができます。ゆうプリRから出力したファイルを他のゆうプリRで取り込みする方法となりますので、ゆうプリRが起動出来ない場合は、フィルタ設定を出力することは出来ません。

1. フィルタ設定を作成したゆうプリRでの操作

(1) ゆうプリRからフィルタ設定を出力します。



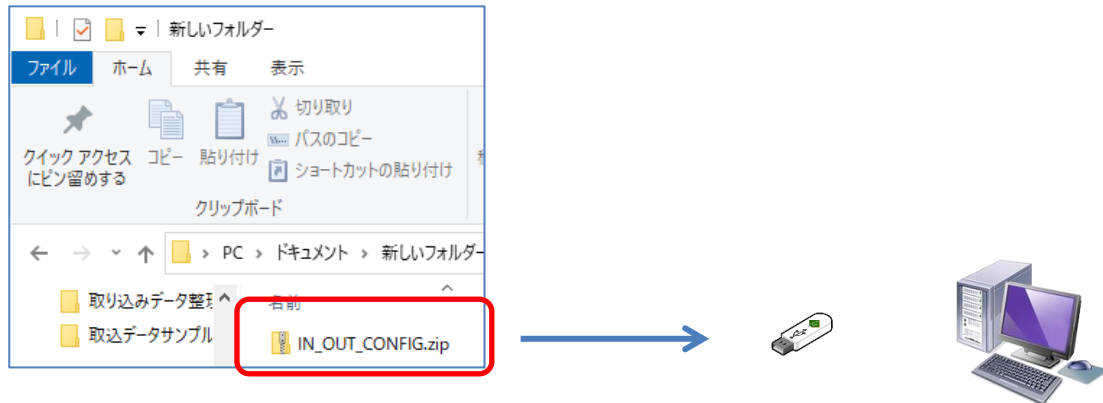
Point

複数のフィルタを出力する場合、自動で設定されるファイル名は同一であるため同じ場所に出力すると上書きになってしまいます。このため、複数のフィルタを出力する際は、出力する場所を変えるか、ファイル名を変えて出力してください。

6

作成したフィルタを他のゆうプリRで使用方法

(2) 出力したフィルタ設定ファイルをUSBメモリ等に保存します。

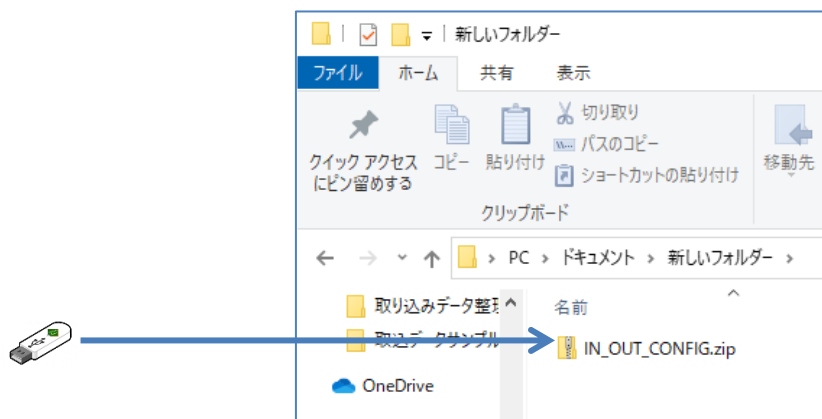


Note

フィルタ設定を移行する際、移行先のゆうプリRがインストールされているパソコンが同じネットワークにある場合等でUSBメモリを使用しなくてもネットワーク経由でファイルをコピー出来る場合は、その方法でコピーを行っていただいても問題ございません。

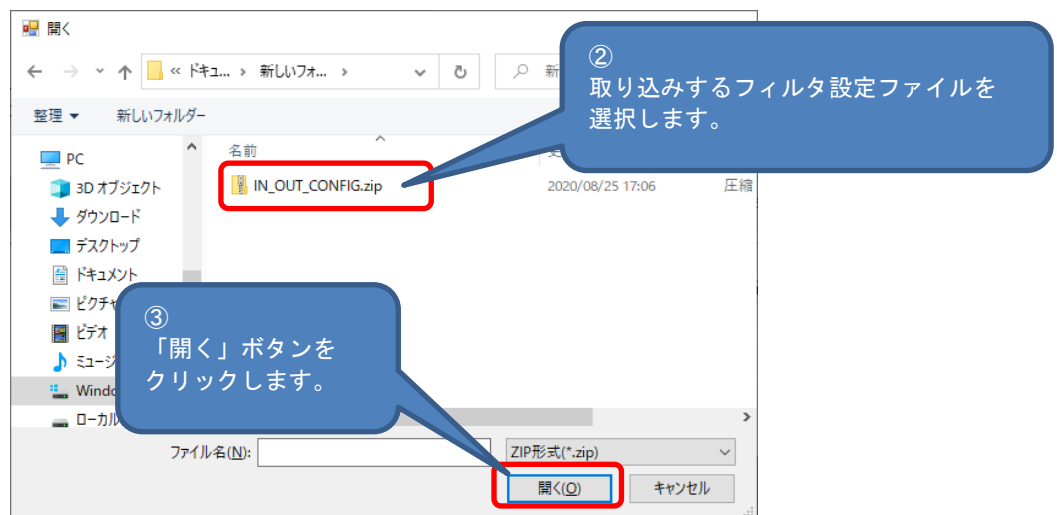
2. フィルタ設定を取り込みするゆうプリRでの操作

(1) 出力したフィルタ設定のファイルをデスクトップ等へ保存します。



作成したフィルタを他のゆうプリRで使用方法

(2) 保存したフィルタ設定をゆうプリRへ取り込みします。



Note

取り込みが完了しますと、移行元のフィルタ名と同一の名前のフィルタが登録されます。取り込みした際、既に同じフィルタ名が存在している場合、上書きは行わずフィルタ名に〈_001〉という名前を付けて取り込みします。